

令 和 5 年 度

事 業 年 報



公益財団法人 やまがた健康推進機構

はじめに

平素より、当機構の検(健)診事業に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類感染症に引き下げられ、社会生活もコロナ禍前のものに戻ってきましたが、これまでどおり安全、安心して受診できる環境を整え、各種検(健)診事業に努めてまいりました。

検(健)診事業においては、令和6年度より第4期特定健診・特定保健指導が開始されることから、国の施策等の変更への対応に万全を期すべく基幹システムの改修作業を行い、現在、順調に業務を実施しているところです。また、当機構においては県内5ヶ所に拠点をおき、検(健)診を実施できることは大きな強みであり、山形県のがん検診等の受診率向上に大きく寄与しております。なお、その一拠点であります最上検診センターの新築移転工事は令和6年3月に竣工し、令和6年4月より業務を開始しております。

このたび、「令和5年度 事業年報」を発行いたしましたので御高覧いただければ幸甚に存じます。今後とも、当機構の事業推進につきまして、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

公益財団法人やまがた健康推進機構
理 事 長 間 中 英 夫

目 次

各種検(健)診事業

I 各種検(健)診の流れ	2
II 検(健)診委員会	
(1) 消化器検診委員会	6
(2) 呼吸器検診委員会	12
(3) 子宮がん検診委員会	19
(4) 乳がん検診委員会	23
(5) 循環器等健診・人間ドック委員会	29
(6) 超音波検査委員会	34
III 各種検(健)診事業報告	
(1) 胃がん検診	40
(2) 大腸がん検診	44
(3) 子宮がん検診	48
(4) 乳がん検診	52
(5) 呼吸器検診(肺がん)	56
(6) 呼吸器検診(結核)	62
(7) 前立腺がん検診	64
(8) 特定健康診査	67
(9) 特定保健指導	71
(10) 人間ドック	74
(11) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	77
(12) 一般健康診断	80
(13) 特殊健康診断	83
(14) 学校検診	84
(15) 腹部超音波検査	85
(16) 骨密度測定(DXA法)	90
(17) 肝炎ウイルス検査	92
(18) 保健指導及び事後管理	95
(19) 出前講座	96

その他の事業

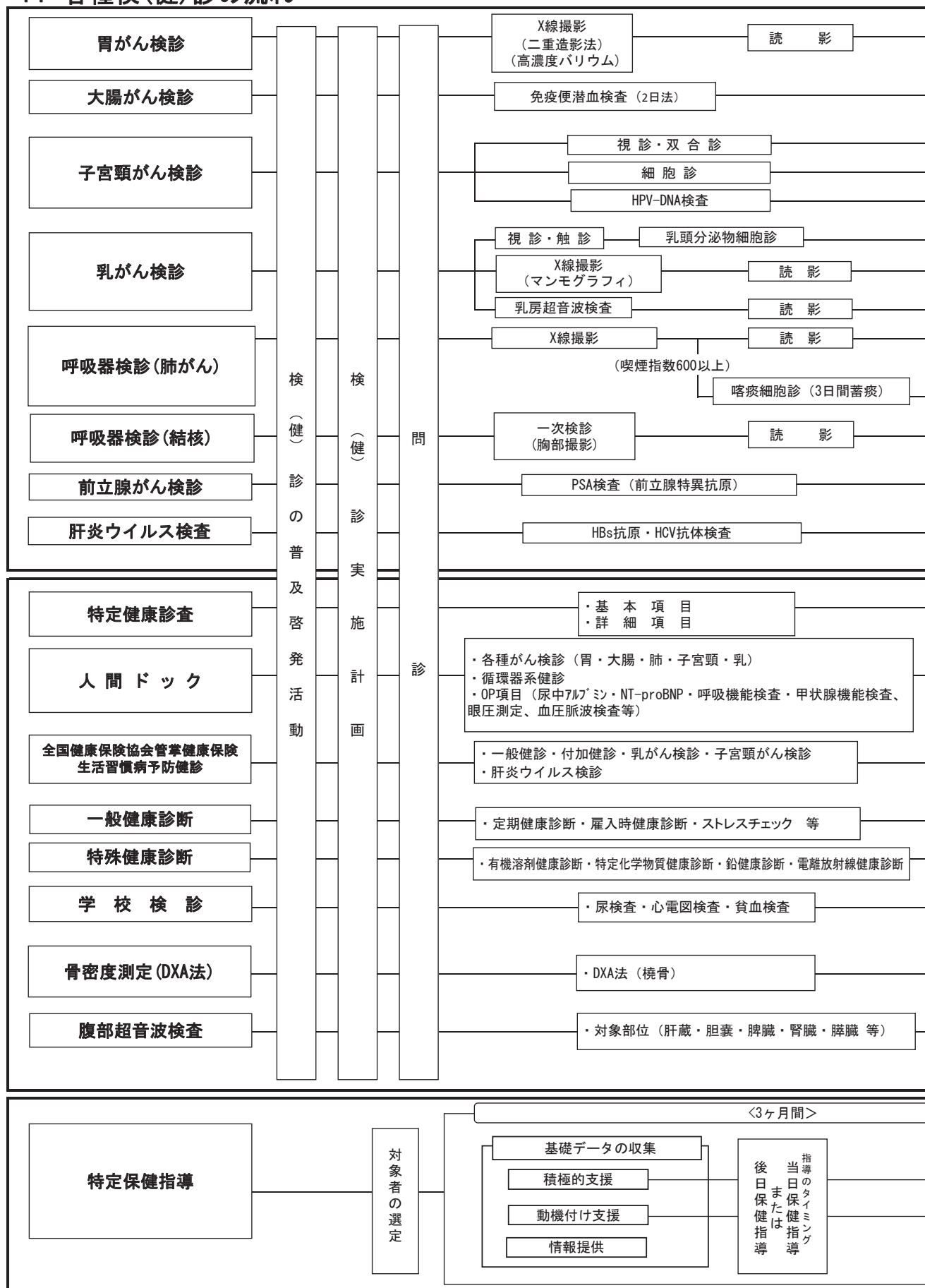
(1) 山形県がん総合相談支援センター事業	98
(2) 若者に対するがん予防支援事業	102

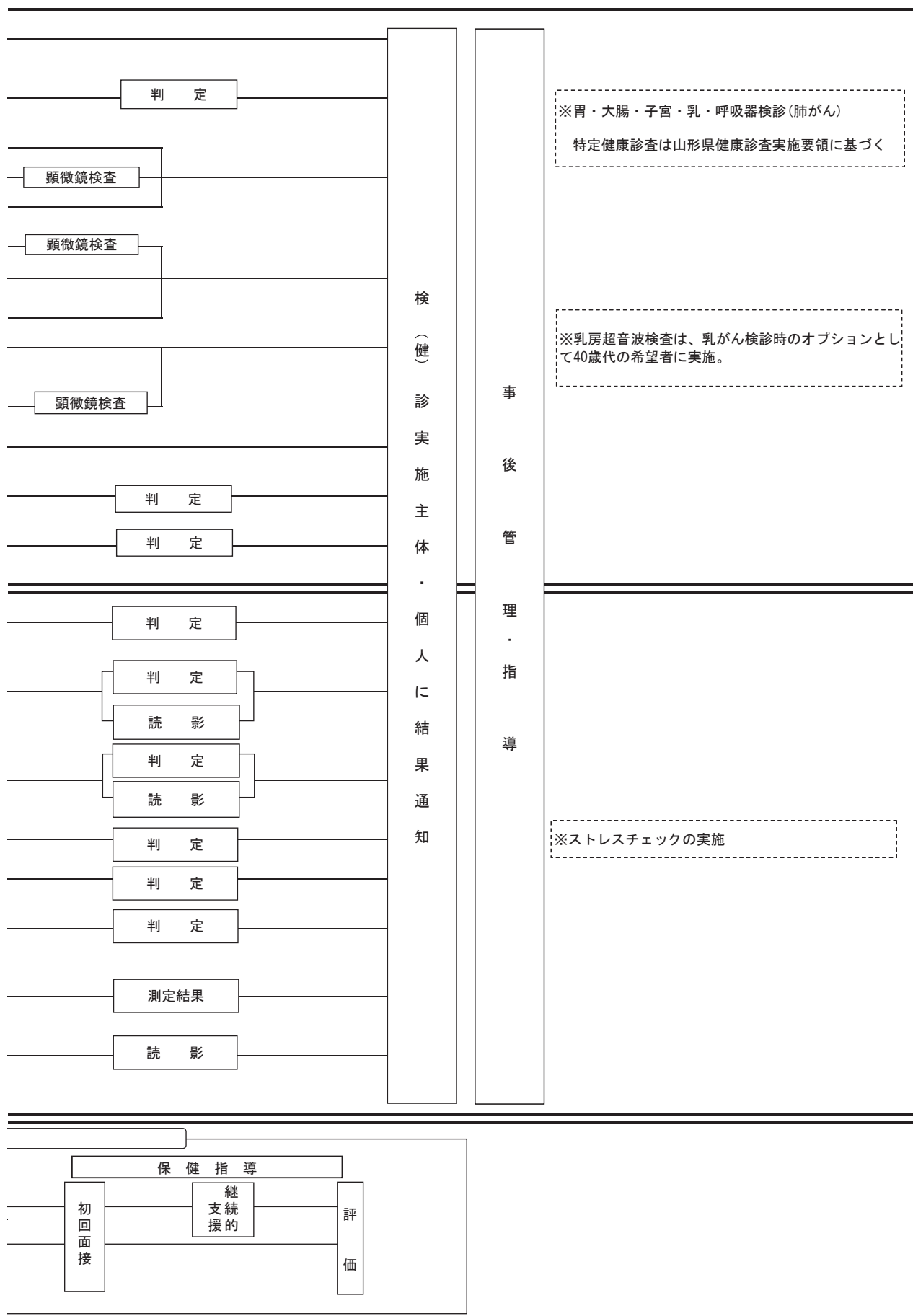
論文投稿

子宮頸がん検診における液状検体法の導入効果の検討	105
胃がん検診における偶発症発生状況について	106
ピア・サポーター向けがんサロン企画・運営スキル習得支援 プログラムの開発・実践報告	107
医療施設に属さないがん相談支援センターがん相談員の過 去3年間の自己評価分析	108
当機構における膵管拡張所見の取扱い	109

I . 各種検(健)診の流れ

1. 各種検(健)診の流れ





Ⅱ. 検(健)診委員会

Ⅱ. 検(健)診委員会

(1) 消化器検診委員会

1. 事業評価

(1) 事業評価のためのチェックリスト等について

今年度のがん検診実施状況について「事業評価のためのチェックリスト」により評価を行った。

胃がん検診については、精度管理の内容を満たしていない項目として、胃部エックス線撮影に携わる技師の専門技師資格取得が完了していない点と読影判定医の認定医取得が進んでいない点の2点について確認し、専門技師資格取得に関しては、残り5名の資格取得を早期に進めることを報告。認定医取得に関しては、各医師会、各読影医へ引き続き依頼していくこととした。

大腸がん検診については、精度管理の内容を満たしていない項目はなく、すべての項目において条件を満たしていることを報告。

(2) プロセス指標 (表-1)

プロセス指標による評価では、新事業評価指票を基に健康増進法に基づき市町村で実施した令和5年度の地域住民の50歳～74歳まで(胃がん検診)および40歳～74歳(大腸がん検診)の検診の成績について、センターごとの要精検率、がん発見率等と国で示す事業評価指標の基準値と比較した成績をまとめ作成した。

令和5年度の胃がん検診(地域住民)の成績について、要精検率では、基準値7.6%以下であり、全体では5.9%と基準を満たしているが、最上検診センターのみ8.2%と基準を満たしていない。精検受診率では、全体で82.9%であり、こちらも全検診センターで基準値90%以上を満たしていない。がん発見率では基準値が0.11%以上と設定されているが、全体で0.06%と最上検診センターを除く全てのセンターで基準値を下回っていた。陽性反応適中度では、基準値1.5%以上と設定されており、全体で0.95%と基準を満たしていない結果であった。

同様に大腸がん検診(地域住民)の成績について、要精検率では、基準値6.8%以下であり、全体で5.2%と全ての検診センターで基準を満たしている。精検受診率では、全体で75.0%と全センターで基準値90%以上を満たしていない。がん発見率では、基準値が0.21%以上と設定されており、全体で0.15%と基準値を満たしていない。陽性反応適中度では、基準値が3.0%以上と設定されており、全体で2.80%と基準値を満たしていなかった。

令和5年度より新事業評価指数となり、基準値が再設定されたことにより前年より満たしていない項目が増えた。

表-1 プロセス指標

胃がん検診 地域住民検診:50歳～74歳

<要精検率>

(R4まで)許容値:11.0%以下

(R5) 基準値:7.6%以下

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	7.1%	6.7%	5.6%	5.3%	5.2%
庄内C	5.6%	5.3%	5.1%	4.9%	6.0%
最上C	8.2%	8.6%	7.6%	7.7%	8.2%
米沢C	8.8%	7.6%	7.9%	8.1%	6.5%
南陽C	7.1%	6.1%	5.8%	7.1%	5.4%
合計	7.0%	6.6%	6.0%	6.0%	5.9%

<精検受診率>

(R4まで)許容値:70%以上 目標値:90%以上

(R5) 基準値:90%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	81.1%	79.9%	84.5%	78.9%	80.1%
庄内C	82.7%	86.5%	79.7%	81.3%	84.9%
最上C	88.7%	85.6%	80.0%	83.2%	83.8%
米沢C	84.9%	86.0%	86.8%	86.3%	81.5%
南陽C	79.4%	79.1%	78.0%	84.9%	84.8%
合計	82.8%	82.7%	81.8%	82.2%	82.9%

<がん発見率>

(R4 まで)許容値:0.11%以上

(R5) 基準値:0.11%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	0.13%	0.05%	0.09%	0.07%	0.02%
庄内 C	0.09%	0.06%	0.11%	0.09%	0.08%
最上 C	0.12%	0.06%	0.04%	0.09%	0.10%
米沢 C	0.20%	0.21%	0.00%	0.09%	0.05%
南陽 C	0.05%	0.09%	0.07%	0.08%	0.05%
合計	0.11%	0.08%	0.08%	0.08%	0.06%

<陽性反応適中度>

(R4 まで)許容値:1.0%以上

(R5) 基準値:1.5%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	1.76%	0.82%	1.56%	1.24%	0.44%
庄内 C	1.69%	1.18%	2.21%	1.92%	1.35%
最上 C	1.51%	0.75%	0.58%	1.20%	1.38%
米沢 C	2.28%	2.79%	0.00%	1.09%	0.77%
南陽 C	0.74%	1.45%	1.24%	1.06%	0.84%
合計	1.58%	1.15%	1.31%	1.32%	0.95%

大腸がん検診 地域住民検診:40 歳～74 歳

<要精検率>

(R4 まで)許容値:7.0%以下

(R5) 基準値:6.8%以下

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	5.2%	5.4%	4.8%	4.6%	4.7%
庄内 C	6.1%	6.0%	5.5%	5.3%	5.7%
最上 C	6.6%	6.0%	5.9%	5.6%	5.7%
米沢 C	6.2%	5.1%	5.5%	4.0%	5.0%
南陽 C	5.5%	6.0%	5.0%	4.6%	5.1%
合計	5.8%	5.7%	5.2%	4.9%	5.2%

<精検受診率>

(R4 まで)許容値:70%以上 目標値:90%以上

(R5) 基準値:90%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	78.5%	70.5%	72.7%	76.0%	72.1%
庄内 C	75.2%	77.7%	74.6%	72.0%	79.5%
最上 C	81.1%	77.7%	73.7%	80.1%	74.7%
米沢 C	75.3%	71.2%	69.4%	73.8%	77.6%
南陽 C	76.1%	76.5%	70.9%	76.4%	72.6%
合計	77.4%	74.7%	72.8%	75.5%	75.0%

<がん発見率>

(R4 まで)許容値:0.13%以上

(R5) 基準値:0.21%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	0.20%	0.16%	0.16%	0.17%	0.12%
庄内 C	0.22%	0.12%	0.15%	0.20%	0.17%
最上 C	0.16%	0.24%	0.19%	0.12%	0.13%
米沢 C	0.18%	0.21%	0.30%	0.14%	0.17%
南陽 C	0.11%	0.14%	0.12%	0.08%	0.16%
合計	0.18%	0.16%	0.16%	0.15%	0.15%

<陽性反応適中度>

(R4 まで)許容値:1.9%以上

(R5) 基準値:3.0%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	3.87%	2.98%	3.31%	3.59%	2.55%
庄内 C	3.55%	2.08%	2.68%	3.87%	3.01%
最上 C	2.41%	3.98%	3.26%	2.23%	2.30%
米沢 C	2.83%	4.19%	5.56%	3.36%	3.28%
南陽 C	2.07%	2.33%	2.29%	1.84%	3.21%
合計	3.17%	2.86%	3.15%	3.14%	2.80%

2. 検診成績

(1) 令和5年度の実施状況:胃がん検診 (表-2)

令和5年度の受診者数は地域住民 37,173 人、職域職員 47,415 人、の合計 84,588 人であった。要精検者数は 4,620 人で要精検率は 5.5%であった。精検受診者数は 3,645 人で精検受診率は 78.9%であった。精密検査結果の内訳は、胃がん确诊が 53 人、胃がん疑いが 18 人、その他疾患(延べ数)が 3,138 人で、がん発見率は 0.06%、陽性反応適中度は 1.15%であった。

(2) 令和 5 年度の実施状況:大腸がん検診(表－3)

令和 5 年度の受診者数は地域住民 67,640 人、職域職員 62,315 人、の合計 129,955 人であった。要精検者数は 6,627 人で要精検率は 5.1%であった。精検受診者数は 4,844 人で精検受診率は 73.1%であった。精密検査結果の内訳は、大腸がん確診が 170 人、大腸がん疑いが 34 人、その他疾患(延べ数)が 3,325 人で、がん発見率は 0.13%、陽性反応適中度は 2.57%であった。

表－2 胃がん検診実施状況(地域住民＋職域職員)

年齢別	受診者数	異常なし	精検 不要	要精検者数		精 密 検 査 結 果						胃がん検診	
				人員	率	精検受診者	同左率	異常なし	胃がん確診	胃がん疑	その他 (延数)	陽性反応適中度	がん発見率
50 歳未満	24,110	15,320	7,896	894	3.7	653	73.0	239	4	0	465	0.45	0.02
50～74 歳	51,387	22,807	25,575	3,005	5.8	2,374	79.0	511	23	11	2,108	0.77	0.04
75 歳以上	9,091	2,575	5,795	721	7.9	618	85.7	91	26	7	565	3.61	0.29
計	84,588	40,702	39,266	4,620	5.5	3,645	78.9	841	53	18	3,138	1.15	0.06

表－3 大腸がん検診実施状況(地域住民＋職域職員)

年齢別	受診者数	便潜血陰性	要精検者数		精 密 検 査 結 果						大腸がん検診	
			人員	率	精検受診者	同左率	異常なし	大腸がん確診	大腸がん疑	その他(延数)	陽性反応適中度	がん発見率
40 歳未満	7,174	6,912	262	3.7	168	64.1	97	0	0	74	0.00	0.00
40～74 歳	102,016	97,274	4,742	4.6	3,406	71.8	1,071	111	24	2,303	2.34	0.11
75 歳以上	20,765	19,142	1,623	7.8	1,270	78.3	307	59	10	948	3.64	0.28
計	129,955	123,328	6,627	5.1	4,844	73.1	1,475	170	34	3,325	2.57	0.13

3. 胃がんリスク評価実施成績(表-4)

令和5年度の胃がんリスク評価受診者数は1,507人で、全体の要精検率は11.0%となった。
がん発見者(疑い含)は1人であった。

表-4 胃がんリスク評価実施成績

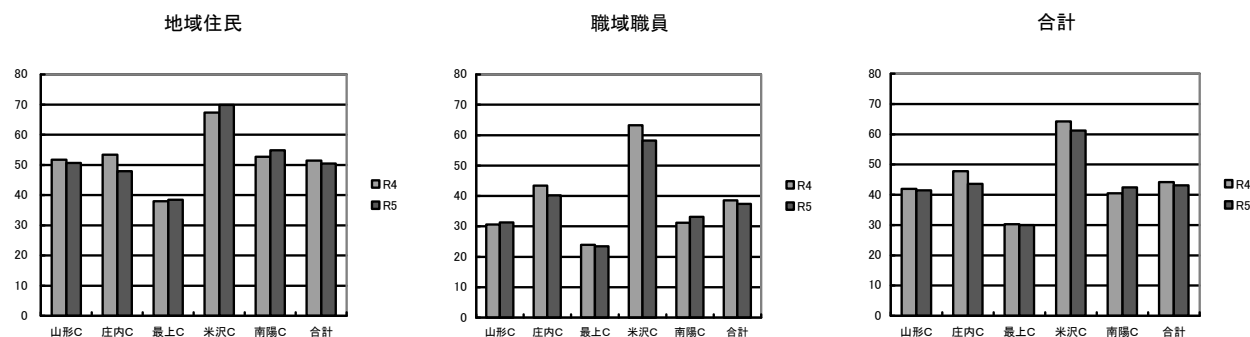
市町村		受診者数	胃がんリスク評価結果					精検 受診者数	精検受診率	胃がんリスク評価 精密検査結果		
			A群	B群	C群	D群	E群			異常なし	がん(疑い含)	その他疾患
山形 C	山形市	85	54	20	9	2	0	15	48.4%	4	0	11
	上山市	36	21	10	5	0	0	0	0.0%	0	0	0
	天童市	98	76	14	6	0	2	0	0.0%	0	0	0
	山辺町	18	10	1	6	1	0	1	100.0%	1	0	0
	村山市	25	18	3	4	0	0	0	0.0%	0	0	0
	東根市	70	47	12	11	0	0	0	0.0%	0	0	0
	大石田町	3	2	1	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
庄内 C	酒田市	146	103	22	20	1	0	28	65.1%	6	0	22
	庄内町	3	1	2	0	0	0	2	100.0%	0	0	2
最上 C	新庄市	94	59	19	15	0	1	25	73.5%	2	1	22
	金山町	12	8	1	3	0	0	2	50.0%	1	0	1
	最上町	18	11	2	5	0	0	3	42.9%	0	0	3
	舟形町	28	16	8	4	0	0	5	41.7%	1	0	4
	真室川町	20	10	6	4	0	0	7	70.0%	1	0	6
	大蔵村	40	24	7	2	1	6	6	60.0%	2	0	4
	鮭川村	8	5	2	1	0	0	1	33.3%	1	0	0
	戸沢村	5	1	1	1	1	1	3	100.0%	2	0	1
米沢 C	米沢市	97	60	25	10	2	0	1	50.0%	0	0	1
南陽 C	南陽市	20	12	6	2	0	0	0	0.0%	0	0	0
	長井市	47	22	13	12	0	0	0	0.0%	0	0	0
	川西町	21	14	2	4	1	0	1	100.0%	0	0	1
	白鷹町	9	6	1	2	0	0	0	0.0%	0	0	0
	飯豊町	13	5	6	2	0	0	0	0.0%	0	0	0
	小国町	2	1	0	1	0	0	0	0.0%	0	0	0
	事業所	589	474	80	32	3	0	1	33.3%	0	0	1
計		1,507	1,060	264	161	12	10	101	60.8%	21	1	79

4. 胃がん検診における読影判定区分(慢性胃炎)判定状況(表－5)

令和5年度胃がん検診受診者数は、地域住民 37,173 人、職域職員 47,415 人、合計 84,588 人で令和4年度より減少している。慢性胃炎の判定は、令和5年度地域住民 18,743 人、職域職員 17,715 人、合計 36,458 人で令和4年度よりも減少しており、判定率は米沢検診センターで 61.2%と高く、最上検診センターで 30.0%と低い結果となった。

表－5 胃がん検診における読影判定区分(慢性胃炎)判定状況

区分		受診者 A	精検不要					要精検者数			
			1	2			合計	3a	3b	4	5
				慢性胃炎 B	判定率 B/A	その他					
山形 C	地域住民	13,596	5,825	6,879	50.6%	136	7,015	34	719	2	1
	職域職員	12,113	7,713	3,791	31.3%	165	3,956	11	432	1	0
	計	25,709	13,538	10,670	41.5%	301	10,971	45	1,151	3	1
庄内 C	地域住民	9,109	3,862	4,364	47.9%	298	4,662	325	255	3	2
	職域職員	11,837	6,017	4,764	40.2%	465	5,229	386	203	2	0
	計	20,946	9,879	9,128	43.6%	763	9,891	711	458	5	2
最上 C	地域住民	5,158	2,601	1,981	38.4%	164	2,145	88	318	6	0
	職域職員	6,579	4,364	1,541	23.4%	286	1,827	97	289	2	0
	計	11,737	6,965	3,522	30.0%	450	3,972	185	607	8	0
米沢 C	地域住民	2,768	616	1,934	69.9%	33	1,967	4	180	1	0
	職域職員	8,091	2,762	4,708	58.2%	150	4,858	3	468	0	0
	計	10,859	3,378	6,642	61.2%	183	6,825	7	648	1	0
南陽 C	地域住民	6,542	2,196	3,585	54.8%	384	3,969	313	62	2	0
	職域職員	8,795	4,746	2,911	33.1%	727	3,638	347	58	6	0
	計	15,337	6,942	6,496	42.4%	1,111	7,607	660	120	8	0
合計	地域住民	37,173	15,100	18,743	50.4%	1,015	19,758	764	1,534	14	3
	職域職員	47,415	25,602	17,715	37.4%	1,793	19,508	844	1,450	11	0
	計	84,588	40,702	36,458	43.1%	2,808	39,266	1,608	2,984	25	3



5. 偶発症発生状況(表一6)

令和5年度偶発症発生状況として、誤嚥11件、腸管穿孔2件、腸閉塞0件、過敏症1件、気分不良4件、外傷5件、その他8件の計31件の報告となった。

表一6 偶発症発生状況

	R3						R4						R5					
	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C	合計	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C	合計	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C	合計
誤嚥	2	1			1	4	3	9	3	3	1	19	5	4		2		11
腸管穿孔							1					1	1		1			2
腸閉塞																		
過敏症											1	1				1		1
気分不良	4					4	1	1	4			6			4			4
外傷	1					1	7					7	3	2	1	1		7
その他	4					4		1	1※	3	1	6		1		2	5	8

6. 今後の課題

- ・事業評価のためのチェックリスト項目達成に向けた胃がん検診専門技師認定資格取得及び認定医師の確保
- ・他機関における胃がん、大腸がん検診精検受診率向上に向けた取り組みについての調査、報告について
- ・胃がん検診における読影個人成績の通知について
- ・慢性胃炎のチェック基準に関するルール化について
- ・全国的な慢性胃炎の判定率に関する調査、報告について

(2) 呼吸器検診委員会

1. 事業評価

(1) プロセス指標

プロセス指標による評価では、健康増進法に基づき市町村で実施した令和 5 年度の地域住民の 40 歳～74 歳までの検診の成績について、センターごとの要精検率、がん発見率等を国で示す事業評価指標の R4 年以前までは許容値と目標値、R5 以降は基準値と比較し成績として作成した。

令和 5 年度の地域住民の成績について、要精検率は最上検診センター以外では基準値を満たしている。精検受診率は全センターで基準値には届いていない。がん発見率と陽性反応適中度では全センターで基準値に届かない結果となった。

プロセス指標

地域住民:40 歳～74 歳

【要精検率】R4 以前 許容値:3.0%以下
R5 以降 基準値:2.4%以下

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
山形 C	2.2%	2.1%	1.6%	1.7%	1.5%
庄内 C	3.7%	3.1%	2.7%	2.1%	2.3%
最上 C	2.8%	3.1%	2.8%	2.9%	2.8%
米沢 C	2.4%	2.3%	1.8%	1.9%	1.5%
南陽 C	2.3%	2.1%	1.6%	2.1%	2.1%
合計	2.7%	2.5%	2.1%	2.1%	2.0%

【精検受診率】R4 以前 許容値:70%以上 目標値:90%以上
R5 以降 基準値:90%以上

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
山形 C	85.1%	87.4%	82.7%	84.1%	86.4%
庄内 C	85.3%	88.3%	79.4%	85.6%	84.1%
最上 C	83.7%	80.0%	84.7%	84.3%	81.0%
米沢 C	83.9%	100.0%	85.5%	85.5%	77.2%
南陽 C	86.1%	85.2%	84.2%	88.4%	86.8%
合計	87.0%	86.7%	82.4%	85.3%	84.1%

【がん発見率】R4 以前 許容値:0.03%以上
R5 以降 基準値:0.10%以上

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
山形 C	0.02%	0.04%	0.03%	0.03%	0.02%
庄内 C	0.05%	0.07%	0.01%	0.03%	0.02%
最上 C	0.02%	0.05%	0.05%	0.04%	0.05%
米沢 C	0.00%	0.06%	0.00%	0.00%	0.05%
南陽 C	0.00%	0.03%	0.03%	0.01%	0.01%
合計	0.02%	0.05%	0.03%	0.03%	0.03%

【陽性反応適中度】R4 以前 許容値:1.3%以上
R5 以降 基準値:4.1%以上

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
山形 C	0.69%	2.06%	2.00%	1.87%	1.47%
庄内 C	1.42%	2.26%	0.25%	1.37%	1.00%
最上 C	0.84%	1.54%	1.69%	1.31%	1.90%
米沢 C	0.00%	2.41%	0.00%	0.00%	3.51%
南陽 C	0.00%	1.59%	2.05%	0.55%	0.57%
合計	0.84%	1.98%	1.22%	1.28%	1.38%

2. 検診成績

(1) 年次別実施状況(年度別実施状況)

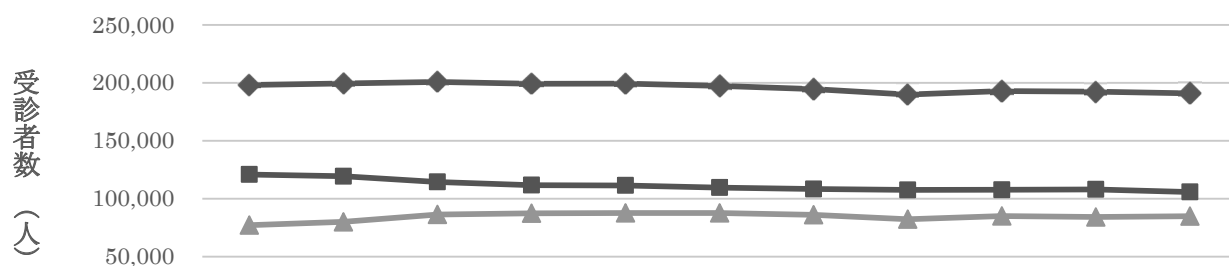
平成 25 年度からの当機構全体の合計数は、全 12 区分に分類して集計を行っており、①～④は地域住民で肺がん検診と結核検診に分類、⑤は大学や高校の学生、⑥は①～⑤に分類できないもの、⑦～⑪は職域職員に分類できないもの、右の表は喀痰細胞診検査の数を掲載している。

対象区分	胸部X線検査											喀痰細胞診検査				
	肺がん検診 ①〔住〕	肺がん検診 ②〔住〕	胸部×線検査 ③〔住〕	結核検診 ④〔住〕	結核検診 ⑤〔学〕	①⑤〔住・学〕 以外	結核検診 ⑦〔職〕	定期検診 ⑧〔職〕	肺がん検診 ⑨〔職〕	定期検診 ⑩〔職〕	⑦⑩以外 ⑪〔職〕	合計	肺がん検診 ①②〔住〕	肺がん検診 ⑨〔職〕	肺がん検診 ⑫以外	合計
					大学・高校・高専・専修等								高危険群に 対し施行		高危険群 以外に施行等	
														40～	40～	
対象年齢	40～64	65～	40～64	65～			～39	40～	40～				40～	40～		
平成 25 年度	30,294	38,853		3	7,159	17,462	6,395	36,428	8,073	51,819	1,619	198,105	1,113	702	1,282	3,097
平成 26 年度	28,376	43,655		4	5,230	11,501	8,350	38,986	8,023	53,228	2,075	199,428	923	630	1,336	2,889
平成 27 年度	26,784	51,595		0	1,690	11,499	8,840	35,976	8,009	55,023	1,439	200,855	896	611	609	2,116
平成 28 年度	24,844	54,575		0	1,071	10,779	6,937	35,158	8,041	55,633	2,165	199,203	925	542	1,615	3,082
平成 29 年度	23,182	56,080		0	284	10,735	587	42,068	8,517	56,388	1,402	199,243	954	539	447	1,940
平成 30 年度	21,736	56,804		0	213	10,453	1,177	40,071	9,199	56,855	842	197,350	842	486	0	1,328
令和元年度	20,644	57,189	14	145	10,937	5,507		33,562	8,290	57,968	258	194,514	716	442	0	1,158
令和 2 年度	18,896	54,902	0	152	10,602	5,434		33,212	8,525	57,963	226	189,912	635	520	181	1,336
令和 3 年度	19,124	57,369	0	100	10,105	5,334		33,028	8,541	58,781	403	192,885	624	534	678	1,836
令和 4 年度	18,115	57,345	0	80	8,861	446		39,026	8,764	59,493	161	192,291	509	478	882	1,869
令和 5 年度	17,078	57,696	0	70	8,463	683		37,934	10,219	58,545	188	190,876	481	503	622	1,606

呼吸器検診の受診者数は、平成 25 年度以降は概ね 200,000 人前後で推移しているが、徐々に減少傾向にある。平成 29 年度、各市町村では結核検診から肺がん検診に移行したことに伴い、一部の地域を除き地域住民の大半が肺がん検診を受診している。

令和元年度、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症まん延により、受診者数減少が見られたが、令和 3 年度以降は受診者増加となっている。

呼吸器検診 実施状況 年次推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
◆ 全体	198,105	199,428	200,855	199,203	199,243	197,350	194,514	189,912	192,885	192,291	190,876
■ 結核検診	120,885	119,374	114,467	111,743	111,464	109,611	108,391	107,589	107,751	108,067	105,883
▲ 肺がん検診	77,220	80,054	86,388	87,460	87,779	87,739	86,123	82,323	85,132	84,224	84,993

(2)令和3年度～令和5年度 呼吸器検診読影状況(地区医師会呼吸器検診委員会別)

当機構では、各地区医師会に読影を依頼している。令和5年度は、合計190,876件の読影を依頼し、要精検者数は4,669人、要精検率は2.4%であった。要精検率について、令和3年度から減少している。検診日から読影終了までの日数が令和5年度は1日減となった。

地区医師会名	読影委員数 (人)	読影総数 (枚)	胸部X線 読影数 (枚)	委員一名当たり 読影数 (枚)	要精検E 判定者数 (人)	要精検E 率 (%)	要精検D 判定者数 (人)	要精検D 率 (%)	要精検 判定者数 (人)	要精検率 (%)	検診日～ 読影依頼		読影依頼～ 読影終了		検診日～ 読影終了	
											平均 (日)	最長 (日)	平均 (日)	最長 (日)	平均 (日)	最長 (日)
令和3年度	山形市	19	5,224	550	84	1.6	183	3.5	267	5.1	5.5	10	2.1	7	6.6	12
	天童・東村山	5	9,119	3,648	111	1.2	120	1.3	231	2.5	5.5	12	2.5	7	7.0	14
	上山市	3	6,327	4,218	56	0.9	69	1.1	125	2.0	4.8	15	2.2	5	6.1	15
	北村山地区	6	7,138	2,379	80	1.1	71	1.0	151	2.1	5.4	14	1.0	1	5.4	14
	新庄・最上	7	26,064	7,447	692	2.7	260	1.0	952	3.7	3.0	10	5.5	13	7.6	14
	酒田地区	13	46,722	7,188	1,076	2.3	272	0.6	1,348	2.9	3.0	13	1.6	6	3.6	15
	南陽・東置賜	7	17,528	5,008	333	1.9	127	0.7	460	2.6	3.6	14	1.1	6	4.0	14
	長井・西置賜	5	12,246	4,898	142	1.2	85	0.7	227	1.9	6.2	14	1.6	1	7.0	14
	米沢市	9	22,475	4,994	355	1.6	83	0.4	438	1.9	6.5	13	1.5	3	7.0	14
	その他	5	40,042	16,017	466	1.2	750	1.9	1,216	3.0	5.8	14	2.0	7	6.9	15
	合計	79	192,885	—	3,395	1.8	2,020	1.0	5,415	2.8	—	15	—	13	—	15
令和4年度	山形市	19	5,456	574	92	1.7	194	3.6	286	5.2	5.8	13	2.5	7	7.3	14
	天童・東村山	5	10,721	4,288	142	1.3	110	1.0	252	2.4	6.5	15	2.3	6	7.8	15
	上山市	3	5,370	3,580	50	0.9	45	0.8	95	1.8	6.2	16	2.2	6	7.4	16
	北村山地区	5	7,492	2,997	122	1.6	136	1.8	258	3.4	6.1	15	1.0	1	6.1	15
	新庄・最上	7	25,875	7,393	620	2.4	256	1.0	876	3.4	2.8	9	5.8	14	7.6	15
	酒田地区	13	46,752	7,193	879	1.9	290	0.6	1,169	2.5	2.8	10	1.5	8	3.3	10
	南陽・東置賜	7	17,310	4,946	386	2.2	171	1.0	557	3.2	3.2	14	1.0	8	3.3	14
	長井・西置賜	5	12,176	4,870	141	1.2	44	0.4	185	1.5	5.8	15	1.4	8	6.1	15
	米沢市	9	22,498	5,000	243	1.1	102	0.5	345	1.5	7.0	13	2.0	6	7.5	13
	その他	5	38,641	15,456	424	1.1	620	1.6	1,044	2.7	5.6	16	2.3	8	5.9	19
	合計	78	192,291	—	3,099	1.6	1,968	1.0	5,067	2.6	—	16	—	14	—	19
令和5年度	山形市	21	5,490	523	95	1.7	178	3.2	273	5.0	6.8	15	2.3	10	8.1	15
	天童・東村山	5	10,665	4,266	130	1.2	156	1.5	286	2.7	7.4	14	2.1	5	8.4	16
	上山市	3	5,472	3,648	62	1.1	57	1.0	119	2.2	6.7	15	1.8	5	7.4	16
	北村山地区	5	8,036	3,214	91	1.1	110	1.4	201	2.5	8.3	15	1.1	5	8.4	15
	新庄・最上	7	25,592	7,312	635	2.5	336	1.3	971	3.8	2.5	10	6.0	11	7.5	15
	酒田地区	13	46,641	7,176	889	1.9	325	0.7	1,214	2.6	2.9	16	2.4	8	4.3	16
	南陽・東置賜	7	16,895	4,827	293	1.7	106	0.6	399	2.4	3.2	14	1.0	1	3.2	14
	長井・西置賜	5	12,315	4,926	173	1.4	42	0.3	215	1.7	4.9	14	1.3	8	5.2	14
	米沢市	9	23,000	5,111	238	1.0	100	0.4	338	1.5	4.9	12	2.2	7	6.0	13
	その他	5	36,770	14,708	280	0.8	373	1.0	653	1.8	5.9	18	2.3	10	7.2	18
	合計	80	190,876	—	2,886	1.5	1,783	0.9	4,669	2.4	—	18	—	11	—	18

(3) 実施成績

40 歳以上の地域住民では、肺がん検診 74,776 人、結核検診 70 人と肺がん検診の受診割合が多かった。肺がん検診では、E判定からの要精検者数 1,816 人、精検受診率 84.1%で肺がん発見数は 36 人、陽性応適中度 1.98%、がん発見率は 0.05%であった。D判定からの肺がん発見数は 4 名であった。

「地域住民」(40 歳以上)

		1 次検診							
		X線検査 受診者数	A	B	C	D	E	要精検者数 D+E	要精検率 (%)
			読影不能	異常所見 認めない	異常認めるが 精検不要	肺がん以外 の疾患の精査	肺がんに 対する精査		
肺がん検診	山形 C	26,098		21,961	2,847	795	495	1,290	4.9
	庄内 C	20,204		17,555	1,832	228	589	817	4.0
	最上 C	11,718		10,912	200	225	381	606	5.2
	米沢 C	4,675		4,264	276	51	84	135	2.9
	南陽 C	12,081		10,995	726	93	267	360	3.0
	合計	74,776			5,881	1,392	1,816	3,208	4.3
結核検診	山形 C	70		54	9	7		7	10.0
	庄内 C								
	最上 C								
	米沢 C								
	南陽 C								
	合計	70	0	54	9	7	0	7	10.0
地域住民合計		74,846	0	65,741	5,890	1,399	1,816	3,215	4.3

		精 密 検 査												
		D判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)		陽性反応適中度 (結核) 2)/D1	結核発見率 (%) 2)/a	E判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)			陽性反応適中度 (肺がん) 4)/E	肺がん発見率 (%) 4)/a
				1)	2)					3)	4)	5)		
				原発性肺がん 確定者数	肺結核 確定者数					精検完了者数	原発性肺がん 確定者数	肺結核 確定者数		
肺がん検診	山形 C	657	82.6	2				423	85.5	416	11		2.22	0.04
	庄内 C	186	81.6	1				492	83.5	487	14		2.38	0.07
	最上 C	161	71.6	0				311	81.6	308	5		1.31	0.04
	米沢 C	39	76.5	1				67	79.8	65	4		4.76	0.09
	南陽 C	70	75.3	0				235	88.0	227	2		0.75	0.02
	合計	1,113	80.0	4	0	0	0	1,528	84.1	1,503	36	0	1.98	0.05
結核検診	山形 C	6	85.7					1	50.0	1				
	庄内 C													
	最上 C													
	米沢 C													
	南陽 C													
	合計	6	85.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域住民 合計		1,119	80.0	4	0	0	0	1,528	84.1	1,503	36	0	1.98	0.05

「職域職員」(40 歳以上)

		1 次検診							
		X線検査 受診者数	A	B	C	D	E	要精検者数 D+E	要精検率 (%)
			読影不能	異常所見 認めない	異常認めるが 精検不要	肺がん以外の 疾患の精査	肺がん に対する精査		
肺がん検診	山形 C	4,406		4,043	280	27	56	83	1.9
	庄内 C	1,926		1,789	103	12	22	34	1.8
	最上 C	892		850	12	6	24	30	3.4
	米沢 C	1,798		1,706	72	5	15	20	1.1
	南陽 C	1,196		1,119	63	2	12	14	1.2
	合計	10,218	0	9,507	530	52	129	181	1.8
(結核) 定期検診	山形 C	14,578		13,215	1,004	183	176	359	2.5
	庄内 C	15,379		14,308	740	79	252	331	2.2
	最上 C	8,636		8,271	73	84	208	292	3.4
	米沢 C	9,409		8,900	356	33	120	153	1.6
	南陽 C	10,548		9,883	461	41	163	204	1.9
	合計	58,550	0	54,577	2,634	420	919	1,339	2.3
職域職員合計		68,768	0	64,084	3,164	472	1,048	1,520	2.2

		精 密 検 査												
		D 判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)		陽性反応適中度 (結核) 2)/D1	結核発見率 (%) 2)/a	E 判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)			陽性反応適中度 (肺がん) 4)/E	肺がん発見率 (%) 4)/a
				1)	2)					3)	4)	5)		
				原発性肺がん 確診者数	肺結核 確診者数					精検完了者数	原発性肺がん 確診者数	肺結核 確診者数		
肺がん検診	山形 C	23	85.2					49	87.5	48				
	庄内 C	10	83.3					17	77.3	17	1		4.55	0.05
	最上 C	3	50.0					21	87.5	21				
	米沢 C	4	80.0					13	86.7	13				
	南陽 C	2	100.0					12	100.0	10	1		8.33	0.08
	合計	42	80.8	0	0	0	0	112	86.8	109	2	0	1.55	0.02
(結核) 定期検診	山形 C	117	63.9					136	77.3	134				
	庄内 C	46	58.2					188	74.6	185	1		0.40	0.01
	最上 C	61	72.6					166	79.8	164	1		0.48	0.01
	米沢 C	22	66.7					87	72.5	86	1		0.83	0.01
	南陽 C	30	73.2					135	82.8	133				
	合計	276	65.7	1	0	0	0	712	77.5	702	3	0	0.33	0.01
職域職員 合計		318	67.4	1	0	0	0	824	78.6	811	5	0	0.48	0.01

(4) 喀痰細胞診検査成績表

高危険群所属者の割合は、令和5年度において15%と過去3年間ほぼ変化は見られなかった。喀痰検査提出者数は2,104件、要精検者は1人、要精検率は0.05%、精検受診率は100%であった。地域住民より1名の原発性がんが発見された。胸部X線では異常なしであった。

		肺がん検診受診者数	1次検査											精密検査			
			喀痰検査(高危険群)			喀痰検査(全体)		喀痰細胞診の判定基準と指導区分					要精密検査者率	DE判定に対する 精検受診者数率	精検結果	陽性反応適中度(肺がん)	肺がん発見率
								A	B	C	D	E					
			所属者数率	高危険群	受診者数率	喀痰検査	提出者数率	喀痰検査	受診者数	喀痰検査	提出者数率	認めない					
令和3年度	地域住民	76,493	11,749 (15)	669 (6)	624 (93)	832	780 (94)	1	776	2	1		1 (0.13)			0.00	0.00
	職域職員	8,641	1,127 (13)	559 (50)	534 (96)	1,681	1,498 (89)	10	1,486	1		1	1 (0.07)	1 (100)	1	100.0	0.06
	合計	85,134	12,876 (15)	1,228 (10)	1,158 (94)	2,513	2,278 (91)	11	2,262	3	1	1	2 (0.09)	1 (50)	1	50.0	0.04
令和4年度	地域住民	75,460	11,729 (16)	536 (5)	509 (95)	658	623 (95)	5	615	2	1		1 (0.16)	1 (100)		0.00	0.00
	職域職員	8,764	1,058 (12)	506 (48)	478 (94)	1,614	1,404 (87)	27	1,369	6	2		2 (0.14)	2 (100)	1	50.0	0.06
	合計	84,224	12,787 (15)	1,042 (8)	987 (95)	2,272	2,027 (89)	32	1,984	8	3		3 (0.15)	3 (100)	1	33.3	0.04
令和5年度	地域住民	74,776	11,664 (16)	494 (4)	481 (97)	590	573 (97)	4	567	1	1		1 (0.17)	1 (100)	1	100.0	0.17
	職域職員	10,218	1,231 (12)	527 (43)	503 (95)	1,749	1,531 (88)	103	1,426	2							
	合計	84,994	12,895 (15)	1,021 (8)	984 (96)	2,339	2,104 (90)	107	1,993	3	1		1 (0.05)	1 (100)	1	100.0	0.04

(3)子宮がん検診委員会

1. 事業評価

プロセス指標 (表-1)

令和5年度子宮がん検診実施状況について、国が示す事業評価指標の許容値及び目標値を各検診センター別に比較した。令和5年度の地域住民の成績は、要精検率と、山形検診センターを除く陽性反応的中度では基準値を満たしていたものの、精検受診率、がん発見率において基準値を満たしていなかった。

表-1 プロセス指標 地域住民検診:20歳～74歳

【要精検率】

令和4年度以前 許容値:1.4%以下
令和5年度以降 基準値:2.5%以下

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	0.7%	0.9%	1.0%	0.8%	0.7%
庄内 C	0.8%	0.9%	0.6%	0.7%	0.6%
最上 C	1.2%	1.0%	0.9%	0.9%	0.6%
米沢 C	0.4%	0.9%	0.7%	0.7%	0.8%
南陽 C	0.8%	1.0%	1.1%	1.0%	0.5%
合計	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	0.6%

【がん発見率】

令和4年度以前 許容値:0.05%
令和5年度以降 基準値:0.15%

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	0.01%	0.08%	0.02%	0.04%	0.04%
庄内 C	0.07%	0.05%	0.04%	0.08%	0.06%
最上 C	0.00%	0.16%	0.05%	0.00%	0.05%
米沢 C	0.00%	0.06%	0.00%	0.00%	0.10%
南陽 C	0.02%	0.04%	0.05%	0.08%	0.06%
合計	0.03%	0.07%	0.03%	0.05%	0.05%

【精検受診率】

令和4年度以前 許容値:70%以上 / 目標値:90%以上
令和5年度以降 基準値:90%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	72.7%	83.3%	83.6%	70.5%	82.9%
庄内 C	86.4%	90.7%	93.3%	94.3%	89.7%
最上 C	85.2%	93.9%	88.9%	91.7%	72.7%
米沢 C	75.0%	82.4%	83.3%	75.0%	62.5%
南陽 C	78.1%	77.8%	86.4%	73.0%	73.7%
合計	80.0%	85.6%	86.5%	80.3%	80.4%

【陽性反応適中度】

令和4年度以前 許容値:4.0%以上
令和5年度以降 基準値:5.9%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形 C	2.3%	9.1%	1.5%	4.6%	5.7%
庄内 C	9.1%	5.6%	6.7%	11.4%	10.3%
最上 C	0.0%	15.2%	5.6%	0.0%	9.1%
米沢 C	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	12.5%
南陽 C	3.1%	4.4%	4.6%	8.1%	10.5%
合計	3.9%	7.9%	3.5%	5.9%	8.8%

2. 検診実施状況・精度管理状況

令和5年度の実施状況 (表-2,3,4)

受診者数は 33,045 人、要精検者数は 297 人、要精検率 0.90%であった。要精密検査の内訳は、ASC-US 115 人(0.35%) ASC-H 48 人(0.15%) LSIL 83 人(0.25%) HSIL 51 人(0.15%) AGC 1 人(0.003%) であった。

精密検査結果は、CIN1 70 人(29.4%) CIN2 17 人(7.1%) CIN3 18 人(7.6%) AIS 1 人(0.4%) SCC 3 人(1.3%) Adenocarcinoma 1 人(0.4%)その他の疾患 26 人(10.9%) 異常なし 102 人(42.9%)であった。

細胞診結果 HSIL 高度異形成、HSIL 上皮内がんで精検結果異常なしであった5例について再鏡検を行ったが、当初の判定と異なるものはなかった。

表-2 年齢別細胞診成績

※1 HSIL(上皮内がん)+AGC 1名

区 分	受診者数	要精検者数	一次検診結果								
			扁平上皮系					腺系			
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno.	Other.
～24 歳	442	24 (5.43)	9	3	12						
25～29 歳	743	25 (3.36)	12		13						
30～34 歳	1,157	21 (1.82)	4	2	9	6					
35～39 歳	1,766	23 (1.30)	6	3	5	9					
40～44 歳	2,954	60※1 (2.03)	16	12	13	19※1		1※1			
45～49 歳	3,195	51 (1.60)	18	11	12	10					
50～54 歳	3,372	42 (1.25)	17	12	8	5					
55～59 歳	3,198	17 (0.53)	9	1	5	2					
60～64 歳	4,178	6 (0.14)	4	1	1						
65～69 歳	4,493	10 (0.22)	8	1	1						
70～74 歳	4,581	9 (0.20)	4	2	3						
75～79 歳	2,088	3 (0.14)	3								
80 歳～	878	6 (0.68)	5		1						
合 計	35,108	297 (0.90)	115 (0.35)	48 (0.15)	83 (0.25)	51 (0.15)		1 (0.003)			

表-3 年齢別精密検査成績

区 分	精検 受診者数	精密検査結果									未受診
		異形成		上皮内がん		浸潤がん		体がん	その他	異常なし	
		CIN1	CIN2	CIN3	AIS	SCC	Adeno.				
～24 歳	18 (75.0)	7	3						2	6	6
25～29 歳	22 (88.0)	11	1						3	7	3
30～34 歳	20 (95.2)	10		3						7	1
35～39 歳	21 (91.3)	4	2	1	1	1			2	10	2
40～44 歳	46 (76.7)	11	6	7		1	1		4	16	14
45～49 歳	39 (76.5)	13	4	3		1			7	13	12
50～54 歳	36 (85.7)	8	1						3	24	6
55～59 歳	11 (64.7)	2		2					1	6	6
60～64 歳	4 (66.7)	3								1	2
65～69 歳	8 (80.0)			1						7	2
70～74 歳	7 (77.8)	1							3	3	2
75～79 歳	3 (100.0)			1					1	1	
80 歳～	4 (66.7)								2	2	2
合 計	239 (80.5)	70	17	18	1	3	1		28	103	58

表-4 細胞診成績と精密検査結果

	要精検者数	精検 受診者数	異形成		上皮内がん		浸潤がん		体癌	その他	異常なし
			CIN1	CIN2	CIN3	AIS	SCC	Adeno.			
ASC-US	115	96 (83.5)	17※3	2	1					19※3	58
ASC-H	48	35 (72.9)	9※3	7	7					1※3	12
LSIL 軽度異形成	83	68 (81.9)	35	1						5	27
HSIL	中等度異形成										
	高度異形成	15	12 (80.0)	5	2	2				1	2
	上皮内がん	36	27 (75.0)	4	5	8	1	3	1※2	2	3
SCC											
AGC	1	1 (100.0)						1※2			
AIS											
Adenocarcinoma											
Other malig.											
合計	297	238 (80.1)	70	17	18	1	3	1※2		28	102

※2 HSIL(上皮内がん)+AGC 1名 Adenocarcinoma にそれぞれ計上

※3 CIN1 とその他両方に計上

標本不適正

平成 27 年度より HOLOGIC 社 ThinPrep を導入し、血液量の多い検体や細胞量少数の検体は再作製を行い、不適正標本減少に努めている。令和 5 年度は不適正件数が 1 件あり、再検査を実施した。

3. 細胞診・HPV-DNA 検査併用検診の実施状況

令和 4～5 年度の実施成績(表-5,6,7)

令和 4 年度(初年度)2,135 人に実施し、1 年後検診該当者が 44 人(2.1%)であった。1 年後検診該当となった 44 人のうち、令和 5 年度に 23 人(52.3%)が同検診を行った。そのうち要精検者は 12 人(52.2%)であった。精密検査結果は、2 年連続細胞診 NILM/HPV 陽性で精検未受診者が 4 人(33.3%)異常なし 6 人(50.0%)CIN1 1 人(8.3%)初年度 NILM/HPV 陽性、1 年後再検査 LSIL/HPV 陽性の 1 人が CIN1 1 人(8.3%)であった。

表-5 令和 4 年度実施状況

初年度 (令和 4 年度)		HPV 検査	
		－	＋
細胞診	NILM	2,084	37
	ASC-US	7	
	その他	2	5

N=2, 135

指導区分		
定期検査	1 年後検診	要精密検査
2,084	44	7
97.6%	2.1%	0.3%

表-6 1 年後検診実施状況

2 年目 (令和 5 年度)		NILM/HPV(+)		ASC-US/HPV(-)		再検 受診率
		HPV 検査				
		－	＋	－	＋	
細胞診	NILM	10	11	1		52.3%
	ASC-US					
	その他		1			

表-7 1 年後検診精密検査結果

初年度(R4)		1 年後検診(R5)			
検診結果		検診結果		精密検査結果	
細胞診	HPV	細胞診	HPV	組織診	受診者数
NILM	＋	NILM	＋	未受診	4
		NILM	＋	異常なし	6
		NILM	＋	CIN1	1
		LSIL	＋	CIN1	1

4. 細胞診判定による受診勧奨の選別について

令和 5 年度より、機構からの精密検査受診勧奨が可能な職域職員受診者で、以下の判定がついた受診者に対し、結果通知後、個別に書類送付による受診勧奨を行っている。（一部事業所を除く。地域住民については、市町村から受診勧奨を行う）

【対象の判定】

HSIL(高度異形成)・HSIL(上皮内がん)・SCC・AIS・Adenocarcinoma・Other malign.

表-8 令和 5 年度勧奨対象者精密検査受診状況 対象者 51 名中 12 名が未受診(未受診率 23.5%)

	区分	勧奨対象		
		勧奨対象者	精検受診者数	
				同左率
山形 C	住民	3	2	66.7%
	職域	7	6	85.7%
庄内 C	住民	5	5	100.0%
	職域	8	6	75.0%
最上 C	住民	2	2	100.0%
	職域	5	4	80.0%
米沢 C	住民	1	1	100.0%
	職域	14	11	78.6%
南陽 C	住民	1	1	100.0%
	職域	5	1	20.0%
合計		51	39	76.5%

	対象者	うち未受診者
～24 歳	0	－
25～29 歳	1	0
30～34 歳	5	1
35～39 歳	11	0
40～44 歳	17	4
45～49 歳	10	3
50～54 歳	5	3
55～59 歳	2	1
60～64 歳	0	－
65～69 歳	0	－
70～74 歳	0	－
75～79 歳	0	－
80 歳～	0	－

(4) 乳がん検診委員会

1. 事業評価

(1) プロセス指標(表-1)

プロセス指標による評価では、健康増進法に基づき市町村で実施した令和5年度の地域住民40歳～74歳までの検診成績について、センター別に要精検率、がん発見率等を国で示す事業評価指標の基準値と比較した。令和4年度以前は今までの許容値で評価し、令和5年度は新基準値で評価を行った。

- ・要精検率は山形検診センターで2.7%、米沢検診センターでは6.8%と各センターで開きが見られ、米沢検診センターでは基準値を満たしていなかった。最上検診センターでは年々低下し、令和5年度は5.1%までに抑えられた。
- ・精検受診率は山形検診センターで89.2%、米沢検診センターで87.0%と低値で基準値を満たしていない。
- ・がん発見率は庄内検診センター、最上検診センターで基準値を満たし、最上検診センターにおいては0.50%と高い値であった。
- ・陽性反応適中度は米沢検診センター以外で基準値を満たしていた。米沢検診センターは2.60%と低く、読影体制の見直しなど改善策を検討していく。
- ・庄内検診センターにおいては、全ての項目で5年連続基準値を満たしている。

(表-1) プロセス指標 地域住民(40～74歳)

<要精検率>

[～R4]許容値:11.0%以下 [R5]基準値:6.4%以下

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	3.8%	3.9%	4.3%	3.8%	2.7%
庄内C	4.1%	4.7%	4.6%	4.2%	3.3%
最上C	8.0%	8.6%	5.8%	5.4%	5.1%
米沢C	5.0%	5.5%	6.4%	6.7%	6.8%
南陽C	4.5%	3.7%	3.5%	3.1%	2.9%
合計	4.8%	5.1%	4.6%	4.3%	3.5%

<精検受診率>

[～R4]許容値:80%以上 目標値:90%以上 [R5]基準値:90%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	87.0%	91.7%	92.1%	91.1%	89.2%
庄内C	87.7%	93.5%	92.8%	94.7%	90.7%
最上C	94.1%	93.0%	92.0%	93.8%	91.7%
米沢C	96.8%	93.8%	92.6%	90.7%	87.0%
南陽C	91.7%	88.8%	94.3%	91.0%	91.3%
合計	91.0%	92.1%	92.7%	92.2%	90.2%

<がん発見率>

[～R4]許容値:0.23%以上 [R5]基準値:0.31%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	0.22%	0.18%	0.24%	0.12%	0.14%
庄内C	0.39%	0.24%	0.54%	0.38%	0.37%
最上C	0.25%	0.21%	0.14%	0.28%	0.50%
米沢C	0.11%	0.12%	0.37%	0.28%	0.18%
南陽C	0.20%	0.15%	0.38%	0.12%	0.20%
合計	0.24%	0.18%	0.33%	0.21%	0.26%

<陽性反応適中度>

[～R4]許容値:2.5%以上 [R5]基準値:4.8%以上

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
山形C	5.69%	4.56%	5.64%	3.13%	5.41%
庄内C	9.52%	5.23%	11.76%	9.09%	11.34%
最上C	3.16%	2.45%	2.47%	5.21%	9.77%
米沢C	2.13%	2.08%	5.79%	4.24%	2.60%
南陽C	4.39%	4.14%	10.76%	3.76%	6.96%
合計	4.97%	3.65%	7.09%	4.88%	7.37%

2.検診成績

(1)令和 5 年度実施状況〔地域住民・職域職員別〕（表－2）

受診者数は地域住民が 19,410 人、職域職員が 13,141 人、合計 32,551 人であった。受診者数は令和 4 年度と比べると約 2,500 人減である。その要因としては、最上検診センターの地域住民において隔年検診の該当年度対象者が少ない年度であったこと、また米沢市地域住民において令和 5 年度より隔年検診へ移行した為である。職域職員受診者数には変化はなかった。米沢検診センターの受診者数においては地域住民より職域職員の件数が多い状況である。

（表－2） 令和 5 年度 乳がん検診実施状況 （地域住民・職域職員）

		受診者数 A	異常なし	要精検者数		精 密 検 査 結 果						乳がん検診	
				人員	率	精検受診者	同左率	異常なし	乳がん 確定	乳がん 疑い	その他疾患 (延べ数)	陽性反応 適中度	がん発見率
				B	B / A	C	C / B		D			D / B	D / A
山 形 C	地域住民	6,697	6,534	163	2.4	144	88.3	71	9	1	67	5.52	0.13
	職域職員	3,117	3,008	109	3.5	99	90.8	52	4	1	45	3.67	0.13
	計	9,814	9,542	272	2.8	243	89.3	123	13	2	112	4.78	0.13
庄 内 C	地域住民	3,547	3,441	106	3.0	97	91.5	41	11	1	44	10.38	0.31
	職域職員	2,566	2,494	72	2.8	66	91.7	21	9	4	32	12.50	0.35
	計	6,113	5,935	178	2.9	163	91.6	62	20	5	76	11.24	0.33
最 上 C	地域住民	3,099	2,951	148	4.8	136	91.9	85	13	1	38	8.78	0.42
	職域職員	2,234	2,100	134	6.0	122	91.0	81	6	1	35	4.48	0.27
	計	5,333	5,051	282	5.3	258	91.5	166	19	2	73	6.74	0.36
米 沢 C	地域住民	1,296	1,210	86	6.6	76	88.4	52	2		24	2.33	0.15
	職域職員	2,296	2,127	169	7.4	160	94.7	93	5		62	2.96	0.22
	計	3,592	3,337	255	7.1	236	92.5	145	7		86	2.75	0.19
南 陽 C	地域住民	4,771	4,639	132	2.8	121	91.7	62	10		53	7.58	0.21
	職域職員	2,928	2,799	129	4.4	115	89.1	61	9	1	46	6.98	0.31
	計	7,699	7,438	261	3.4	236	90.4	123	19	1	99	7.28	0.25
合 計	地域住民	19,410	18,775	635	3.3	574	90.4	311	45	3	226	7.09	0.23
	職域職員	13,141	12,528	613	4.7	562	91.7	308	33	7	220	5.38	0.25
	計	32,551	31,303	1,248	3.8	1,136	91.0	619	78	10	446	6.25	0.24

※受診者数は令和5年度総数、精検受診者は令和6年10月21日まで把握された数

(2) 令和 5 年度実施状況〔年齢階層化別〕（表－3）

- ・山形検診センターでは精検受診率が 89.3%と低く、特に 65 歳以上と 44 歳以下の年齢層で低い値であった。
- ・最上検診センターにおいて、要精検率が 49 歳以下の年齢層で 8.0%台と高く、またこの年代の精検受診率が低い。「がん確定」19 人のうち 13 人が 65～74 歳であった。
- ・米沢検診センターでは、初回受診率が 26.4%と他センターより高く、また初回受診者の要精検率が 11.3%と高値である。陽性反応適中度は全センターの中で最も低く、初回受診者においては 1.87 と低値であった。
- ・南陽検診センターの「がん確定」において、受診歴1年前からの発見がんが 12 人と多かった。

(表3-1) 令和5年度乳がん検診実施状況（年齢階層別）

区 分	一次検診結果										精 密 検 査 結 果																			
	受 診 者 数 A	異 常 認 め ず	判定区分					初 回 受 診 者 数 E	初 回 受 診 率 E/A	受 診 者 数 F	同 左 率 F/D	発 見 疾 病 (延べ数)										がん発見率 (HHJ)(A-E) G/E		陽性反応 適中度 G/B		JHHJ/C				
			要精検者数									乳がん確認					乳 腺 症	乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	異 常 な し										
			初 回	同 左 率 B/E	受 診 歴 あり C	同 左 率 C/(A-E)	合 計 D					D/A	同 左 率	初 回	受診歴あり						乳 腺 症						乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	異 常 な し	
															1 年 前	2 年 前														3 年 前
40歳未満	897	859	23	5.8%	15	3.0%	38	4.2%	397	44.3%	37	97.4%					4	3	3	27										
40～44歳	3,253	3,047	104	8.2%	102	5.1%	206	6.3%	1,261	38.8%	185	89.8%	1	2				38	43	11	94	0.08	0.10	0.96					1.96	
45～49歳	3,557	3,346	60	8.3%	151	5.3%	211	5.9%	727	20.4%	192	91.0%	2	6	2	1	1	39	37	18	88	0.28	0.32	3.33					5.96	
50～54歳	3,855	3,654	52	7.1%	149	4.8%	201	5.2%	732	19.0%	189	94.0%	1	4	6			28	41	13	99	0.14	0.32	1.92					6.71	
55～59歳	3,543	3,428	40	6.3%	75	2.6%	115	3.2%	630	17.8%	103	89.6%	3	3	3	1	1	21	11	7	57	0.48	0.21	7.50					8.00	
60～64歳	4,555	4,410	52	6.0%	93	2.5%	145	3.2%	866	19.0%	128	88.3%	4	2	2		2	18	21	3	76	0.46	0.11	7.69					4.30	
65～69歳	4,635	4,498	52	7.7%	85	2.1%	137	3.0%	671	14.5%	120	87.6%	6	7	1	1		11	19	7	68	0.89	0.23	11.54					10.59	
70～74歳	5,087	4,953	25	5.2%	109	2.4%	134	2.6%	480	9.4%	126	94.0%	4	7	6	1	1	19	15	5	68	0.83	0.30	16.00					12.84	
75～79歳	2,173	2,132	10	4.6%	31	1.6%	41	1.9%	218	10.0%	36	87.8%						3	2	2	29									
80歳以上	996	976	7	6.7%	13	1.5%	20	2.0%	105	10.5%	20	100.0%	1		1	1		2	2	13	0.95	0.22	14.29					15.38		
合 計	32,551	31,303	425	7.0%	823	3.1%	1,248	3.8%	6,087	18.7%	1,136	91.0%	22	31	21	4	2	181	194	71	619	0.36	0.21	5.18					6.80	
山 形 県	40歳未満	203	194	7	8.0%	2	1.7%	9	4.4%	87	42.9%	8	88.9%					1		1	6									
	40～44歳	824	779	27	7.4%	18	3.9%	45	5.5%	364	44.2%	40	88.9%					9	14	2	18									
	45～49歳	1,012	963	14	7.0%	35	4.3%	49	4.8%	201	19.9%	46	93.9%			2	1	8	6	10	20		0.25						5.71	
	50～54歳	1,061	1,021	13	6.6%	27	3.1%	40	3.8%	198	18.7%	36	90.0%		1			6	12	5	13		0.12							3.70
	55～59歳	1,071	1,049	11	5.6%	11	1.3%	22	2.1%	196	18.3%	21	95.5%	2		1		7		3	10	1.02	0.11	18.18					9.09	
	60～64歳	1,285	1,258	15	6.6%	12	1.1%	27	2.1%	226	17.6%	25	92.6%		1			5	2	2	15		0.09							8.33
	65～69歳	1,549	1,513	16	7.8%	20	1.5%	36	2.3%	206	13.3%	30	83.3%	1				2	4	3	20	0.49		6.25						
	70～74歳	1,624	1,596	5	4.3%	23	1.5%	28	1.7%	117	7.2%	24	85.7%	1	2	1		5	1	2	11	0.85	0.20	20.00					13.04	
	75～79歳	880	867	3	3.4%	10	1.3%	13	1.5%	89	10.1%	10	76.9%					1		1	8									
	80歳以上	305	302	1	3.4%	2	0.7%	3	1.0%	29	9.5%	3	100.0%			1					2		0.36							50.00
合 計	9,814	9,542	112	6.5%	160	2.0%	272	2.8%	1,713	17.5%	243	89.3%	4	4	5		1	1	44	39	29	123	0.23	0.11	3.57					5.63

(表3-2) 令和5年度乳がん検診実施状況（年齢階層別）

	区 分	一次検診結果										精 密 検 査 結 果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		判定区分					初 回 受 診 者 数 E	初 回 受 診 率 E/A	受 診 者 数 F	同 左 率 F/D	乳がん確定					乳がん疑			乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	がん発見率		陽性反応 適中度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		異 常 認 め ず		要精検者数							受診歴あり					乳がん疑					初 回	G			H	I	J	G/E	G/B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				初 回	同 左 率	B					B/E	C	C/(A+E)	D	D/A	1 年 前	2 年 前	3 年 前												1 年 前	2 年 前	3 年 前																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
A	B	B/E	C	C/(A+E)	D	D/A	E	E/A	F	F/D	G	H	I	J	初 回	1 年 前	2 年 前	3 年 前	G/E	G/B	(H+J)/(A+E)	(H+J)/C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
庄 内 C	40歳未満	81	79	1	3.1%	1	2.0%	2	2.5%	32	39.5%	2	100.0%							1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								</

(表3-3) 令和5年度乳がん検診実施状況（年齢階層別）

区 分	一次検診結果										精密検査結果															
	受診者数 A	判定区分				初回受診者数 E	初回受診率 E/A	受診者数 F	同左率 F/D	乳がん確定						乳がん疑			乳 腺 症	乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	がん発見率		陽性反応 適中度		
		異常 認め ず	要精検者数							初回	1 年 前 H	2 年 前 I	3 年 前 J	初回	受診歴あり			G/E				H+J/(A+E)	G/B	PH+J/C		
			初回	同左率 B/E	C										C/(A+E)	合 計 D	同左率 D/A									
40歳未満	203	190	8	7.8%	5	5.0%	13	6.4%	102	50.2%	13	100.0%				2	1	1	9							
40～44歳	479	435	25	12.0%	19	7.0%	44	9.2%	209	43.6%	41	93.2%					9	9	5	19						
45～49歳	466	427	16	15.4%	23	6.4%	39	8.4%	104	22.3%	36	92.3%					12	9		15						
50～54歳	549	492	20	16.8%	37	8.6%	57	10.4%	119	21.7%	55	96.5%	2	1			9	6	3	35		0.70		8.11		
55～59歳	401	374	8	9.3%	19	6.0%	27	6.7%	86	21.4%	22	81.5%		1			2	2	1	16		0.32		5.26		
60～64歳	477	454	12	9.6%	11	3.1%	23	4.8%	125	26.2%	19	82.6%	1				2	3		13	0.80		8.33			
65～69歳	357	344	6	6.8%	7	2.6%	13	3.6%	88	24.6%	11	84.6%	1					4		6	1.14			16.67		
70～74歳	486	456	9	10.0%	21	5.3%	30	6.2%	90	18.5%	30	100.0%	1				2	3	1	23		0.25		4.76		
75～79歳	106	101	2	16.7%	3	3.2%	5	4.7%	12	11.3%	5	100.0%								5						
80歳以上	68	64	1	7.1%	3	5.6%	4	5.9%	14	20.6%	4	100.0%								4						
合 計	3,592	3,337	107	11.3%	148	5.6%	255	7.1%	949	26.4%	236	92.5%	2	3	2		38	37	11	145	0.21	0.19	1.87		3.38	

南 陽 C	40歳未満	285	281	3	2.4%	1	0.6%	4	1.4%	127	44.6%	4	100.0%							4						
	40～44歳	755	706	20	8.0%	29	5.7%	49	6.5%	249	33.0%	44	89.8%	1				9	8	1	26		0.20		3.45	
	45～49歳	824	774	7	5.1%	43	6.3%	50	6.1%	138	16.7%	44	88.0%		3		1		9	8	4	20		0.44	6.98	
	50～54歳	834	794	4	3.0%	36	5.1%	40	4.8%	134	16.1%	38	95.0%	1	1	1			6	10	3	17	0.75	0.29	5.56	
	55～59歳	871	850	9	6.0%	12	1.7%	21	2.4%	150	17.2%	20	95.2%						7	3	1	10				
	60～64歳	1,049	1,024	8	4.8%	17	1.9%	25	2.4%	167	15.9%	22	88.0%	1	1	1			5	6	10	0.60	0.23	12.50	11.76	
	65～69歳	1,229	1,193	8	6.2%	28	2.5%	36	2.9%	130	10.6%	31	86.1%		4	1			7	2	2	15		0.45	17.86	
	70～74歳	1,133	1,111	3	3.8%	19	1.8%	22	1.9%	79	7.0%	20	90.9%		2				2	2		14		0.19	10.53	
	75～79歳	492	483	0	0.0%	9	2.0%	9	1.8%	36	7.3%	8	88.9%						1	1		6				
	80歳以上	227	222	3	13.6%	2	1.0%	5	2.2%	22	9.7%	5	100.0%	1		1				1	1	1	4.55	0.49	33.33	50.00
	合 計	7,699	7,438	65	5.3%	196	3.0%	261	3.4%	1,232	16.0%	236	90.4%	3	12	2	2	1	46	41	12	123	0.24	0.25	4.62	8.16

(3) 令和5年度乳房超音波検査実施状況(表-4)

一部実施主体において、対象は40歳代、マンモグラフィ併用を条件にオプション項目として実施している。

- ・全センターでの受診者数は574人、要精検率は4.5%であった。「がん確診」は1人で、超音波のみで異常が認められた。

(表-4) 令和5年度 乳房超音波検査実施状況

センター	区 分	乳がん検診受診者数	一次検診									精密検査結果												
			U S 受診者数	U S 受診率	判定区分						要精検率	精検受診者数	同左率	発見疾患(延べ数)										
					異常なし	精検不要	根拠別 要精検者数			乳がん疑い				乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他	異常なし							
							U S のみ	マンモ＋U S	U S 要精検者の合計									根拠別 乳がん確診者数						
		A	B	B/A						C	C/B	D	D/C			U S のみ	マンモ＋U S	乳がん確診者合計						
山形 C	40～44歳	824	122	14.8%	67	51	3	1	4	3.3%	3	75.0%							1	1				1
	45～49歳	1,012	145	14.3%	83	59	3		3	2.1%	3	100.0%	1		1			1	1					
	計	1,836	267	14.5%	150	110	6	1	7	2.6%	6	85.7%	1		1			2	2				1	
庄内 C	40～44歳	696	35	5.0%	26	7	2		2	5.7%	2	100.0%								1				1
	45～49歳	690	36	5.2%	28	8				0.0%														
	計	1,386	71	5.1%	54	15	2		2	2.8%	2	100.0%								1				1
最上 C	40～44歳	499	76	15.2%	55	15	4	2	6	7.9%	6	100.0%								4				2
	45～49歳	565	96	17.0%	63	28	5		5	5.2%	3	60.0%						1	2					
	計	1,064	172	16.2%	118	43	9	2	11	6.4%	9	81.8%							1	6				2
米沢 C	40～44歳	479	13	2.7%	5	7	1		1	7.7%	1	100.0%								1				
	45～49歳	466	8	1.7%	4	3	1		1	12.5%	1	100.0%												1
	計	945	21	2.2%	9	10	2		2	9.5%	2	100.0%								1				1
南陽 C	40～44歳	755	21	2.8%	13	6	2		2	9.5%	2	100.0%												2
	45～49歳	824	22	2.7%	12	8	2		2	9.1%	1	50.0%						1						
	計	1,579	43	2.7%	25	14	4		4	9.3%	3	75.0%							1					2
合計	40～44歳	3,253	267	8.2%	166	86	12	3	15	5.6%	14	93.3%							1	7				6
	45～49歳	3,557	307	8.6%	190	106	11		11	3.6%	8	72.7%	1		1			3	3					1
	計	6,810	574	8.4%	356	192	23	3	26	4.5%	22	84.6%	1		1			4	10					7

※精検受診者は令和6年10月18日まで把握された数

3.今後の課題及び検討事項

- ・精度向上のため、マンモグラフィ読影体制について検討する。
- ・総合判定に向けた体制づくりを検討していく。

(5)循環器等健診・人間ドック委員会

1.各種検診実施状況

(1)人間ドック及び特定健康診査実績推移 (表1)

受診者数の推移は、令和3年度から令和5年度にかけて人間ドック・特定健康診査ともに減少した。また、集計対象受診者数(人間ドック・特定健康診査受診者の40歳から74歳の特定健診対象者を再掲した数)も約6,500人の減少であった。

(人)

表1

														集計対象受診者数		
		令和3年度				令和4年度				令和5年度				R3年度	R4年度	R5年度
		人間ドック			特定健康 診査	人間ドック			特定健康 診査	人間ドック			特定健康 診査	人間ドックおよび特定健康診査		
		地域住民	職域職員	計		地域住民	職域職員	計		地域住民	職域職員	計		40～74歳		
全検診センター	男性	12,172	2,889	15,061	23,526	12,229	2,727	14,956	23,224	12,543	2,582	15,125	23,135	27,617	25,915	24,826
	女性	16,337	2,365	18,702	30,276	16,294	2,154	18,448	29,614	15,992	2,084	18,076	29,357	37,099	34,835	33,409
	合計	28,509	5,254	33,763	53,802	28,523	4,881	33,404	52,838	28,535	4,666	33,201	52,492	64,716	60,750	58,235

* 特定健康診査合計: 特定健康診査を実際に実施した数

(2)検査項目別・判定別成績(図1)

男女ともに、血圧、脂質で異常なしと服薬治療の割合が増加し、要指導・要精検・要治療の割合が減少傾向にあった。HbA1cについて、男女とも異常なし割合が減少傾向にあった。

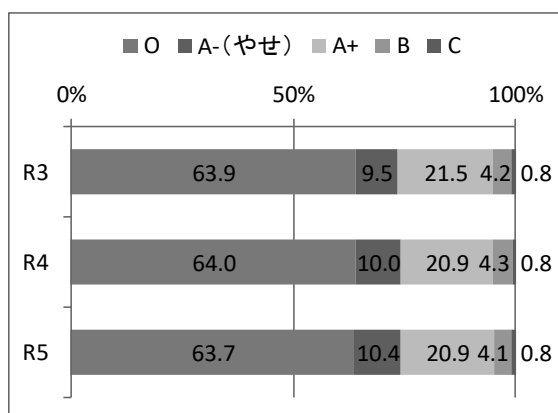
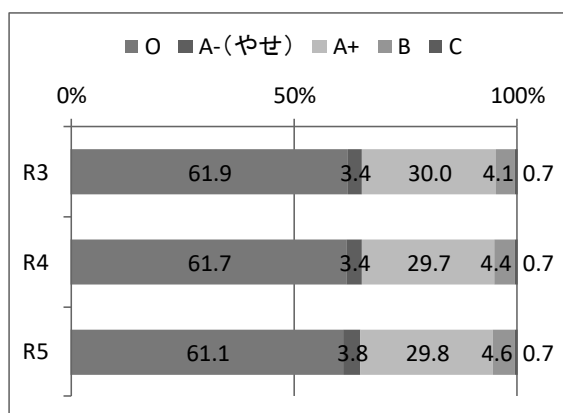
(判定区分: O 異常なし A 要観察 B 要指導 C 精密検査 D1 治療 D2 治療中)

図1

<BMI>

男性

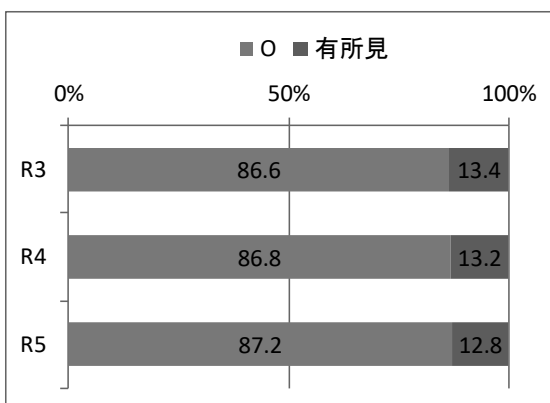
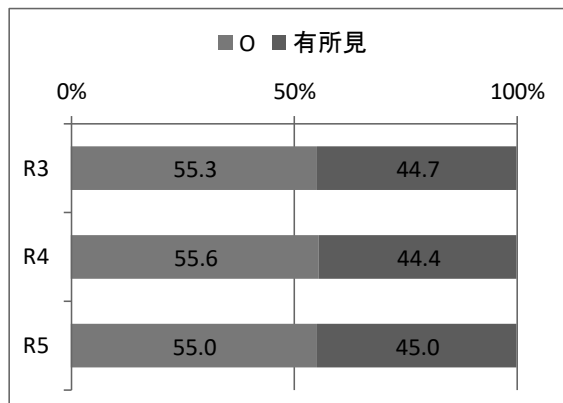
女性



<腹囲>

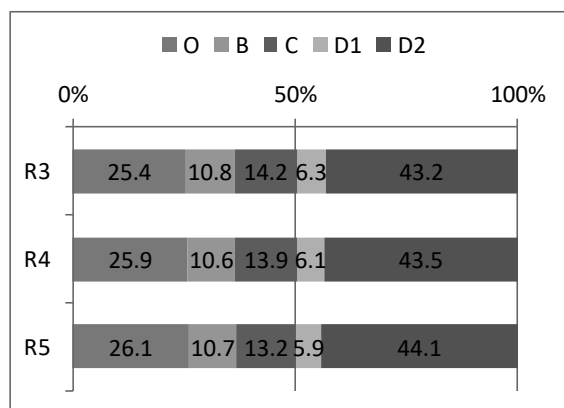
男性

女性

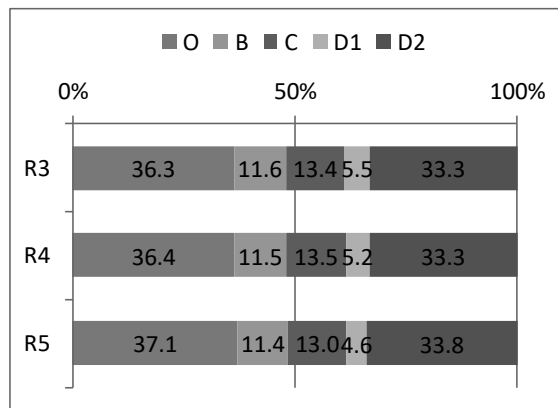


<血圧>

男性

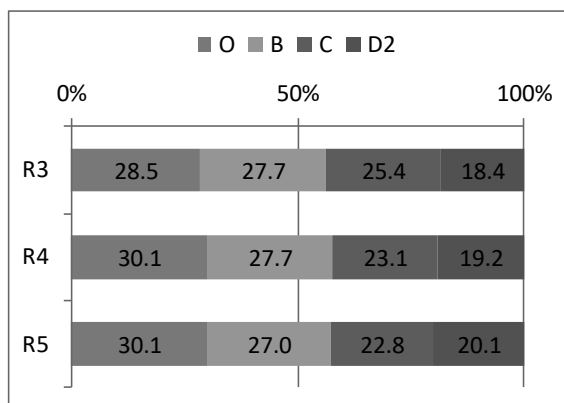


女性

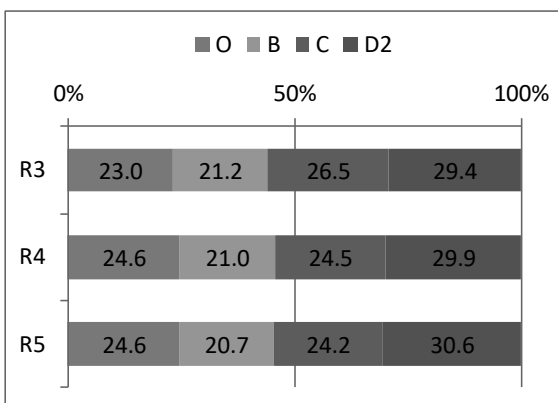


<脂質>

男性



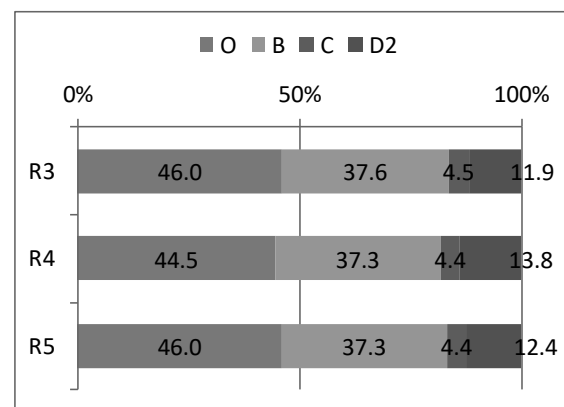
女性



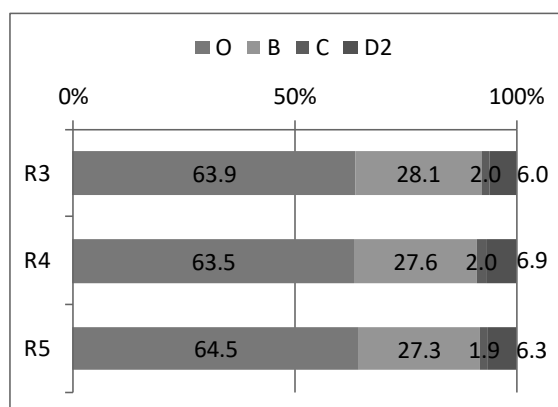
<血糖>

男性

※随時血糖を除く

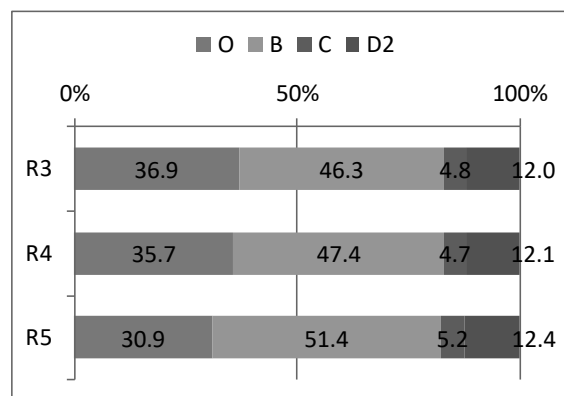


女性

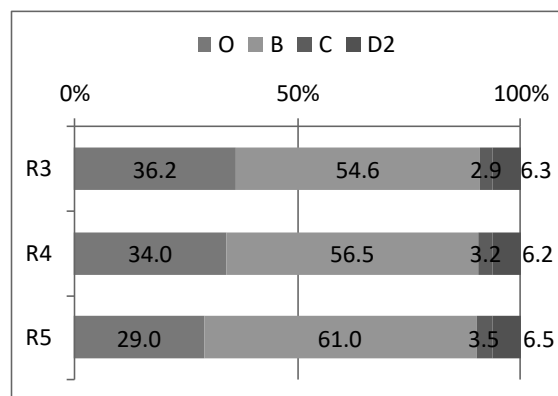


<HbA1c>

男性



女性



2. 特定健康診査・特定保健指導実施状況及び評価

(1) 令和4年度特定保健指導実施状況(表1、図2～5)

特定保健指導実施率は38.3%(特定保健指導対象者のうち特定保健指導終了者)であり、国(26.5%)、よりも高い結果となった。

表1 第3期実施計画と推進機構の成績

	特定保健指導実施率				
	H30	R1	R2	R3	R4
第3期(30年度～)実施目標(国)	45.0%				
参考)実施成績(国)	23.2%	23.2%	22.7%	24.6%	26.5%
参考)実施成績(県)	31.4%	31.0%	29.9%	30.4%	43.2%※
機構成績	21.9%	23.3%	33.3%	33.9%	38.3%

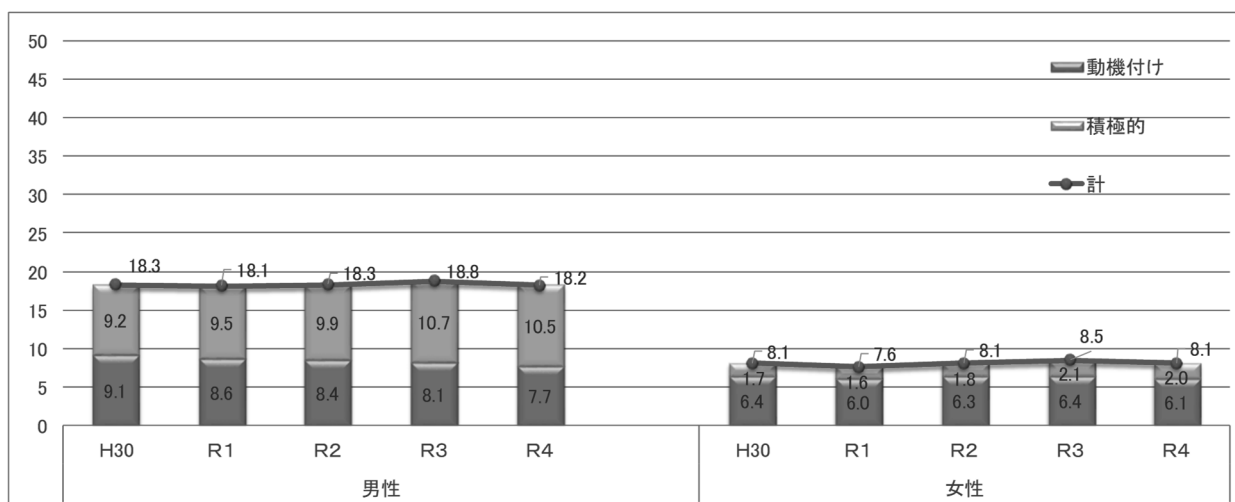
引用・山形県生活習慣病検診等管理指導協議会 循環器疾患等部会資料一覧

※全国健康保険協会を除く

特定健康診査・特定保健指導実施状況について【概要】-厚生労働省-

図2 特定保健指導該当率(%)

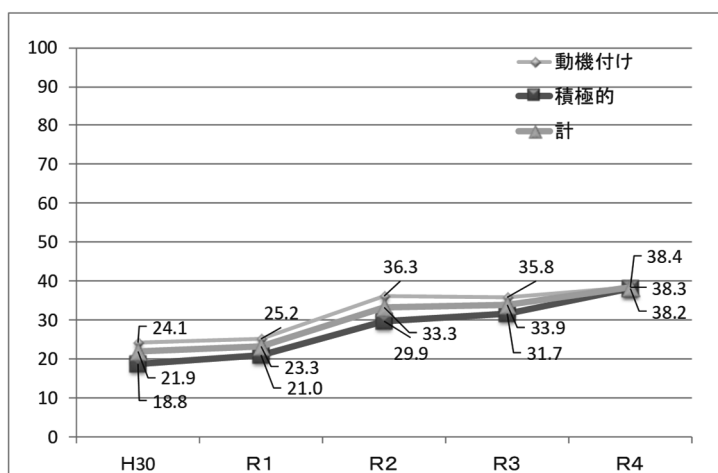
指導該当者数 / 特定健診受診者数



特定保健指導該当率は、男女ともに平成30年度から令和4年度にかけて横ばいの状況であった。

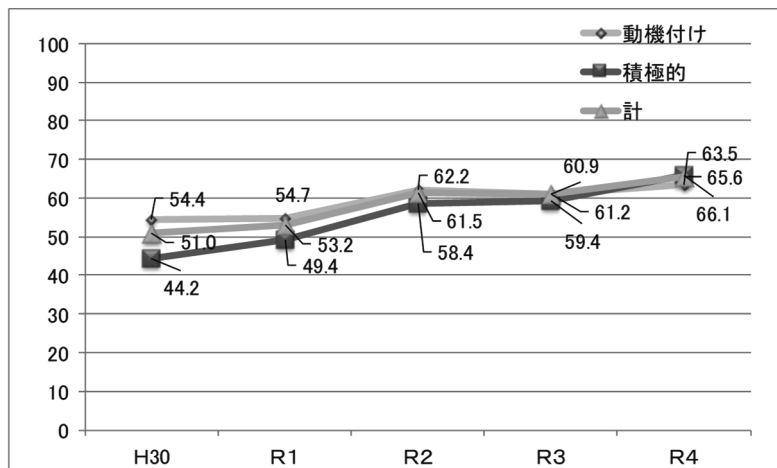
図3 特定保健指導実施率(%)

機構指導終了者数 / 機構指導対象者数



特定保健指導実施率は、平成 30 年度から令和 4 年度にかけて一時減少もあったが全体的に増加傾向にあり、動機付け支援 14.3 ポイント、積極的支援 19.4 ポイント、全体計は 16.4 ポイント増加した。令和 3 年度から令和 4 年度にかけては動機付け支援 2.6 ポイント、積極的支援 6.5 ポイント、全体で 4.4 ポイント増となった。

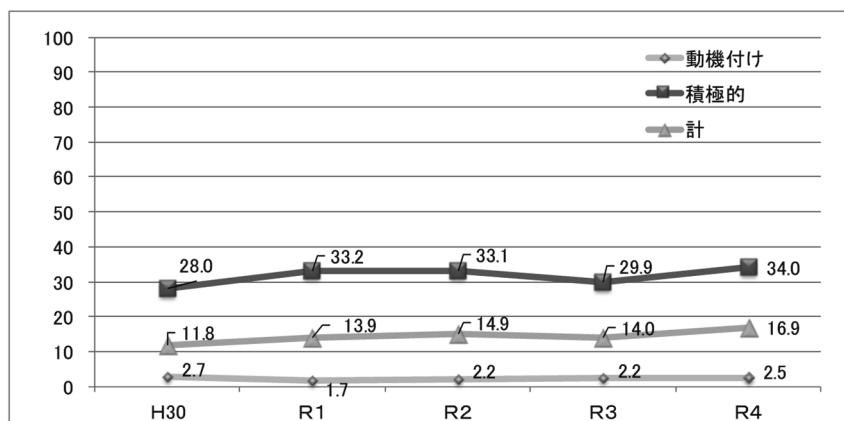
図4 特定保健指導利用率(%) 機構指導利用者数 / 機構受託指導対象者数



※受託実施した動機付け支援相当は、動機付け支援に含める

特定保健指導利用率は、平成 30 年度から令和 4 年度にかけて増加傾向にあり、動機付け支援 9.1 ポイント、積極的支援 21.9 ポイント、全体計は 14.6 ポイント増加した。

図5 特定保健指導中断率(%) 機構指導中断者数 / 機構指導利用者数



動機付け支援は資格喪失による中断が主な理由であり、低く推移している。積極的支援は、動機付け支援より割合が高くなっており、積極的支援の中断率は、R 2 年度から 3 年度にかけて 3.2 ポイント減少したが、R3 年度から R4 年度にかけ 4.1 ポイント増加した。

(2) 令和4年度特定保健指導実施者 結果状況(表2、図6)

評価状況: 動機付け支援 2,147人 *受託実施した動機付け支援相当は、動機付け支援を含む

積極的支援 1,431人

表2 腹囲・体重の評価

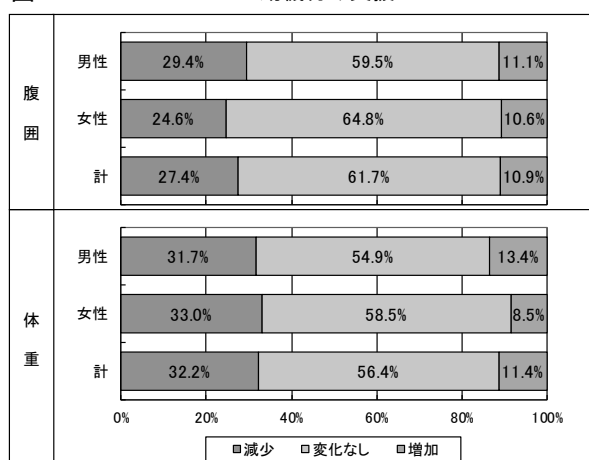
		動機付け支援 (平均値)			積極的支援 (平均値)		
		初回	最終	差±SD	初回	最終	差±SD
腹囲 (cm)	男性	89.6	89.1	-0.5 ±2.2	92.7	92.2	-0.5 ±3.3
	女性	88.3	87.9	-0.4 ±2.2	95.0	94.5	-0.4 ±3.7
体重 (kg)	男性	75.3	74.8	-0.6 ±2.6	81.4	80.5	-1.0 ±2.6
	女性	66.4	65.7	-0.6 ±1.5	75.0	74.0	-1.0 ±2.0

※ 減少は腹囲・体重-1.0(cm・kg)以下、変化なしは±0.9(cm・kg)以下、増加は+1.0(cm・kg)以上

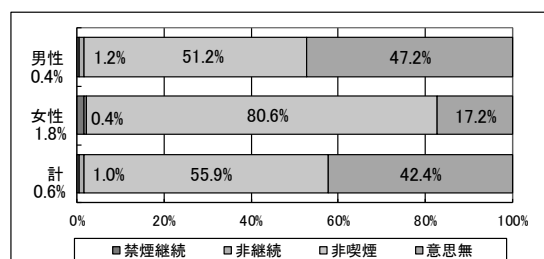
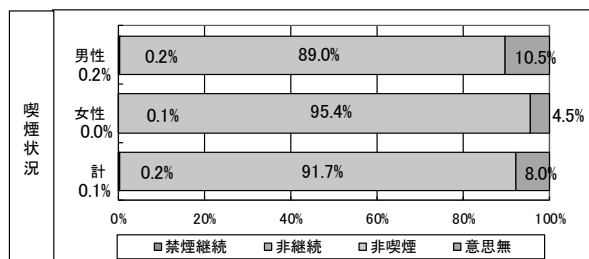
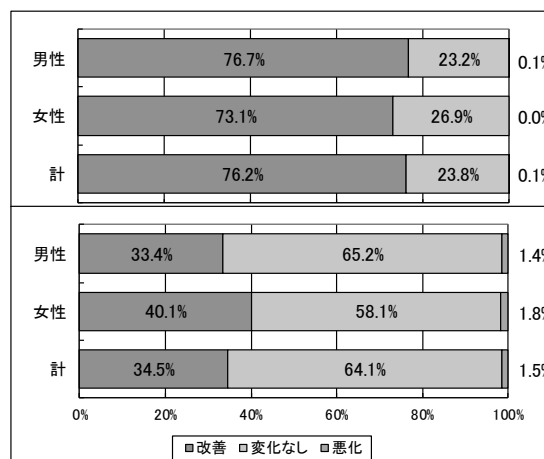
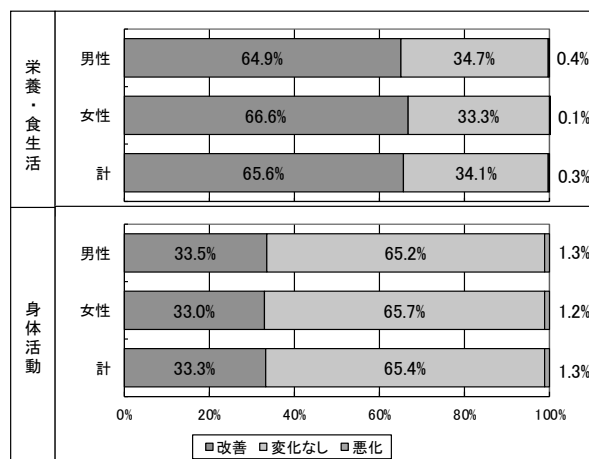
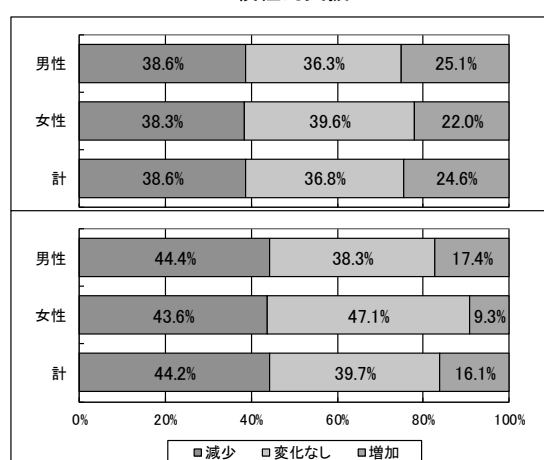
令和4年度に特定保健指導を利用し、最終評価を実施した人の状況について、動機付け支援より積極的支援の方が体重や腹囲の減少、栄養・食生活面に改善傾向がみられた。

図6

動機付け支援



積極的支援



※ 禁煙継続 : 最終評価まで禁煙を継続した者
 非継続 : 禁煙を継続できなかった者
 非喫煙 : 喫煙していない者
 意志無 : 禁煙の意志を示さず、喫煙を続けている者

(6)超音波検査委員会

1.評価項目と成績

令和5年度の受診者数は地域住民 15,994 人、職域職員 14,348 人の合計 30,342 人であった。令和4年度より受診者数が829人減少した。要精検者は1,802人、要精検率は5.9%、がん発見率は0.04%、陽性反応的中度は0.72%であった。(表1)

—評価項目と成績—(表1)

全検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	34,150	32,781	32,949	31,171	30,342	19,981	18,576	18,461	17,062	15,994	14,169	14,205	14,488	14,109	14,348
要精検者数(人)	1,750	1,604	1,780	1,858	1,802	1,114	953	1,047	1,073	1,030	636	651	733	785	772
精検受診者数(人)	1,393	1,306	1,433	1,482	1,445	918	792	849	884	843	475	514	584	598	602
がん発見数(人)	13	19	13	13	13	13	13	9	5	8	0	6	4	8	5
要精検率(%)	5.1	4.9	5.4	6.0	5.9	5.6	5.1	5.7	6.3	6.4	4.5	4.6	5.1	5.6	5.4
精検受診率(%)	79.6	81.4	80.5	79.8	80.2	82.4	83.1	81.1	82.4	81.8	74.7	79.0	79.7	76.2	78.0
がん発見率(%)	0.04	0.06	0.04	0.04	0.04	0.07	0.07	0.05	0.03	0.05	0.00	0.04	0.03	0.06	0.03
陽性反応適中度(%)	0.74	1.18	0.73	0.70	0.72	1.17	1.36	0.86	0.47	0.78	0.00	0.92	0.55	1.02	0.65

山形検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	11,451	10,826	10,823	10,324	10,219	7,278	6,716	6,730	6,400	6,213	4,173	4,110	4,093	3,924	4,006
要精検者数(人)	522	534	567	675	540	369	363	379	480	375	153	171	188	195	165
精検受診者数(人)	428	454	476	570	457	308	313	320	416	319	120	141	156	154	138
がん発見数(人)	6	7	5	5	3	6	5	4	2	3	0	2	1	3	0
要精検率(%)	4.6	4.9	5.2	6.5	5.3	5.1	5.4	5.6	7.5	6.0	3.7	4.2	4.6	5.0	4.1
精検受診率(%)	82.0	85.0	84.0	84.4	84.6	83.5	86.2	84.4	86.7	85.1	78.4	82.5	83.0	79.0	83.6
がん発見率(%)	0.05	0.06	0.05	0.05	0.03	0.08	0.07	0.06	0.03	0.05	0.00	0.05	0.02	0.08	0.00
陽性反応適中度(%)	1.15	1.31	0.88	0.74	0.56	1.63	1.38	1.06	0.42	0.80	0.00	1.17	0.53	1.54	0.00

庄内検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	7,309	6,681	6,617	6,315	6,189	4,292	3,596	3,462	3,083	2,977	3,017	3,085	3,155	3,232	3,212
要精検者数(人)	246	232	285	295	333	164	141	147	142	169	82	91	138	153	164
精検受診者数(人)	193	186	231	230	265	128	122	114	111	142	65	64	117	119	123
がん発見数(人)	1	5	4	1	4	1	3	2	0	1	0	2	2	1	3
要精検率(%)	3.4	3.5	4.3	4.7	5.4	3.8	3.9	4.2	4.6	5.7	2.7	2.9	4.4	4.7	5.1
精検受診率(%)	78.5	80.2	81.1	78.0	79.6	78.0	86.5	77.6	78.2	84.0	79.3	70.3	84.8	77.8	75.0
がん発見率(%)	0.01	0.07	0.06	0.02	0.06	0.02	0.08	0.06	0.00	0.03	0.00	0.06	0.06	0.03	0.09
陽性反応適中度(%)	0.41	2.16	1.40	0.34	1.20	0.61	2.13	1.36	0.00	0.59	0.00	2.20	1.45	0.65	1.83

最上検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	6,083	6,087	6,089	6,152	5,960	4,053	4,049	3,962	4,021	3,765	2,030	2,038	2,127	2,131	2,195
要精検者数(人)	271	296	343	354	364	180	198	235	240	235	91	98	108	114	129
精検受診者数(人)	210	242	267	287	294	145	157	182	195	186	65	85	85	92	108
がん発見数(人)	3	1	0	6	4	3	0	0	2	3	0	1	0	4	1
要精検率(%)	4.5	4.9	5.6	5.8	6.1	4.4	4.9	5.9	6.0	6.2	4.5	4.8	5.1	5.3	5.9
精検受診率(%)	77.5	81.8	77.8	81.1	80.8	80.6	79.3	77.4	81.3	79.1	71.4	86.7	78.7	80.7	83.7
がん発見率(%)	0.05	0.02	0.00	0.10	0.07	0.07	0.00	0.00	0.05	0.08	0.00	0.05	0.00	0.19	0.05
陽性反応適中度(%)	1.11	0.34	0.00	1.69	1.10	1.67	0.00	0.00	0.83	1.28	0.00	1.02	0.00	3.51	0.78

米沢検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	3,759	3,803	3,996	3,862	3,858	1,210	1,145	1,239	1,135	1,212	2,549	2,658	2,757	2,727	2,646
要精検者数(人)	254	222	254	248	270	111	70	96	75	107	143	152	158	173	163
精検受診者数(人)	204	175	203	184	198	101	56	82	63	86	103	119	121	121	112
がん発見数(人)	1	3	3	1	2	1	2	2	1	1	0	1	1	0	1
要精検率(%)	6.8	5.8	6.4	6.4	7.0	9.2	6.1	7.7	6.6	8.8	5.6	5.7	5.7	6.3	6.2
精検受診率(%)	80.3	78.8	79.9	74.2	73.3	91.0	80.0	85.4	84.0	80.4	72.0	78.3	76.6	69.9	68.7
がん発見率(%)	0.03	0.08	0.08	0.03	0.05	0.08	0.17	0.16	0.09	0.08	0.00	0.04	0.04	0.00	0.04
陽性反応適中度(%)	0.39	1.35	1.18	0.40	0.74	0.90	2.86	2.08	1.33	0.93	0.00	0.66	0.63	0.00	0.61

南陽検診センター 合 計						地域住民					職域職員				
評価項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
受診者数(人)	5,548	5,384	5,424	4,518	4,116	3,148	3,070	3,068	2,423	1,827	2,400	2,314	2,356	2,095	2,289
要精検者数(人)	457	320	331	286	295	290	181	190	136	144	167	139	141	150	151
精検受診者数(人)	358	249	256	211	231	236	144	151	99	110	122	105	105	112	121
がん発見数(人)	2	3	1	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
要精検率(%)	8.2	5.9	6.1	6.3	7.2	9.2	5.9	6.2	5.6	7.9	7.0	6.0	6.0	7.2	6.6
精検受診率(%)	78.3	77.8	77.3	73.8	78.3	81.4	79.6	79.5	72.8	76.4	73.1	75.5	74.5	74.7	80.1
がん発見率(%)	0.04	0.06	0.02	0.00	0.00	0.06	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
陽性反応適中度(%)	0.44	0.94	0.30	0.00	0.00	0.69	1.66	0.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2.腹部超音波検査結果

受診者数 30,342 人、異常なし 6,995 人(23.1%)、有所見者数 23,347 人(76.9%)であった。有所見率は令和 4 年度より 1.9 ポイント増加した。臓器別有所見率は、各センターで若干の間差を認めるが、受診者構成(性別・年齢)による影響があるため特に問題はないと考えている。(表 2)

ー腹部超音波検査結果ー(表 2)

	合 計		山形C		庄内C		最上C		米沢C		南陽C	
A受診者数	30,342	—	10,219	34%	6,189	20%	5,960	20%	3,858	13%	4,116	14%
B異常なし	6,995	23.1%	1,863	18.2%	1,608	26.0%	1,725	28.9%	880	22.8%	919	22.3%
C有所見者数	23,347	76.9%	8,356	81.8%	4,581	74.0%	4,235	71.1%	2,978	77.2%	3,197	77.7%
異常なし	112	0.4%	35	0.3%	47	0.8%	17	0.3%	6	0.2%	7	0.2%
要観察	20,431	67.3%	7,518	73.6%	3,887	62.8%	3,850	64.6%	2,476	64.2%	2,700	65.6%
要再検	997	3.3%	259	2.5%	314	5.1%	4	0.1%	225	5.8%	195	4.7%
要精検	1,802	5.9%	540	5.3%	333	5.4%	364	6.1%	270	7.0%	295	7.2%
要医療	5	0.0%	4	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
肝 臓	19,174	63.2%	7,163	70.1%	3,627	58.6%	3,174	53.3%	2,502	64.9%	2,708	65.8%
肝腫瘍性病変	865	2.9%	327	3.2%	96	1.6%	180	3.0%	117	3.0%	145	3.5%
肝血管腫	1,004	3.3%	343	3.4%	209	3.4%	131	2.2%	173	4.5%	148	3.6%
肝嚢胞	8,344	27.5%	3,095	30.3%	1,606	25.9%	1,431	24.0%	1,062	27.5%	1,150	27.9%
肝石灰化	949	3.1%	310	3.0%	177	2.9%	157	2.6%	123	3.2%	182	4.4%
肝硬変	3	0.0%	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1	0.0%
慢性肝炎	2	0.0%	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
脂肪肝	7,914	26.1%	3,039	29.7%	1,521	24.6%	1,272	21.3%	1,010	26.2%	1,072	26.0%
肝内胆管拡張	38	0.1%	20	0.2%	8	0.1%	1	0.0%	6	0.2%	3	0.1%
肝内結石		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
肝その他	55	0.2%	25	0.2%	10	0.2%	2	0.0%	11	0.3%	7	0.2%
胆 道 系	8,969	29.6%	3,472	34.0%	1,625	26.3%	1,459	24.5%	1,201	31.1%	1,212	29.4%
胆嚢腫瘍性病変	13	0.0%	1	0.0%	3	0.0%	4	0.1%	2	0.1%	3	0.1%
胆嚢ポリープ	4,739	15.6%	1,883	18.4%	778	12.6%	659	11.1%	727	18.8%	692	16.8%
胆嚢炎		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
胆嚢腺筋症	2	0.0%		0.0%	1	0.0%		0.0%		0.0%	1	0.0%
胆嚢壁肥厚	811	2.7%	412	4.0%	76	1.2%	113	1.9%	105	2.7%	105	2.6%
胆泥	35	0.1%	19	0.2%	6	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	8	0.2%
胆嚢結石	1,796	5.9%	569	5.6%	357	5.8%	452	7.6%	204	5.3%	214	5.2%
総胆管結石		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
総胆管拡張	395	1.3%	183	1.8%	51	0.8%	54	0.9%	51	1.3%	56	1.4%
胆道その他	1,178	3.9%	405	4.0%	353	5.7%	176	3.0%	111	2.9%	133	3.2%
脾 臓	735	2.4%	258	2.5%	226	3.7%	60	1.0%	73	1.9%	118	2.9%
脾腫瘍性病変	59	0.2%	22	0.2%	10	0.2%	12	0.2%	4	0.1%	11	0.3%
脾嚢胞	72	0.2%	35	0.3%	14	0.2%	12	0.2%	8	0.2%	3	0.1%
脾腫	139	0.5%	42	0.4%	27	0.4%	2	0.0%	38	1.0%	30	0.7%
脾その他	465	1.5%	159	1.6%	175	2.8%	34	0.6%	23	0.6%	74	1.8%
腎 臓	15,106	49.8%	5,903	57.8%	2,503	40.4%	2,563	43.0%	2,028	52.6%	2,109	51.2%
腎腫瘍性病変	374	1.2%	135	1.3%	37	0.6%	92	1.5%	69	1.8%	41	1.0%
腎嚢胞	10,791	35.6%	4,443	43.5%	1,754	28.3%	1,895	31.8%	1,243	32.2%	1,456	35.4%
腎結石	3,593	11.8%	1,254	12.3%	621	10.0%	515	8.6%	647	16.8%	556	13.5%
水腎症		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
腎盂拡張	238	0.8%	48	0.5%	52	0.8%	38	0.6%	58	1.5%	42	1.0%
腎腫大	6	0.0%	1	0.0%	2	0.0%	2	0.0%		0.0%	1	0.0%
腎萎縮	28	0.1%	12	0.1%	5	0.1%	7	0.1%	3	0.1%	1	0.0%
腎その他	76	0.3%	10	0.1%	32	0.5%	14	0.2%	8	0.2%	12	0.3%
膵 臓	814	2.7%	416	4.1%	110	1.8%	128	2.1%	69	1.8%	91	2.2%
膵腫瘍性病変	157	0.5%	77	0.8%	14	0.2%	32	0.5%	24	0.6%	10	0.2%
膵嚢胞	391	1.3%	199	1.9%	60	1.0%	71	1.2%	21	0.5%	40	1.0%
主膵管拡張	222	0.7%	122	1.2%	23	0.4%	24	0.4%	21	0.5%	32	0.8%
膵その他	44	0.1%	18	0.2%	13	0.2%	1	0.0%	3	0.1%	9	0.2%
そ の 他	213	0.7%	87	0.9%	44	0.7%	36	0.6%	17	0.4%	29	0.7%

*一人に対し重複した所見はそれぞれを集計

3. カテゴリー分類集計

術者の総合カテゴリー分類から見た医師の判定結果を比較した。カテゴリー【1】と分類した 99.1%が「異常なし」、カテゴリー【2】、【3'】及び【4'】は「要観察」、カテゴリー【3】及び【4】は「要精査」が最も率が高く、カテゴリー【5】としたものはすべて「要精査」となり、疑いも含めがんが発見された。総合カテゴリー【3】で「要観察」「要再検」と判定となった所見には胆嚢ポリープ(5mm以上10mm未満)や腫瘍径の小さな充実性病変などが該当していた。(表3上)

全く描出できずカテゴリー【0】と評価したものは、膵臓が最も多く、次いで脾臓で令和4年度とほとんど差はなかった。(表3下)

ーカテゴリー分類集計ー(表3 上・下)

		受診者数	%	判 定 結 果									
				O:異常なし		A:要観察		B:要再検		C:要精査		D:要医療	
				件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
総合 カテ ゴリ 分 類	【0】	10	0.0%	3	30.0%	6	60.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%
	【1】	7,125	23.5%	7,063	99.1%	60	0.8%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	【2】	18,264	60.2%	41	0.2%	17,741	97.1%	364	2.0%	116	0.6%	2	0.0%
	【3'】	1,568	5.2%	0	0.0%	1,337	85.3%	157	10.0%	72	4.6%	2	0.1%
	【3】	2,613	8.6%	0	0.0%	896	34.3%	436	16.7%	1,280	49.0%	1	0.0%
	【4'】	424	1.4%	0	0.0%	364	85.8%	30	7.1%	30	7.1%	0	0.0%
	【4】	336	1.1%	0	0.0%	27	8.0%	8	2.4%	301	89.6%	0	0.0%
	【5】	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
合 計		30,342	100.0%	7,107	23.4%	20,431	67.3%	997	3.3%	1,802	5.9%	5	0.0%

カテゴリー分類	肝臓		胆嚢・胆道		膵臓		脾臓		腎臓	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
【0】	1	0.0%	27	0.1%	602	2.0%	403	1.3%	4	0.0%
【1】	14,107	46.5%	23,026	75.9%	28,948	95.4%	29,223	96.3%	19,909	65.6%
【2】	14,316	47.2%	5,134	16.9%	118	0.4%	644	2.1%	9,996	32.9%
【3'】	607	2.0%	607	2.0%	308	1.0%	29	0.1%	181	0.6%
【3】	660	2.2%	1,496	4.9%	318	1.0%	35	0.1%	243	0.8%
【4'】	397	1.3%	15	0.0%	15	0.0%	3	0.0%	2	0.0%
【4】	253	0.8%	37	0.1%	32	0.1%	5	0.0%	7	0.0%
【5】	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	30,342	100.0%	30,342	100.0%	30,342	100.0%	30,342	100.0%	30,342	100.0%

4. 精度管理について

受診者数 30,342 人、精検指示者数 1,802 人(5.9%)、精検受診者数 1,445 人(80%)、異常ありと回報された受診者数 1,159 人(80%)であった。がん発見数は疑いも含み、肝臓 4 件、転移性肝腫瘍 2 件、胆嚢癌 3 件、総胆管癌 1 件、膵癌 4 件、腎癌 7 件、その他の悪性疾患 2 件の計 23 件であった。(表4)

—精密検査結果(回報書集計結果)—(表 4)

受診者数【30,342人】		合計	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C
A精検指示者数		1,802	540	333	364	270	295
		5.9%	5.3%	5.4%	6.1%	7.0%	7.2%
B精検受診者数		1,445	457	265	294	198	231
		80%	85%	80%	81%	73%	78%
C異常なし		286	95	61	55	33	42
D異常あり		1,159	362	204	239	165	189
		80%	79%	77%	81%	83%	82%
肝臓	肝癌	3	1	1	1		
	肝癌(疑)	1		1			
	肝内胆管癌	0					
	転移性肝腫瘍	1			1		
	転移性肝腫瘍(疑)	1	1				
	肝腫瘍性病変	11	1	2	4	1	3
	肝血管腫	296	65	71	49	45	66
	肝嚢胞	128	46	17	30	13	22
	肝石灰化	7	3	2		1	1
	肝硬変	2		1			1
	慢性肝炎	0					
	脂肪肝	81	21	7	27	8	18
	肝内胆管拡張	0					
	肝内結石	2		1			1
	肝その他	29	13	3	5	3	5
胆嚢・胆道	胆嚢癌	0					
	胆嚢癌(疑)	3		2	1		
	胆嚢腫瘍性病変	1		1			
	胆嚢ポリープ	82	21	22	12	9	18
	胆嚢炎	18	6	1	2	6	3
	胆嚢腺筋症	148	55	16	23	30	24
	胆嚢壁肥厚	14	4	4	3		3
	胆嚢結石	104	26	15	14	22	27
	総胆管癌	1	1				
	総胆管結石	4	2		2		
	総胆管拡張	38	20	2	2	12	2
	胆道その他	38	17	3	2	13	3
膵臓	膵癌	2	1	1			
	膵癌(疑)	2	1	1			
	膵腫瘍性病変	70	27	15	11	7	10
	膵嚢胞	72	35	11	14	7	5
	膵その他	41	18	5	8	3	7
脾臓	脾腫瘍性病変	4			2		2
	脾嚢胞	3	3				
	脾腫	2				1	1
	脾その他	9	3		2	3	1
腎臓	腎癌 計	7		1	4	2	
	(右腎癌)	0					
	(左腎癌)	3		1	1	1	
	(左右不明腎癌)	2			1	1	
	腎癌(疑)	2			2		
	腎血管筋脂肪腫	29	6	2	11	6	4
	腎腫瘍性病変	5		1	3		1
	腎嚢胞	103	34	18	23	11	17
	腎結石	21	5	4	6	2	4
	水腎症	9	3	4	1	1	
	腎盂拡張	5		1	1		3
	腎その他	16	3	3	2	4	4
その他	副腎腫瘍	12	1	3	3	2	3
	腹部大動脈瘤	4	2		1	1	
	その他の悪性疾患	2		1			1
	その他	51	21	7	8	7	8

※一人に対し重複した診断はそれぞれを集計し、「その他の悪性疾患」には疑いも含まれています。

5.がん発見年次推移

令和5年度のがん発見数は確定診13件、がん発見率0.04%、適中度は0.72%であった。がん疑いも含めると発見数23件(0.08%)、適中度1.28%であった。発見がんの部位別累計では、腎癌110件、次いで転移性肝腫瘍51件、肝癌46件、膵臓癌38件であった。受診履歴では逐年受診56.3%、次いで初回受診25.4%であった。(表5)

—がん発見年次推移—(表5)

		H3～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	累計	部位別 発見率	受診履歴		
										初回	逐年	再受診
悪性確定診断	肝癌	31	3	2	3	4	3	46	0.006%	16	19	11
	肝内胆管癌	5						5	0.001%		4	1
	転移性肝腫瘍	43	4		2	1	1	51	0.007%	9	33	9
	胆嚢癌	24		3	1	1		29	0.004%	10	16	3
	総胆管癌	7		2			1	10	0.001%	1	7	2
	腎癌	86	3	8	4	4	5	110	0.014%	38	52	20
	膵臓癌	32	1	1		2	2	38	0.005%	4	29	5
	転移性膵癌	2						2	0.000%		1	1
	尿管癌	4						4	0.001%		4	
	副腎癌	1						1	0.000%		1	
	胃癌	7	1		1			9	0.001%	1	6	2
	大腸癌	2						2	0.000%		1	1
	膀胱癌	2		1		1		4	0.001%		3	1
	前立腺癌	1						1	0.000%		1	
	卵巣癌	1					1	2	0.000%		1	1
	卵管癌	1						1	0.000%			1
	悪性リンパ腫	5	1	1				7	0.001%	1	6	
	直腸癌の骨転移	1						1	0.000%	1		
	十二指腸乳頭部癌	3						3	0.000%		1	2
	後腹膜腫瘍	1		1				2	0.000%	1	1	
	前骨髄球形白血病	1						1	0.000%	1		
	胃切除リンパ節転移	1						1	0.000%		1	
	胃GIST	1						1	0.000%	1		
	中皮腫	1						1	0.000%			1
	結腸癌術後多発転移				1			1	0.000%		1	
	癌性腹膜炎				1			1	0.000%	1		
	計	263	13	19	13	13	13	334	0.043%	85	188	61
	発見率	0.04%	0.04%	0.06%	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	—	25.4%	56.3%	18.3%
	適中度	—	0.74%	1.18%	0.73%	0.70%	0.72%	—	—	—	—	—
悪性疑	肝癌(疑)	7	1	1	3	2	1	15	0.002%	2	9	4
	転移性肝腫瘍(疑)	2		1		2	1	6	0.001%	1	3	2
	胆嚢癌(疑)	5	1				3	9	0.001%	4	3	2
	総胆管癌(疑)	5		1	1			7	0.001%	2	4	1
	腎癌(疑)	8	6		4	1	2	21	0.003%	4	14	3
	尿管癌(疑)	1				2		3	0.000%	1	2	
	膵臓癌(疑)	8	2	1	2	1	2	16	0.002%	4	10	2
	十二指腸GIST(疑)	1						1	0.000%		1	
	悪性リンパ腫(疑)	2	1		1			4	0.001%		2	2
	十二指腸乳頭部(疑)	1						1	0.000%		1	
	胃癌(疑)	1						1	0.000%		1	
	後腹膜腫瘍(疑)				1			1	0.000%			1
	卵巣癌(疑)						1	1	0.000%		1	
	計	41	11	4	12	8	10	86	0.011%	18	51	17
合計		304	24	23	25	21	23	420	0.054%	103	239	78
発見率		0.05%	0.07%	0.07%	0.08%	0.07%	0.08%	0.05%	—	24.5%	56.9%	18.6%
適中度		—	1.37%	1.43%	1.40%	1.13%	1.28%	—	—	—	—	—

Ⅲ. 各種検(健)診事業報告

Ⅲ各種検(健)診事業報告

(1)胃がん検診

<検診方法>

・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員

・方 法：問診、胃部エックス線撮影

＜撮影方法＞ 基準撮影法Ⅰ：8枚

基準撮影法Ⅱ：12枚

高濃度バリウム(200%W/V)130ml使用

発泡剤 5.0g使用

(日本消化器がん検診学会 新・胃X線撮影法ガイドラインによる)

<結 果>

令和5年度の受診者数は、84,588人であり、初回受診率は、15.1%であった。要精検率は5.5%で内訳は地域住民6.2%、職域職員4.9%であった。精検受診率は79.0%で、内訳は地域住民83.4%、職域職員77.6%と職域職員が低率であった。がん発見率は0.07%で、内訳は地域住民0.12%、職域職員0.02%と職域職員が低率であった。年齢階層別のがん発見数は、65-69歳が17.5%、70-74歳が28.1%と最も高く、75-79歳が19.3%、80歳以上が21.1%で、がん発見数57件のうち65歳以上が43件で全体の75.0%を占めていた。精密検査・主要所見別割合は胃がんが1.38%、胃ポリープ15.0%、胃潰瘍3.17%、十二指腸潰瘍1.25%、異常なしが21.9%だった

<当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検受診率 C/B	がん発見数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	37,173	2,315	6.2%	2,128	91.9%	40	0.11%	1.73%
職域職員	47,415	2,305	4.9%	1,715	74.4%	13	0.03%	0.56%
合 計	84,588	4,620	5.5%	3,843	83.2%	53	0.06%	1.15%

がん検診事業評価指標値

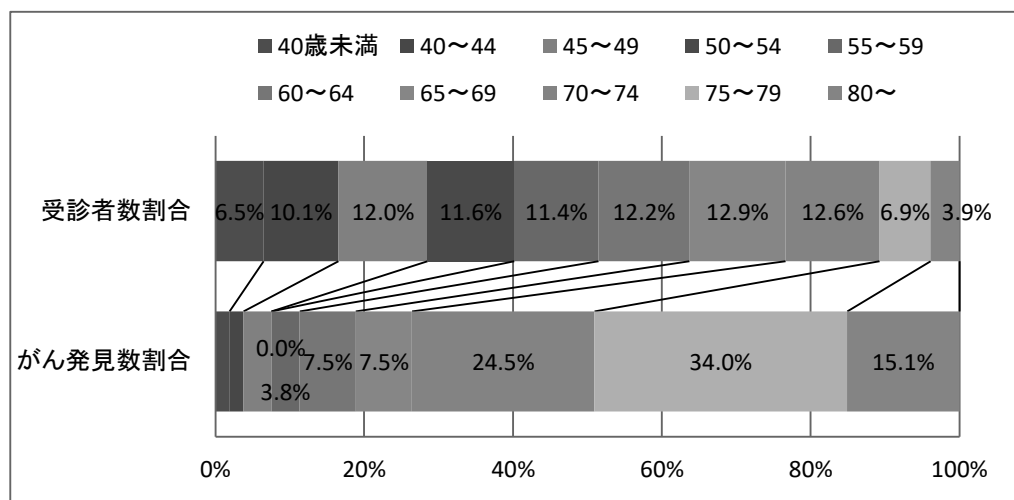
要精検率 許容値：7.6%以下

精検受診率 許容値：90%以上

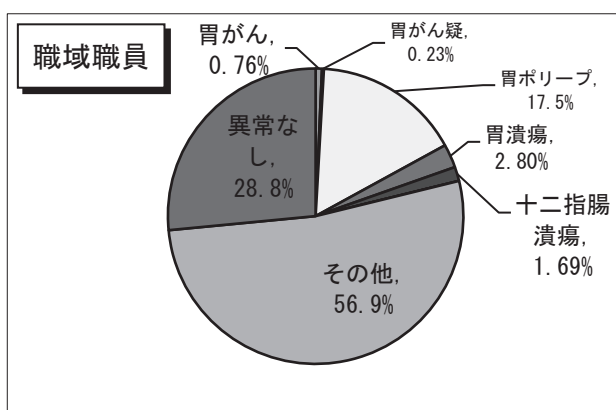
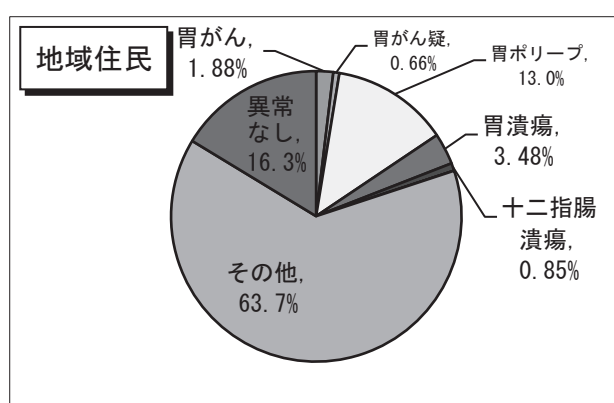
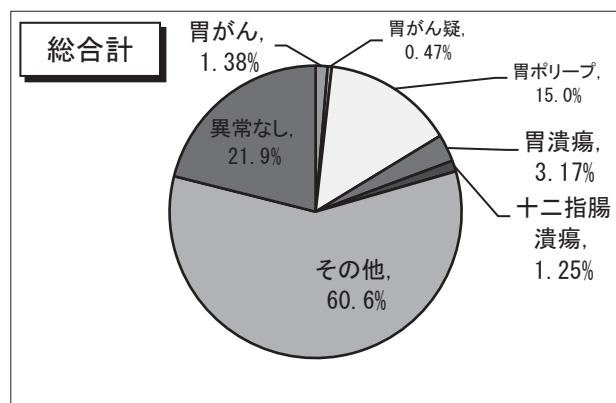
がん発見率 許容値：0.11%以上

陽性反応適中度 許容値：1.5%以上

<年齢階層別受診者数とがん発見数の割合>



<精密検査・主要所見別割合>



年齢階層別実施成績

総合計（地域住民）

（表-1）
（人）

区分		一次		検査										精査										検査結果										胃がん (確診)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		受診者数	A	初回受診数	B	初回受診率 (%)	B/A	判定区分						要精検不要	異常なし	要精検				同左率 (%)	検査項目				検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
								要精検			要精検項目					内視鏡	直接撮影	併用	その他		内視鏡	直接撮影	併用	その他	生検	生検後再検	胃がん	胃ポリープ	胃かいよう	十二指腸	共存かいよう	異型上皮巢	その他			異常なし	経過観察																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
								人員	要精検率(%)		精検検査	要精検検査	要精検検査																									要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査	要精検検査

年齢階層別実施成績

総合計（地域職員）

(表-2)
(人)

区分	一			次										検										診										精										密										査										結										果										胃がん (確診)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	受診者数					初回受診率 (%)					判定区分					要精検					要精検項目					同左率 (%)					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目					検査項目				

(2)大腸がん検診

<検診方法>

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方法：一次検診は問診および採便スティックを用いたラテックス凝集免疫比濁法による免疫学的便潜血検査2日法

<結 果>

受診者数は129,955人で、年齢構成は70～74歳、65～69歳の順で多く、60歳以上で過半数を占めていた。

要精検率は、全体で5.1%、地域住民が6.0%、職域職員が4.2%であった。精検受診率は、全体で73.1%、地域住民が76.3%、職域職員が68.1%と職域職員が低率であった。

がん発見率は、全体で0.13%、地域住民が0.18%、職域職員が0.07%と職域職員が低率であった。がん発見者の年齢階層別割合は、70～74歳代と75～79歳代が最も多くそれぞれ21.1%で、60歳以上では全体の85.5%を占めていた。

精密検査における発見疾病別割合は、大腸がん確定166人(3.4%)、大腸ポリープ2,839人(54.9%)、その他の疾患486人(10.0%)であった。

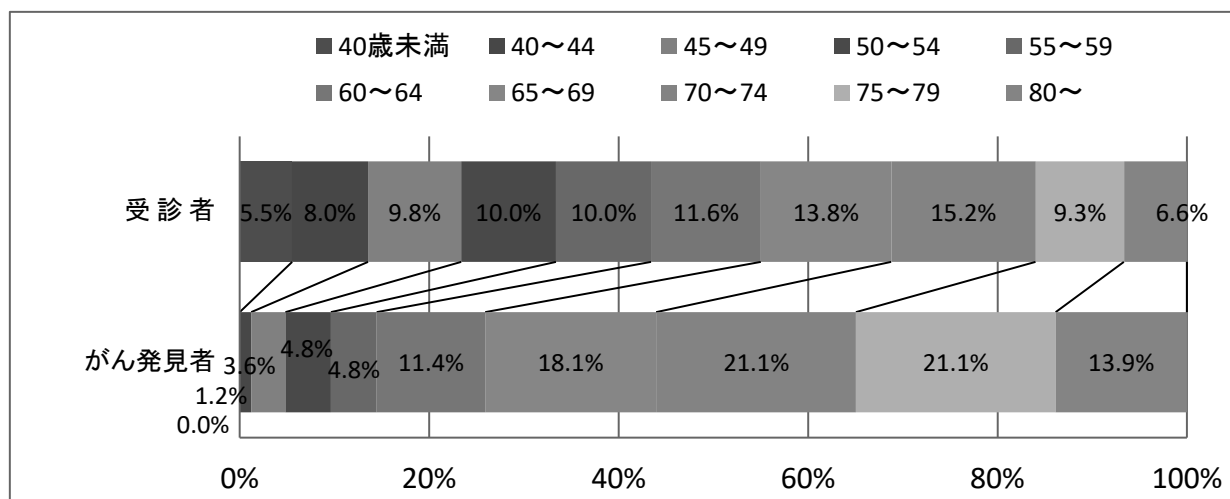
<当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検受診者率 C/B	がん発見者数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	67,640	4,039	6.0%	3,082	76.3%	125	0.18%	3.09
職域職員	62,315	2,588	4.2%	1,762	68.1%	41	0.07%	1.58
合 計	129,955	6,627	5.1%	4,844	73.1%	166	0.13%	2.50

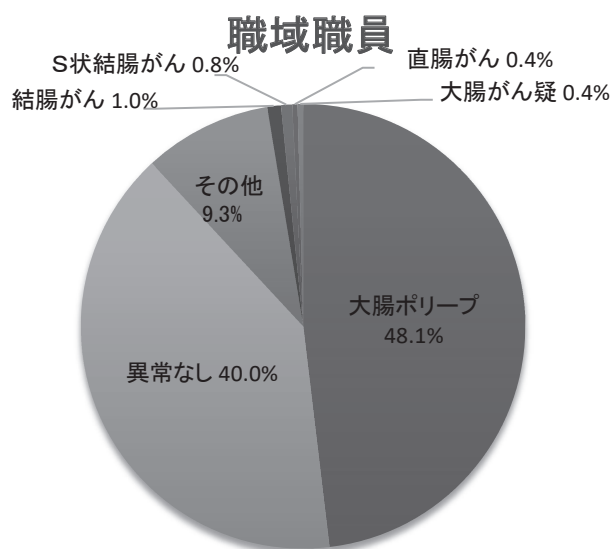
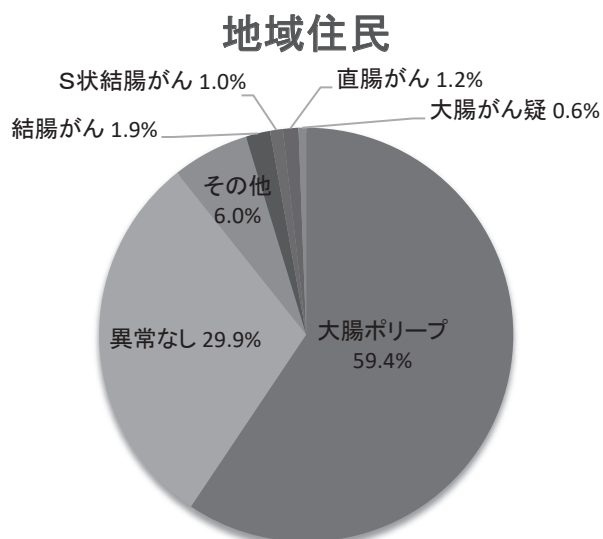
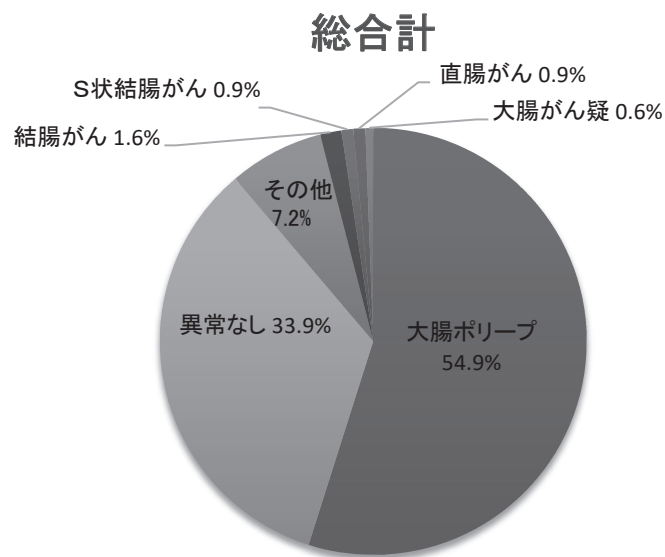
がん検診事業評価指標値

要精検率	許容値:7.0以下
精検受診率	許容値:70% 目標値:90%
がん発見率	許容値:0.13%以上
陽性反応適中度	許容値:1.9%以上

<受診者とがん発見者の年齢階層別割合>



＜精密検査・発見疾病別割合＞



<年齢階層別実施成績>

総合計（地域住民）

（人）

区分	一次検診				精密検査結果					精検結果（発見疾病延べ数）										大腸がん 確認人数 D	がん 発見率（％） D/A	陽性 反応適 中度 D/B
	受診者数 A	材料不適	便潜血陰性	要精検		受診者数 C	同左率（％） C/B	検査項目				直腸がん 確認①	S状結腸がん 確認②	結腸がん 確認③	がん 発見数 ①＋②＋③	大腸がん 疑い	大腸ポリープ	その他	異常なし			
				人員	率（％）			C	F・注腸X線 併用	S・注腸X線 単独	その他											
男	40歳未満	181		171	10	5.5	8	80.0	8								4	2	3			
	40～44歳	829		802	27	3.3	18	66.7	17							1	7	5				
	45～49歳	988		939	49	5.0	32	65.3	32					1	1		18	2	11			
	50～54歳	1,035		973	62	6.0	38	61.3	35				1	1	2	1	17	4	15			
	55～59歳	1,076		1,032	44	4.1	32	72.7	32				1		1		21	5	7			
	60～64歳	2,183		2,052	131	6.0	87	66.4	83	2			1	2	3	2	64	9	13			
	65～69歳	5,128		4,755	373	7.3	267	71.6	257	2				7	11	2	198	16	50			
	70～74歳	7,806		7,166	640	8.2	468	73.1	447	6			4	8	17	6	351	46	71			
	75～79歳	5,670		5,178	492	8.7	384	78.0	371	3			3	5	17	6	276	27	69			
	80歳以上	4,346		3,884	462	10.6	353	76.4	325	5			2	2	11	3	239	44	75			
計	29,242		26,952	2,290	7.8	1,687	73.7	1,607	18			14	14	63	21	1,195	160	319				
女	40歳未満	187		176	11	5.9	6	54.5	6								1	1	4			
	40～44歳	1,057		1,018	39	3.7	22	56.4	22			1		1			10	2	10			
	45～49歳	1,288		1,246	42	3.3	35	83.3	35				1	1			11	9	15			
	50～54歳	1,574		1,528	46	2.9	32	69.6	32				1	1			10	3	18			
	55～59歳	2,113		2,039	74	3.5	58	78.4	57	1			1	1	1	1	28	5	25			
	60～64歳	4,230		4,064	166	3.9	125	75.3	117	1			1	3	5	1	58	13	52			
	65～69歳	7,809		7,512	297	3.8	246	82.8	236	4			1	7	8	1	134	17	90			
	70～74歳	9,772		9,334	438	4.5	362	82.6	346	2			5	2	15	1	203	29	124			
	75～79歳	6,121		5,817	304	5.0	262	86.2	253	3	1	5	1	1	18		149	31	78			
	80歳以上	4,247		3,915	332	7.8	247	74.4	223	2	1	21	1	2	12		133	27	82			
計	38,398		36,649	1,749	4.6	1,395	79.8	1,327	13	2	53	10	9	43	62	4	737	137	498			
男女計	40歳未満	368		347	21	5.7	14	66.7	14								5	3	7			
	40歳以上	67,272		63,254	4,018	6.0	3,068	76.4	2,920	31	2	115	24	78	125	25	1,927	294	810			
	合計	67,640		63,601	4,039	6.0	3,082	76.3	2,934	31	2	115	24	78	125	25	1,932	297	817			

<年齢階層別実施成績>

総合計（職域職員）

（人）

区分	一次検診			精密検査結果										大腸がん 確認人数	がん 発見率（％）	陽性 反応 適中度						
	受診者数	材料不適	便潜血陰性	要精検		受診者数	同左率（％）	検査項目				精検結果（発見疾病延べ数）										
				人員	率（％）			C	F・注腸X線併用	注腸X線単独	その他	直腸がん 確認①	S状結腸がん 確認②				結腸がん 確認③	がん ①＋②＋③	大腸がん 疑い	大腸ポリープ	その他	異常なし
A	B	B/A	C	C/B												D	D/A	D/B				
男	40歳未満	3,719	133	3.5	87	65.4	85				2					24	13	51				
	40～44歳	4,686		155	3.3	108	69.7	103			5	1		1		42	16	53	1			
	45～49歳	5,760		217	3.8	130	59.9	122			8	1		2	1	64	16	48	2			
	50～54歳	5,485		249	4.5	166	66.7	161	1		4	1		3	1	90	17	57	3			
	55～59歳	5,142		266	5.2	170	63.9	163		1	6	1	1	5		108	14	46	5			
	60～64歳	4,867		286	5.9	190	66.4	182			8	1	1	7	1	128	16	44	7			
	65～69歳	3,061		2,858	6.6	140	69.0	138			2	1	1	6	8	1	100	7	29	8		
	70～74歳	1,535		1,413	7.9	91	74.6	85	1		5		1	2	3	2	67	10	16	3		
	75～79歳	249		222	10.8	19	70.4	19							1	16	2	2				
	80歳以上	28		26	7.1	2	100.0	2								1	1					
計	34,665		33,005	4.8	1,103	66.4	1,060	2	1	40	6	4	19	29	7	640	112	346	29	0.08		
女	40歳未満	2,846	108	3.7	67	62.0	65			2						17	12	39				
	40～44歳	3,842	128	3.3	86	67.2	84			2						26	11	49				
	45～49歳	4,761	146	3.1	101	69.2	97			3	1		1	2	1	37	13	47	2	0.04		
	50～54歳	4,921	146	3.0	93	63.7	92			1		1	1	2		31	16	48	2	0.04		
	55～59歳	4,682	138	2.9	103	74.6	100	1		2		1		1	1	51	12	41	1	0.02		
	60～64歳	3,802	156	4.1	128	82.1	117			11	2		2	4		67	9	51	4	0.11		
	65～69歳	1,897	1,828	69	3.6	52	75.4	48			4	1	1	3		22	3	25	3	0.16		
	70～74歳	687	654	33	4.8	26	78.8	25			1					14	1	11				
	75～79歳	90		87	3	2	66.7	2								1		1				
	80歳以上	14		13	7.1	1	100.0	1								1						
計	27,650		26,722	3.4	659	71.0	631	1	1	26	4	3	5	12	2	267	77	312	12	0.04		
男女計	40歳未満	6,806		6,565	241	3.5	154	63.9	150		4					41	25	90				
	40歳以上	55,509		53,162	2,347	4.2	1,608	68.5	1,541	3	2	62	10	7	24	41	9	866	164	568	41	0.07
	合計	62,315		59,727	2,588	4.2	1,762	68.1	1,691	3	2	66	10	7	24	41	9	907	189	658	41	0.07

I 各種検（健）診の流れ

II 検（健）診委員会

III 各種検（健）診事業報告

IV その他の事業

V 論文投稿

(3)子宮がん検診

<検診方法>

対象者：20歳以上の地域住民および職域職員
 方法：問診、視診及び双合診、細胞診、細胞診・HPV-DNA 検査併用検診

<結 果>

【細胞診単独法】

受診者数は33,045人、そのうち初回受診者数は6,254人(19.0%)。要精検者数は297人(0.9%)、内訳は地域住民111人(0.6%)職域職員186人(1.4%)と職域職員が高率であった。精検受診者数は239人(80.5%)、内訳は地域住民89人(80.2%)、職域職員150人(80.7%)。がん発見数は23人(0.07%)、内訳は地域住民10人(0.05%)、職域職員13人(0.09%)と職域職員が高率であった。年齢階層別がん発見率は、地域住民の30～34歳代が最も高く0.76%であった。精密検査・主要所見では、異形成が地域住民30.3%、職域職員39.5%、上皮内がんが地域住民10.1%、職域職員6.6%、浸潤がんが地域住民1.1%、職域職員2.0%であった。

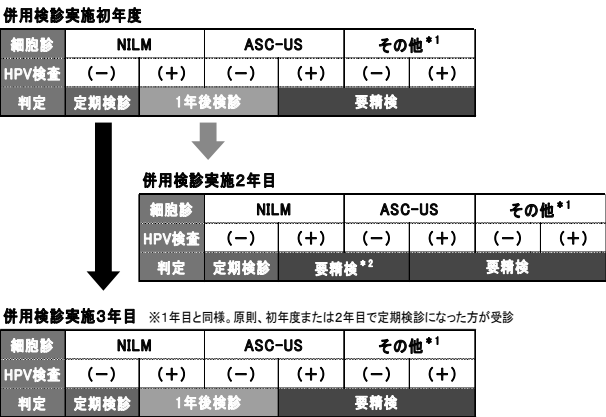
【細胞診・HPV-DNA 検査併用検診】

平成27年度より細胞診・HPV-DNA 検査併用検診(図1)を実施した。

令和4年度(初年度)受診者数は2,135人、そのうちASC-US/HPV(-)7人、NILM/HPV(+)37人、併せて44人(2.1%)が1年後検診該当であった。1年後検診該当者44人のうち23人が令和5年度に同検診を受診した。(1年後検診受診率52.3%)

1年後検診の実施成績は、受診した人のうち要精密検査該当が12人であった。(要精検率52.2%)精密検査該当者12人中8人が精密検査を受診した。(精検受診率66.6%) 精検結果内訳は、異常なし6人、CIN1 2人であった。

図1【細胞診・HPV-DNA併用検診フロー】



*1「その他」 ASC-H,LSIL,HSIL,SCC,AGC,AIS,Adenocarcinoma,Other malign.
 *2細胞診判定ASC-US、あるいはHPV検査陽性が2年続いた場合、要精検となります。

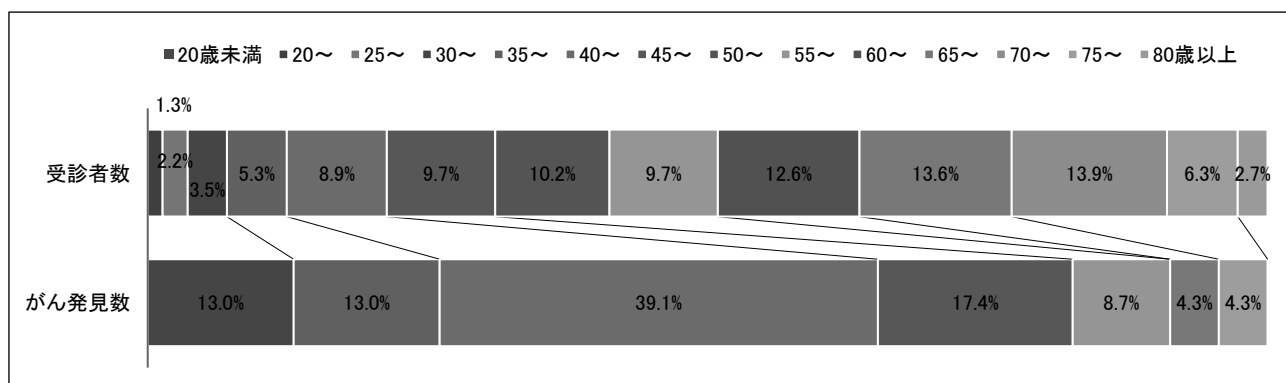
がん検診事業制度管理指標

※CIN3以上の発見率または陽性反応適中度

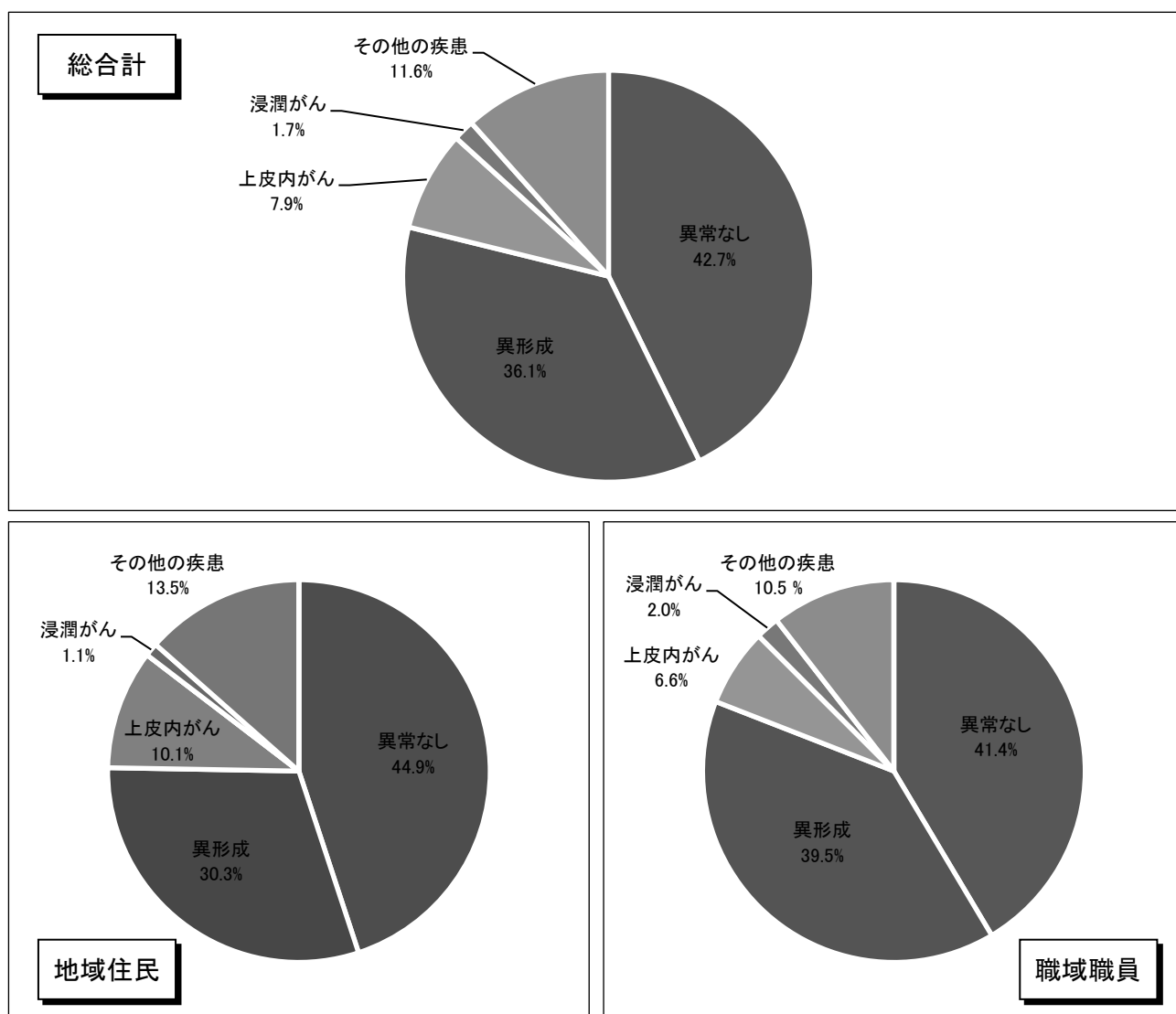
対象年齢	要精検率	精検受診率	がん発見率※	陽性反応適中度※
20～74歳	2.5%以下	90%以上	0.15%以上	5.9%以上
20～39歳	4.2%以下		0.18%以上	4.4%以上
40～74歳	1.9%以下		0.14%以上	7.3%以上

	受診者数	要精検者数		精検受診者数		がん発見数		陽性反応適中度
	A	B	同左率 B/A	C	同左率 C/B	D	同左率 D/A	
地域住民	19,297	111	0.6%	89	80.2%	10	0.05%	9.01
職域職員	13,748	186	1.4%	150	80.7%	13	0.09%	6.99
合 計	33,045	297	0.9%	239	80.5%	23	0.07%	7.74

＜年齢階層別受診者数とがん発見数・率＞



＜精密検査・主要所見別割合＞



<年齢階層別実施成績>

総合計 (地域住民)

区分	一次検診結果										精密検査結果										がん発見率(%)	陽性反応適中度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	受診者数	陰性	判定不能	頭部細胞診結果								発見疾患(述べ数)					同左率(%)	子宮頸がん D					子宮体がん	異形成	その他の疾患	異常なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				人員	率(%)	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenocarcinoma	Other malig.	頸管ポリープ	子宮筋腫		子宮脱	卵巣腫瘍	炎症							その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																												B	B/A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																														A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
20歳未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

＜年齢階層別実施成績＞
総合計（職域職員）

区分	一次検診結果										精密検査結果										がん発見率(%)	陽性反応適中度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	受診者数	A	陰性	判定不能	頸部細胞診結果										発見疾患(述べ数)					受診者数			同左率(%)	子宮頸がん D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					人員	率(%)	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenocarcinoma	Other malign.	頸管ポリープ	子宮筋腫	子宮脱	卵巣腫瘍					嚢炎	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	B	B/A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

I 各種検(健)診の流れ

II 検(健)診委員会

III 各種検(健)診事業報告

IV その他の事業

V 論文投稿

(4)乳がん検診

< 検診方法 >

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方 法：問診、乳房エックス線検査 1方向(MLO)又は2方向(MLO・CC)
希望者に乳房超音波検査

< 結 果 >

令和5年度の受診者数は、32551人であった。要精検率は3.8%で、内訳は地域住民3.3%、職域職員4.7%と地域住民で低率であった。精検受診率は91.1%で、内訳は地域住民90.6%、職域職員91.7%と精検受診目標値90%を上回った。がん発見率は0.24%で、内訳は地域住民0.23%、職域職員0.25%と地域住民が低率であった。年齢階層別がん発見割合では、70～74歳で23.1%、45～49歳と50～54歳で14.1%の順であり、50～74歳で61人と全体の78.2%を占めていた。精密検査における主要所見別割合は、乳がんが6.9%、異常なし54.4%、乳腺症16%、乳腺良性腫瘍17.1%であった。

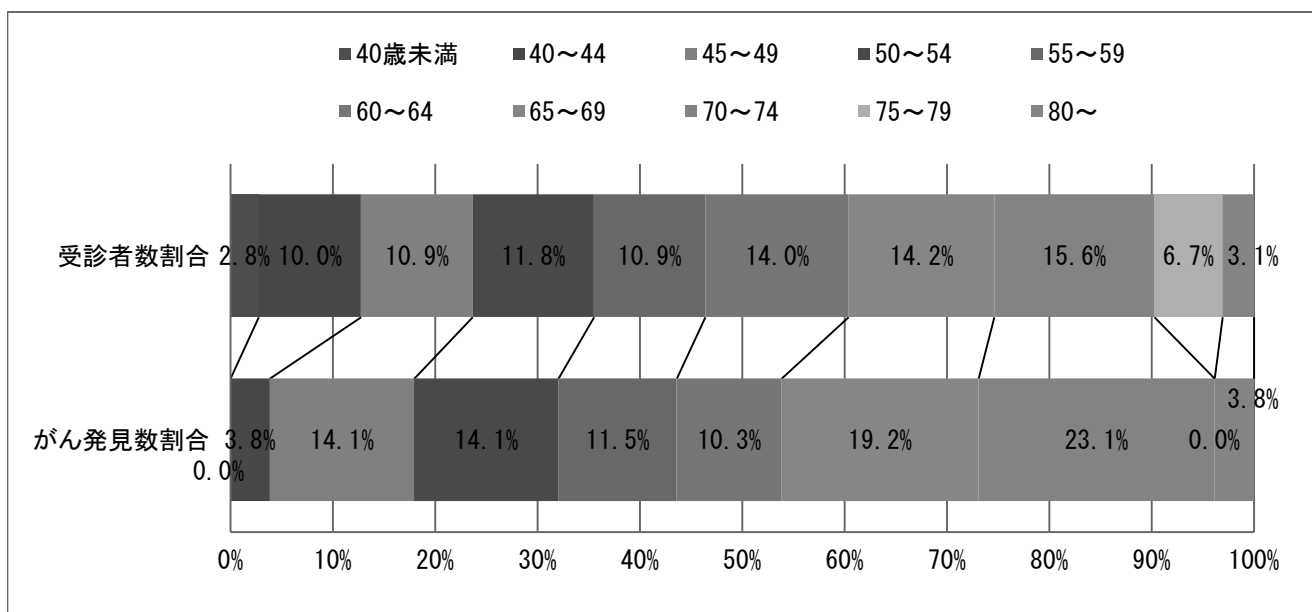
< 当年度実績 >

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診率 C/B	がん発見者数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	19,410	635	3.3%	575	90.6%	45	0.23%	7.09%
職域職員	13,141	613	4.7%	562	91.7%	33	0.25%	5.38%
合 計	32,551	1,248	3.8%	1,137	91.1%	78	0.24%	6.25%

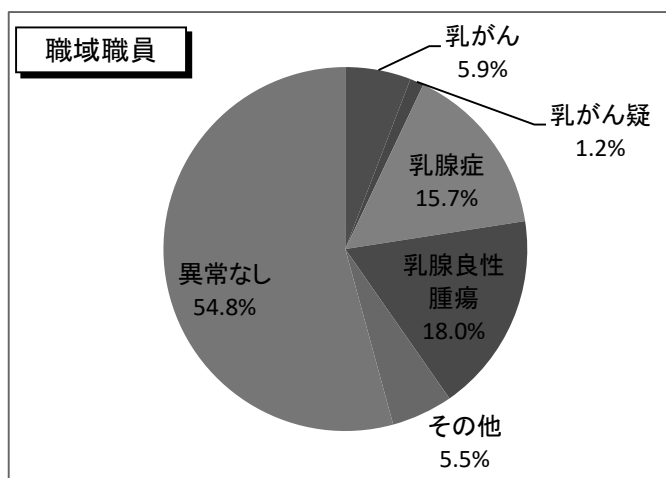
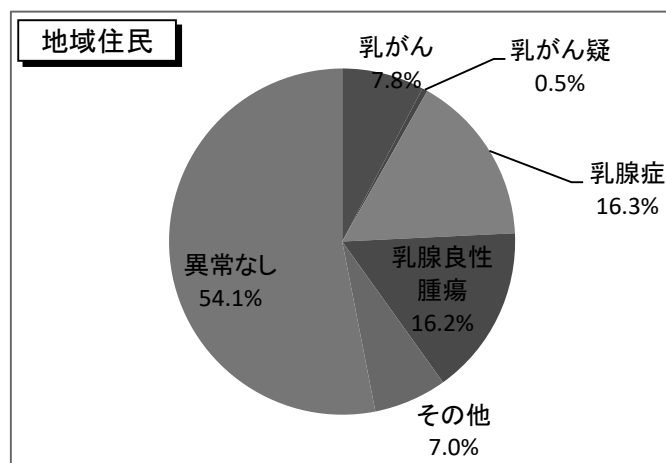
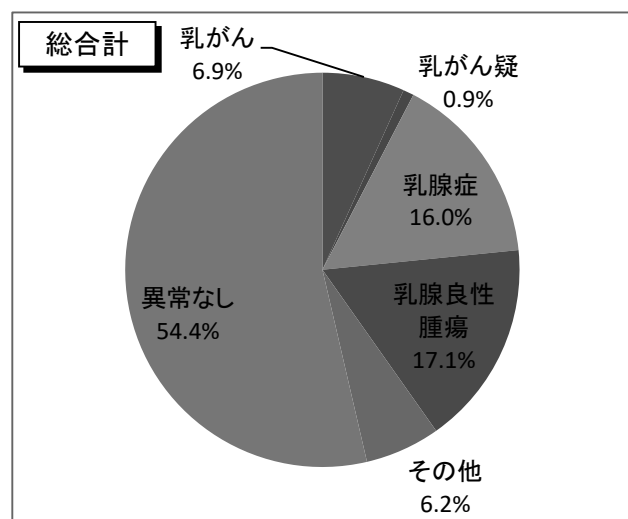
がん検診事業評価指標値

要精検率	許容値：11.0%以下
精検受診率	許容値：80%以上（目標値：90%以上）
がん発見率	許容値：0.23%以上
陽性反応適中度	許容値：2.5%以上

<年齢階層別がん発見割合>



<精密検査・主要所見別割合>



年齢階層別実施成績
総合計（地域住民）
(表-1)
(人)

区 分		一 次 検 診 結 果				精 密 検 査 結 果										乳 が ん (確 診)		区 分				
		受 診 者 数	初 回 受 診 数	初 回 受 診 率 (%)	判 定 区 分				精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 (%)	発 見 疾 病 (延 べ 数)											
					異 常 認 め ず	根 拠 別 の 要 精 検 査 者 数					乳 が ん 疑 い	乳 腺 症	乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	異 常 な し							
						視 触 診 か ら	マ ン モ か ら	両 方 か ら											合 乳 が ん 確 診 計 者			
A		B	B/A	C	C/A	D	D/C	E	視 触 診 か ら	マ ン モ か ら	両 方 か ら	合 乳 が ん 確 診 計 者	乳 が ん 疑 い	乳 腺 症	乳 腺 良 性 腫 瘍	そ の 他	異 常 な し	E/C	E/A	40歳未満		
53		33	62.3	47	6	6	11.3	6							1		5				40歳未満	
1,174		588	50.1	1,101	73	73	6.2	66						16	18	4	29				40～44歳	
1,165		275	23.6	1,093	72	72	6.2	65		4		4		15	13	9	26	5.56	0.34		45～49歳	
1,320		278	21.1	1,253	67	67	5.1	63		4		4		8	18	6	30	5.97	0.30		50～54歳	
1,432		268	18.7	1,387	45	45	3.1	38		2		2		11	3	4	21	4.44	0.14		55～59歳	
2,662		489	18.4	2,582	80	80	3.0	70		3		3		14	8	2	43	3.75	0.11		60～64歳	
3,788		503	13.3	3,678	110	110	2.9	98		12		12		9	14	7	56	10.91	0.32		65～69歳	
4,734		413	8.7	4,611	123	123	2.6	115		17		17		18	14	4	61	13.82	0.36		70～74歳	
2,109		204	9.7	2,068	41	41	1.9	36						3	2	2	29				75～79歳	
973		100	10.3	955	18	18	1.8	18		3		3			2	2	11	16.67	0.31		80歳以上	
19,410		3,151	16.2	18,775	0	635	0	575	0	45	0	45	3	94	93	40	311	7.09	0.23		計	
女																						
実 施 方 法 別																						
		施設外																				
		施設		53	33	62.3	47	6	6	11.3	6	100.0				1	5					検診車
		施設																				施設
40歳以上		施設外																				
		施設		19,357	3,118	16.1	18,728	37	629		629	3.2	569	90.5	45	3	94	92	40	306	7.15	0.23

(表-2)

(r)

I 各種検(健)診の流れ

Ⅲ 各種検（健）診事業報告

V
論文投稿

(5)呼吸器検診(肺がん)

< 検診方法 >

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方法：問診、胸部エックス線撮影(読影は、二重読影及び比較読影)
喀痰細胞診(50歳以上で喫煙指数600以上の者。3日間の連続採痰を蓄痰、集細胞法で処理)

< 結 果 >

令和5年度の受診者数は、86,566人で、要精検者数は、1,953人であった。要精検率2.3%、内訳では地域住民2.4%、職域職員1.2%であり、職域職員で低率であった。精検受診率は84.3%、内訳では地域住民84.2%、職域職員86.7%であった。

がん発見率は0.04%で、地域住民36名で0.05%、職域職員2名で0.02%であった。受診者数割合では65歳以上が全体の67.9%占めており、70～74歳が22.7%と高かった。

精密検査における主要所見別割合では、原発性肺がん確診2.3%、その他悪性新生物0.7%、その他新生物0.4%、異常なし・がん以外の疾患96.6%であった。

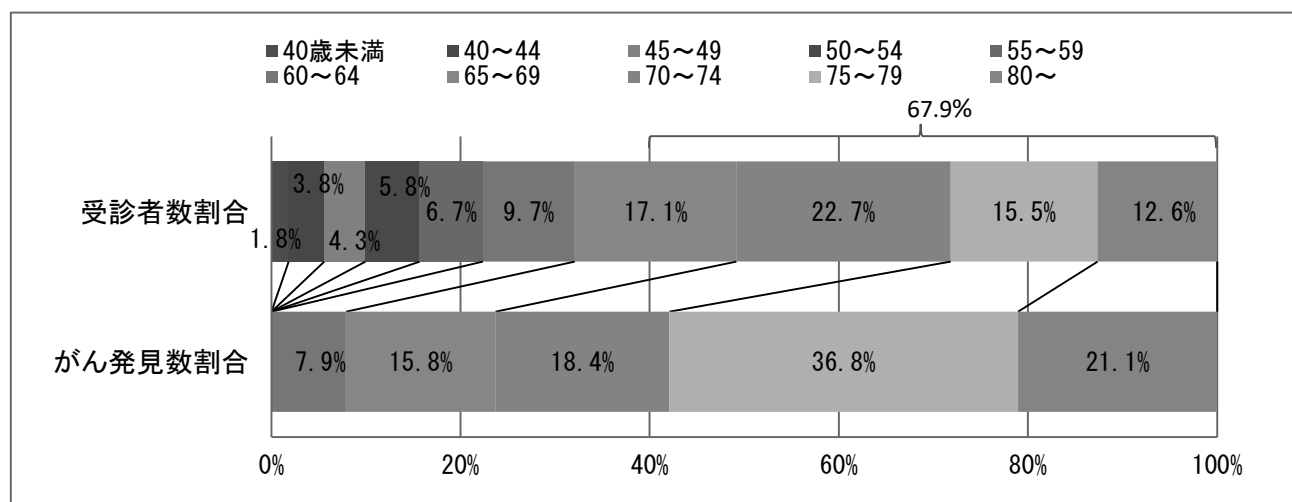
< 当年実績 >

	受診者数 (40歳未満含) A	要精検者数 (E) B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診者率 C/B	がん 発見者数 D	がん 発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	75,177	1,818	2.4%	1,530	84.2%	36	0.05%	1.98
職域職員	11,389	135	1.2%	117	86.7%	2	0.02%	1.48
合 計	86,566	1,953	2.3%	1,647	84.3%	38	0.04%	1.95

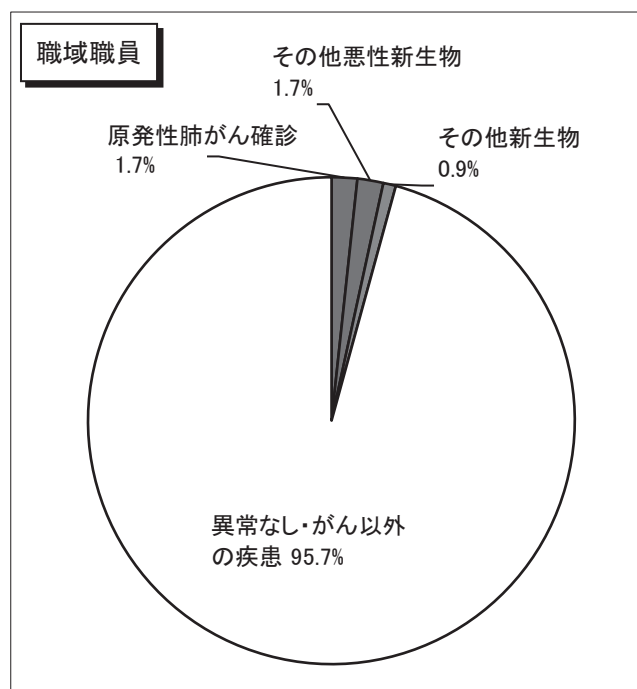
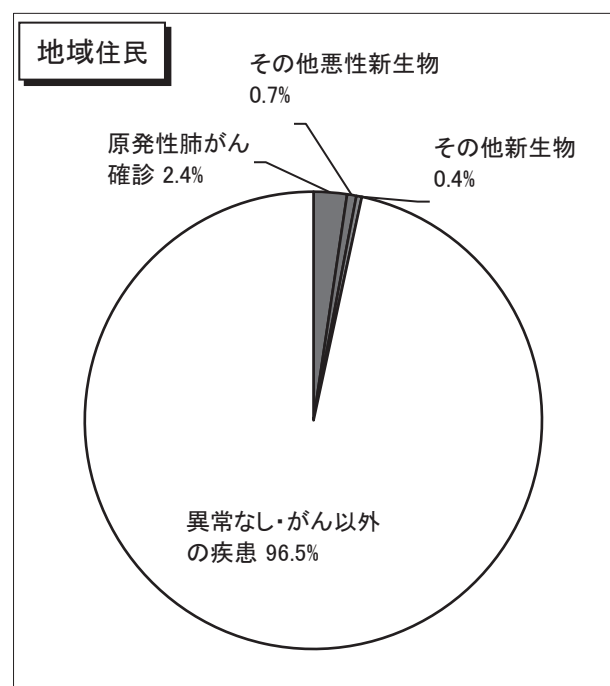
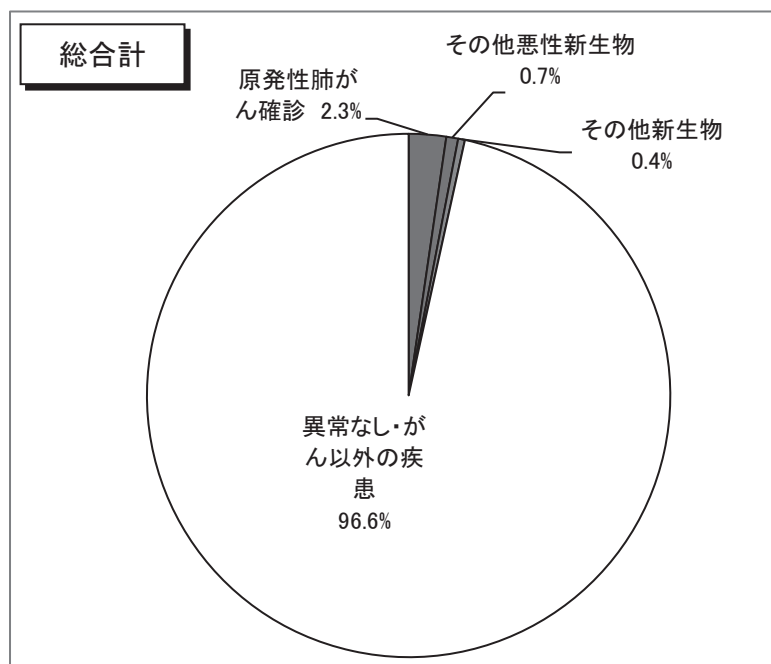
がん検診事業評価指標値

要精検率	基準値：2.4%以下
精検受診率	基準値：90%以上
がん発見率	基準値：0.1%以上
陽性反応適中度	基準値：4.1%以上

< 年齢階層別受診者数とがん発見数の割合 >



<精密検査・主要所見別割合>



<年齢階層別実施成績(喀痰細胞診)>

総合計 (地域住民)

(人)

区 分		一 次 検 診					精 密 検 査						原発性肺がん (確 診)						
		受 診 者 数 (提 出 数)	初 回 受 診 数	初 回 受 診 率 (%)	X線 最終決定判定区分別 (比較読影による)				精 査 受 診 者 数	精 密 検 査 確 定 結 果 (回 報 書 に よ る)			D E 判 定 か ら の 精 査 未 受 診 者 の が ん 以 外 の 疾 患	D E 判 定 か ら の 原 発 性 肺 がん の 疑 い	D E 判 定 か ら の 異 常 な し	精 査 未 受 診 し 未 完 了 原 発 性 肺 がん 疑 患 者 数			
					材 料 不 適	認 現 在 異 常 を	追 加 検 査 追 跡	た だ ち に 精 密 検 査		た だ ち に 精 密 検 査	精 査 完 了 者 数	確 診 患 者 数 が ん					新 生 物 患 者 数 悪 性	新 生 物 患 者 数	
		a	b	b/a	A	B	C	D	E									陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率 (%)
男	40 歳未満	1	1	100		1													
	40～44歳	4	2	50		4													
	45～49歳	6	1	17		6													
	50～54歳	12	7	58.3		12													
	55～59歳	20	7	35.0		20													
	60～64歳	53	12	22.6	1	52													
	65～69歳	123	20	16.3	2	121													
	70～74歳	169	21	12.4		168		1		1	1						100.00	0.59	
	75～79歳	110	12	10.9		110													
	80 歳以上	48	3	6.3		47	1												
計		546	86	15.8	3	541	1	1	1	1	1						100.00	0.18	
女	40 歳未満																		
	40～44歳	3	2	66.7		3													
	45～49歳																		
	50～54歳	3	1	33.3		3													
	55～59歳	4	2	50.0		4													
	60～64歳	1				1													
	65～69歳	8	2	25.0	1	7													
	70～74歳	4	1	25.0		4													
	75～79歳	3				3													
	80 歳以上	1				1													
計		27	8	29.6	1	26													
男女合計		573	94	16.4	4	567	1	1	1	1	1						100.00	0.17	

総合計（職域職員）

総合計（職域職員）

総合計（職域職員）

(人)

<年齢階層別実施成績(喀痰細胞診)>

総合計 (職域職員)

区 分	一 次 検 診				精 密 検 査							原発性肺がん (確 診)	
	受診者数 (提出数)	初 回 受 診 数	初 回 受 診 率 (%)	X線 最終決定判定区分別 (比較読影による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)
	a	b	b/a	A B C D E	材料不適	認めない異常を	追加検査追跡	ただちに精密検査	ただちに精密検査	受診者数	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)	精 密 検 査 確 定 結 果 (回報書による)
男	40 歳未満	42	5	11.9	2	40							
	40～44歳	47	9	19.1	2	45							
	45～49歳	78	8	10.3	3	75							
	50～54歳	238	44	18.5	10	228							
	55～59歳	322	38	11.8	14	308							
	60～64歳	302	36	11.9	12	289	1						
	65～69歳	168	27	16.1	7	161							
	70～74歳	46	3	6.5		45	1						
女	75～79歳	17	2	11.8	1	16							
	80 歳以上	1				1							
	計	1,261	172	13.6	51	1,208	2						
	40 歳未満	8	2	25.0	3	5							
	40～44歳	25	2	8.0	7	18							
	45～49歳	25	1	4.0	8	17							
	50～54歳	76	18	23.7	13	63							
	55～59歳	77	14	18.2	13	64							
男女合計	60～64歳	31	6	19.4	3	28							
	65～69歳	18	2	11.1	3	15							
	70～74歳	6			1	5							
	75～79歳	3				3							
	80 歳以上	1	1	100.0	1								
	計	270	46	17.0	52	218							
	男女合計	1,531	218	14.2	103	1,426	2						

(6)呼吸器検診(結核)

< 検診方法 >

対象者:地域住民については感染症法および感染症の患者に対する医療に関する法律、職域職員については労働安全衛生法、学校・高校については、学校保健安全法で定めた者。

方 法:問診、胸部エックス線検査

胸部エックス線撮影……背腹1方向(側面方向も一部追加)

< 結 果 >

令和5年度の受診者数は104,126人、内訳では地域住民82人、職域職員95,581人、学校・高校8,463人であった。

地域住民および職域職員のいずれからとも、がんは発見されなかった。

< 当年実績 >

(人)

対象区分	地域住民	職域職員	学校・高校	合計
山形C	70	29,975	4,797	34,842
庄内C	0	22,592	1,697	24,289
最上C	0	12,318	478	12,796
米沢C	12	15,384	1,000	16,396
南陽C	0	15,312	491	15,803
合計	82	95,581	8,463	104,126

呼吸器検診(結核)実施成績

(人)

区 分		一 次 検 診					精 密 検 査							原発性肺がん (確 診)				
		受 診 者 数 a	初 回 受 診 数 b	初 回 受 診 率 (%) b/a	X線 最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)				精 E 判 定受診者数	精 密 検 査 (回報書による)				精 密 検 査 未 受 診 者 数	精 D 判 定受診者数	肺がん確診患者数	要する結核患者の治癒を 判定からの治療を	
					再読 撮影不能	認めない所見を	が異常所見を認める	疾患の 精査以外の 精査		対する 精査	精 検完了者数	確 診患者数	新 生 物 患 者 数					新 生 物 患 者 数
地域 住民	40 歳未満	11	2	18.2		11												
	40～44 歳																	
	45～49 歳																	
	50～54 歳	1	1		1													
	55～59 歳																	
	60～64 歳																	
	65～69 歳	1	1	100.0			1											
	70～74 歳	10	1	10.0	6	3	3	1			1							
	75～79 歳	18	2	11.1	18													
	80 歳以上	41	3	7.3	30	5	5	6					5					
計	82	10	12.2		66	9	7					6						
職域 職員 学校 高校	40 歳未満	44,413	20,051	45.1		43,628	585	96	104	80	24	60						
	40～44 歳	9,520	1,598	16.8		9,233	186	25	76	58	18	15						
	45～49 歳	11,508	1,497	13.0		11,017	318	44	129	102	29	26						
	50～54 歳	10,266	1,422	13.9		9,730	317	56	163	119	44	28						
	55～59 歳	8,928	1,077	12.1		8,297	399	58	174	131	43	45						
	60～64 歳	8,160	1,100	13.5		7,432	444	99	185	144	45	66			0.54	0.012		
	65～69 歳	4,910	695	14.2		4,428	298	67	117	104	17	48			2.56	0.061		
	70～74 歳	2,474	325	13.1		2,140	185	69	80	62	18	50	2					
	75～79 歳	576	88	15.3		461	68	25	22	15	7	15						
	80 歳以上	295	68	23.1		226	31	20	18	12	6	14						
計	101,050	27,921	27.6		96,592	2,831	559	1,068	827	817	367	2		0.37	0.004			
合計		101,132	27,931	27.6		96,658	2,840	566	1,068	827	817	373	2		0.37	0.004		

Ⅰ 各種検(健)診の流れ

Ⅱ 検(健)診委員会

Ⅲ 各種検(健)診事業報告

Ⅳ その他の事業

Ⅴ 論文投稿

(7)前立腺がん検診

<検診方法>

対象者：原則として50歳以上の検査を希望する男性

方法：問診、前立腺特異抗原(PSA)を測定する。

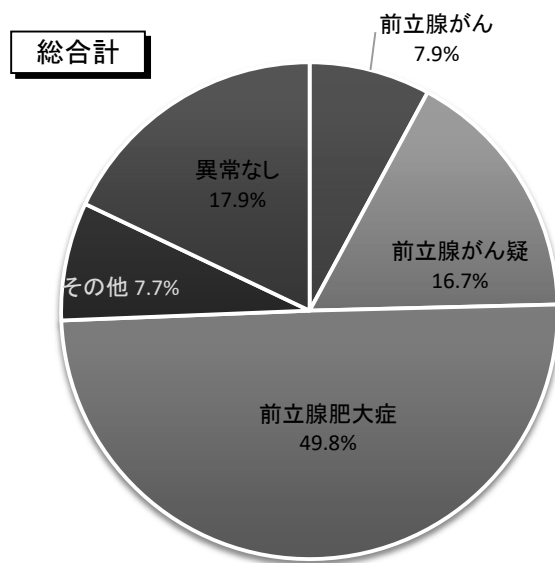
<結 果>

1. 受診者数は19,314人で、年齢構成は70～74歳が最も多く4,173人(21.6%)であった。
2. 要精検者数は1,347人(7.0%)、精検受診者数は1,007人(74.8%)であった。
3. がん発見者数は、85人(0.44%)であった。

<当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診者率 C/B	がん 発見者数 D	がん 発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	12,460	1,040	8.3%	767	73.8%	70	0.56%	6.73
職域職員	6,854	307	4.5%	240	78.2%	15	0.22%	4.89
総合計	19,314	1,347	7.0%	1,007	74.8%	85	0.44%	6.31

<精密検査・主要所見別割合>



<年齢階層別実施成績>

総合計（地域住民）

（人）

区分	一 次 検 診			精 密 検 査 目 内 訳						結 果					陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率 （ % ）	D/A	D/B	区分			
	受 診 者 数	異 常 な し	要 精 検	受 診 者 数	同 左 率 （ % ）	精 検 結 果（発見疾病延べ数）				前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑 い	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他	異 常 な し								
						直 腸 診	超 音 波	腫 瘍 マ ー カ ー	C T											M R I	そ の 他	生 検
40歳未満	24	24																40歳未満				
40～44歳	140	140																40～44歳				
45～49歳	202	200	2	1.0	1	50.0			1							1		45～49歳				
50～54歳	387	380	7	1.8	5	71.4	1	3	4		1					3	2	50～54歳				
55～59歳	453	442	11	2.4	8	72.7	2	2	6		1	1	1			3	1	55～59歳				
60～64歳	1,017	964	53	5.2	34	64.2	10	17	24		10	2	2	2		7	4	60～64歳				
65～69歳	2,406	2,252	154	6.4	111	72.1	34	52	88	1	32	3	18	12		19	9	65～69歳				
70～74歳	3,623	3,304	319	8.8	242	75.9	76	105	177	1	67	6	29	24		41	18	70～74歳				
75～79歳	2,595	2,313	282	10.9	207	73.4	63	91	156	1	55	4	22	20		42	11	75～79歳				
80歳以上	1,613	1,401	212	13.1	159	75.0	49	77	106	1	36	14	9	12		35	8	80歳以上				
計	12,460	12,460	1,040	8.3	767	73.8	235	347	562	4	202	30	81	70		147	41	計				
50歳未満	366	364	2	0.5	1	50.0			1								1	50歳未満				
50歳以上	12,094	11,056	1,038	8.6	766	73.8	235	347	561	4	202	30	81	70		147	41	50歳以上				
計	12,460	11,420	1,040	8.3	767	73.8	235	347	562	4	202	30	81	70		147	41	計				

<年齢階層別実施成績>

総合計(職域職員)

(人)

区分	一 次 検 診			精 密 検 査 目 内 記 果				陽 性 反 応 適 中 度	が ん 発 見 率 （ % ）	区 分										
	受 診 者 数	要 精 検		同 左 率 （ % ）	精 検 結 果 (発 見 疾 病 延 べ 数)															
		人 員	率 （ % ）		直 腸 診	超 音 波	腫 瘍 マ ー カ ー				C T	M R I	そ の 他	生 検	前 立 腺 が ん	前 立 腺 が ん 疑 い	前 立 腺 肥 大 症	そ の 他	異 常 な し	
A	129	B	B/A	C	C/B				D/A	D/B										
40歳未満	129										40歳未満									
40～44歳	301	4	1.3	2	50.0	1	1	2			40～44歳									
45～49歳	440	5	1.1	2	40.0			1			45～49歳									
50～54歳	1,280	26	2.0	19	73.1	7	9	16	1	3	2	5	2	4	5	0.16	7.69	50～54歳		
55～59歳	1,403	39	2.8	31	79.5	9	19	24		12		3	3	6	10	3	11	0.21	7.69	55～59歳
60～64歳	1,601	89	5.6	73	82.0	18	32	49	2	22	6	6	3	11	44	2	15	0.19	3.37	60～64歳
65～69歳	1,022	948	74	58	78.4	12	23	41		20	3	5	3	9	31	6	10	0.29	4.05	65～69歳
70～74歳	550	492	58	48	82.8	13	27	33		9	3	5	4	3	30	7	8	0.73	6.90	70～74歳
75～79歳	113	104	9	7	77.8	1	2	6		1	1				4	1	2			75～79歳
80歳以上	15	12	3																	80歳以上
計	6,854	6,547	307	4.5	78.2	61	113	172	3	68	15	24	15	33	125	23	54	0.22	4.89	計
50歳未満	870	861	9	1.0	44.4	1	1	3		1					1		3			50歳未満
50歳以上	5,984	5,686	298	5.0	79.2	60	112	169	3	67	15	24	15	33	124	23	51	0.25	5.03	50歳以上
計	6,854	6,547	307	4.5	78.2	61	113	172	3	68	15	24	15	33	125	23	54	0.22	4.89	計

(8) 特定健康診査

<健診方法>

対 象 者 : 公的医療保険に加入している40歳から74歳の被保険者・被扶養者

方 法 : 健診対象者全員が受ける「基本的な健診」と医師が必要とした場合に選択的に受ける「詳細な健診」を実施

<健診項目>

○基本的な健診項目

質問項目、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(AST、ALT、 γ -GTP)、血糖検査(空腹時血糖、HbA1c)、尿検査(尿糖、尿蛋白)

○詳細な健診項目

心電図検査、眼底検査、貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)、クレアチニンのうち、一定の基準に該当し、医師が必要と判断した項目

<結 果>

1.受診者数は34,054人で男女比は男性が14,399人(42.3%)、女性が19,655人(57.7%)と女性の割合が高かった。

また、受診者の年齢構成は、男性が70歳代が最も多く42.0%、女性は60歳代で39.9%であった。

2.異常率が高い検査項目は、血糖・HbA1cが59.8%、脂質56.8%、血圧56.2%であった。性別では、男性で血糖・HbA1c66.2%、血圧60.5%、脂質57.0%であり、女性で脂質56.6%、血糖・HbA1c55.2%、血圧53.1%であった。

<当年実績>

(人)

	基本的な健診項目	詳細な健診項目			
		心電図検査	眼底検査	貧血検査	クレアチニン
特定健康診査 (40～74歳)	34,054	32,090	29,668	30,378	31,699
若年者健康診断	2,839	2,551	2,401	2,632	1,550
後期高齢者 健康診断	15,599	15,560	14,332	15,610	15,610
合 計	52,492	50,201	46,401	48,620	48,859

< 検査項目の受診者数及び有所見者数 >

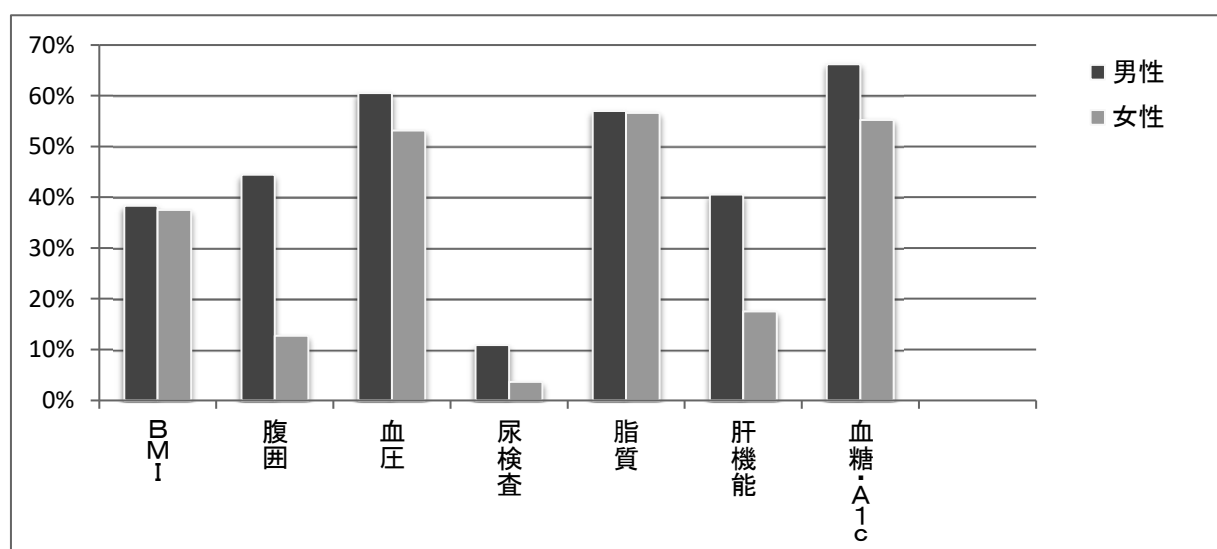
(1)基本的な健診項目

(人)

区分		BMI		腹囲		血 圧		尿検査	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	40～49歳	1,700	744	1,700	738	1,700	745	1,698	97
	50～59歳	1,604	723	1,605	743	1,605	895	1,604	148
	60～69歳	5,047	1,920	5,047	2,289	5,047	3,196	5,042	566
	70～74歳	6,047	2,128	6,046	2,617	6,047	3,878	6,047	753
	計	14,398	5,515	14,398	6,387	14,399	8,714	14,391	1,564
女	40～49歳	1,998	750	1,997	218	1,998	469	1,998	44
	50～59歳	2,560	1,025	2,560	372	2,560	1,042	2,559	73
	60～69歳	7,841	2,805	7,841	1,003	7,841	4,301	7,838	266
	70～74歳	7,256	2,614	7,255	907	7,256	4,621	7,254	316
	計	19,655	7,194	19,653	2,500	19,655	10,433	19,649	699
合 計		34,053	12,709	34,051	8,887	34,054	19,147	34,040	2,263

区分		脂 質		肝機能		血糖・HbA1c	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	40～49歳	1,697	1,139	1,697	905	1,697	799
	50～59歳	1,605	1,065	1,605	774	1,605	948
	60～69歳	5,047	2,899	5,047	2,075	5,047	3,362
	70～74歳	6,046	3,105	6,046	2,077	6,046	4,424
	計	14,395	8,208	14,395	5,831	14,395	9,533
女	40～49歳	1,997	848	1,997	250	1,997	510
	50～59歳	2,559	1,581	2,559	558	2,559	1,052
	60～69歳	7,839	4,713	7,839	1,495	7,839	4,462
	70～74歳	7,256	3,990	7,256	1,136	7,256	4,817
	計	19,651	11,132	19,651	3,439	19,651	10,841
合 計		34,046	19,340	34,046	9,270	34,046	20,374

<検査項目別にみた有所見率>



(2) 詳細な健診項目

(人)

区分		貧 血 検 査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,446	13	—	—	1,433	74	5.2%
	50～59歳	1,420	19	5	26.3%	1,401	121	8.6%
	60～69歳	4,630	58	17	29.3%	4,572	667	14.6%
	70～74歳	5,641	39	20	51.3%	5,602	1,124	20.1%
	計	13,137	129	42	32.6%	13,008	1,986	15.3%
女	40～49歳	1,615	312	128	41.0%	1,303	342	26.2%
	50～59歳	2,113	495	80	16.2%	1,618	214	13.2%
	60～69歳	6,837	1,124	143	12.7%	5,713	674	11.8%
	70～74歳	6,676	609	124	20.4%	6,067	897	14.8%
	計	17,241	2,540	475	18.7%	14,701	2,127	14.5%
合計		30,378	2,669	517	19.4%	27,709	4,113	14.8%

(人)

区分		心 電 図 検 査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,553	485	106	21.9%	1,068	193	18.1%
	50～59歳	1,519	570	161	28.2%	949	241	25.4%
	60～69歳	4,883	1,980	707	35.7%	2,903	1,039	35.8%
	70～74歳	5,855	2,454	1,080	44.0%	3,401	1,522	44.8%
	計	13,810	5,489	2,054	37.4%	8,321	2,995	36.0%
女	40～49歳	1,686	547	101	18.5%	1,139	189	16.6%
	50～59歳	2,242	884	163	18.4%	1,358	274	20.2%
	60～69歳	7,340	2,963	797	26.9%	4,377	1,066	24.4%
	70～74歳	7,012	3,145	1,010	32.1%	3,867	1,191	30.8%
	計	18,280	7,539	2,071	27.5%	10,741	2,720	25.3%
合計		32,090	13,028	4,125	31.7%	19,062	5,715	30.0%

(人)

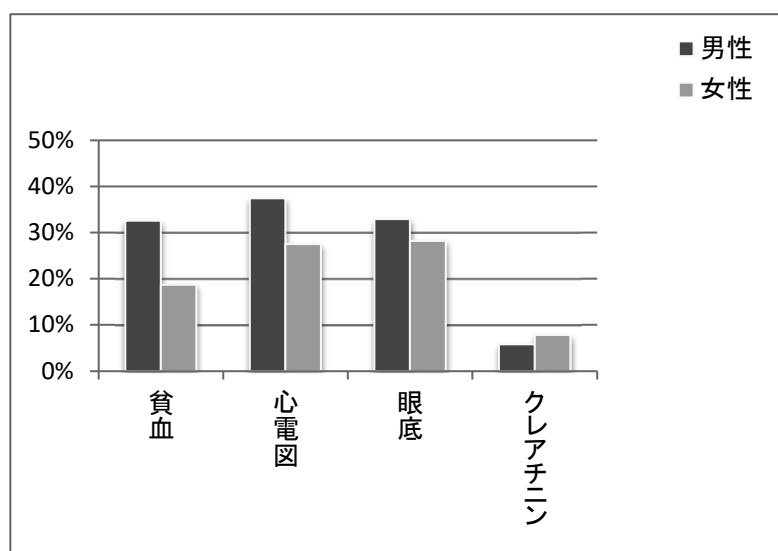
区分		眼 底 検 査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,430	392	45	11.5%	1,038	99	9.5%
	50～59歳	1,426	476	96	20.2%	950	157	16.5%
	60～69歳	4,647	1,724	576	33.4%	2,923	810	27.7%
	70～74歳	5,545	2,050	811	39.6%	3,495	1,150	32.9%
	計	13,048	4,642	1,528	32.9%	8,406	2,216	26.4%
女	40～49歳	1,533	230	29	12.6%	1,303	82	6.3%
	50～59歳	2,048	532	113	21.2%	1,516	218	14.4%
	60～69歳	6,678	1,913	538	28.1%	4,765	1,088	22.8%
	70～74歳	6,361	2,073	661	31.9%	4,288	1,226	28.6%
	計	16,620	4,748	1,341	28.2%	11,872	2,614	22.0%
合計		29,668	9,390	2,869	30.6%	20,278	4,830	23.8%

(人)

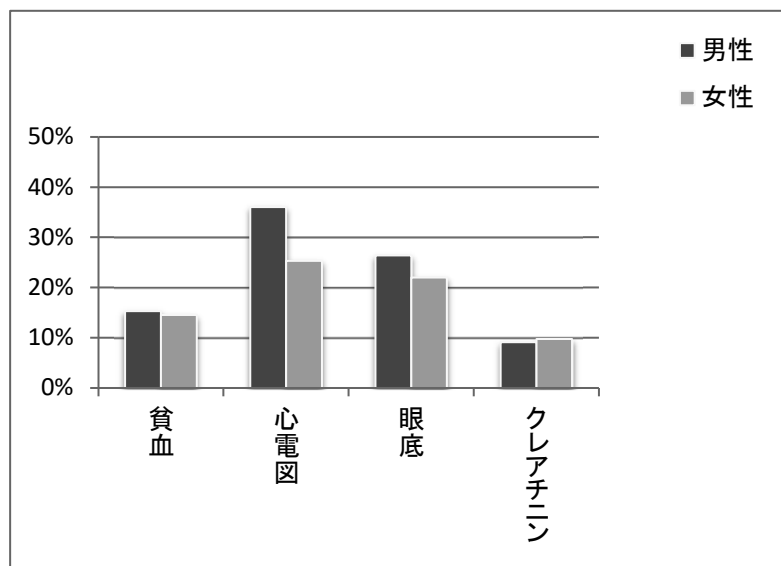
区分		クレアチニン						
		受診者数	該当実施		有所見率	該当外実施		有所見率
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,551	978	20	2.0%	573	10	1.7%
	50～59歳	1,535	1,054	46	4.4%	481	23	4.8%
	60～69歳	4,908	3,745	207	5.5%	1,163	119	10.2%
	70～74歳	5,932	4,814	342	7.1%	1,118	152	13.6%
	計	13,926	10,591	615	5.8%	3,335	304	9.1%
女	40～49歳	1,466	700	36	5.1%	766	29	3.8%
	50～59歳	2,083	1,378	101	7.3%	705	63	8.9%
	60～69歳	7,192	5,446	404	7.4%	1,746	182	10.4%
	70～74歳	7,032	5,653	488	8.6%	1,379	171	12.4%
	計	17,773	13,177	1,029	7.8%	4,596	445	9.7%
合計		31,699	23,768	1,644	6.9%	7,931	749	9.4%

<該当・該当外別にみた有所見率>

(該当実施)



(該当外実施)



(9) 特定保健指導

<支援方法>

対象者：特定健康診査を受けた全ての者

方法：特定健康診査結果および質問事項から、生活習慣病のリスクに応じて「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」、「積極的支援(動機付け支援相当)」に階層化し、その後、特定保健指導を実施。実施率をあげるため、健診当日に階層化を実施し、同日に初回面接を行う。一部、健診後日にも初回面接を実施。

○対象者の定義

「情報提供」：特定健康診査を受けた全ての者

「動機付け支援」・「積極的支援」：特定健康診査の結果により、健康の保持に努める必要がある者

「積極的支援(動機付け支援相当)」

：2年連続して積極的支援に該当した者のうち、1年目に比べ2年目の状態が一定の基準以上改善した者

○支援内容

「情報提供」：健診結果と同時に情報提供パンフレットを送付

「動機付け支援」：初回時に1回のみ面接による支援を行い、3ヵ月以上経過後に実績評価を行う。
実績評価は電話または個別面接にて実施。

「積極的支援」：初回時に面接による支援を行い、その後3ヵ月以上の継続的な支援(食事・運動のグループ支援、電話、手紙、メール)を行う。また、3ヵ月以上経過後に実績評価を行う。
実績評価は電話または個別面接にて実施。

「積極的支援(動機付け支援相当)」

：積極的支援または、動機付け支援を実施する。

どちらの支援を実施するかは、各医療従事者が対象者に応じて判断する。

○支援実施者

- ・保健師
- ・管理栄養士
- ・健康運動指導士(保健師・管理栄養士が兼務)

<結果>

- 令和5年度メタボリックシンドローム該当者および予備群該当者数・該当率は、16,347人・26.3%となり、内訳は男性12,764人・41.7%、女性3,583人・11.4%と、男性が約3.6倍となった。また、特定保健指導階層化状況において、動機・積極的・動機付け支援相当該当者数・該当率は7,830人・12.6%、内訳は男性5,403人・17.6%、女性2,427人・7.7%と、男性が約2.3倍となった。
- 令和5年度 特定保健指導利用者数・利用率は、5,337人・68.2%であった。支援レベル別利用者数・利用率は、動機付け支援では男性1,605人・67.3%、女性1,249人・68.4%、積極的支援では男性2,051人・67.9%、女性432人・71.8%だった。また、特定保健指導中断者数・中断率は、1,044人・19.6%であった。支援レベル別中断者数・中断率は、動機付け支援では男性55人・3.4%、女性40人・3.2%、積極的支援では男性758人・37.0%、女性191人・44.2%と、男女共に積極的支援の中断率が高くなった。動機付け支援では男女間での差はないが、積極的支援においては、男性より女性の中断率が高くなった。
- 令和5年度特定保健指導改善状況は、身体測定値、栄養・食生活、身体活動において、動機付け支援よりも積極的支援利用者の方が高い改善率であった。また、身体活動の改善率は、栄養・食生活改善率と比較して低かった。喫煙については、非喫煙者の割合が動機付け支援に比べ積極的支援に少なく、禁煙の意志がない者が多かった。動機付け支援・積極的支援ともに、女性より男性の喫煙者の割合が高かった。

＜令和5年度 メタボリックシンドローム該当者・特定保健指導階層化状況＞

(人・%)

	受診者数		メタボリックシンドローム該当者状況						特定保健指導階層化状況							
	男性	女性	メタボ		予備群		メタボ・予備群合計		動機付け支援		積極的支援		動機付け支援相当		合計	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	30,642	31,542	8,319 (27.1)	2,291 (7.3)	4,445 (14.5)	1,292 (4.1)	12,764 (41.7)	3,583 (11.4)	2,384 (7.8)	1,825 (5.8)	2,875 (9.4)	585 (1.9)	144 (0.5)	17 (0.05)	5,403 (17.6)	2,427 (7.7)
	62,184		10,610 (17.1)		5,737 (9.2)		16,347 (26.3)		4,209 (6.8)		3,460 (5.6)		161 (0.3)		7,830 (12.6)	
山形C	8,946	9,237	2,311 (25.8)	725 (7.8)	1,334 (14.9)	360 (3.9)	3,645 (40.7)	1,085 (11.7)	738 (8.2)	497 (5.4)	645 (7.2)	135 (1.5)	38 (0.4)	10 (0.11)	1,421 (15.9)	642 (7.0)
	18,183		3,036 (16.7)		1,694 (9.3)		4,730 (26.0)		1,235 (6.8)		780 (4.3)		48 (0.3)		2,063 (11.3)	
庄内C	6,397	6,390	1,662 (26.0)	378 (5.9)	793 (12.4)	205 (3.2)	2,455 (38.4)	583 (9.1)	493 (7.7)	372 (5.8)	669 (10.5)	133 (2.1)	29 (0.5)	1 (0.02)	1,191 (18.6)	506 (7.9)
	12,787		2,040 (16.0)		998 (7.8)		3,038 (23.8)		865 (6.8)		802 (6.3)		30 (0.2)		1,697 (13.3)	
最上C	5,733	5,488	1,677 (29.3)	416 (7.6)	794 (13.8)	223 (4.1)	2,471 (43.1)	639 (11.6)	417 (7.3)	341 (6.2)	618 (10.8)	107 (1.9)	43 (0.8)	3 (0.05)	1,078 (18.8)	451 (8.2)
	11,221		2,093 (18.7)		1,017 (9.1)		3,110 (27.7)		758 (6.8)		725 (6.5)		46 (0.4)		1,529 (13.6)	
米沢C	4,197	4,596	1,191 (28.4)	360 (7.8)	669 (15.9)	216 (4.7)	1,860 (44.3)	576 (12.5)	315 (7.5)	284 (6.2)	460 (11.0)	100 (2.2)	12 (0.3)	1 (0.02)	787 (18.8)	385 (8.4)
	8,793		1,551 (17.6)		885 (10.1)		2,436 (27.7)		599 (6.8)		560 (6.4)		13 (0.1)		1,172 (13.3)	
南陽C	5,369	5,831	1,478 (27.5)	412 (7.1)	855 (15.9)	288 (4.9)	2,333 (43.5)	700 (12.0)	421 (7.8)	331 (5.7)	483 (9.0)	110 (1.9)	22 (0.4)	2 (0.03)	926 (17.2)	443 (7.6)
	11,200		1,890 (16.9)		1,143 (10.2)		3,033 (27.1)		752 (6.7)		593 (5.3)		24 (0.2)		1,369 (12.2)	

※ 受診者数は特定保健指導を受託している医療保険者の特定健康診査数を掲載

＜令和5年度 特定保健指導 利用および改善状況＞

(人・%)

	該当者数	特定保健指導利用者数						特定保健指導中断者数					
		動機付け支援		積極的支援		合計		動機付け支援		積極的支援		合計	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	7,830	1,605 (67.3)	1,249 (68.4)	2,051 (67.9)	432 (71.8)	3,656 (67.7)	1,681 (69.3)	55 (3.4)	40 (3.2)	758 (37.0)	191 (44.2)	813 (22.2)	231 (13.7)
		2,854 (67.8)		2,483 (68.6)		5,337 (68.2)		95 (3.3)		949 (38.2)		1,044 (19.6)	
山形C	2,063	561 (76.0)	353 (71.0)	520 (76.1)	122 (84.1)	1,081 (76.1)	475 (74.0)	21 (3.7)	14 (4.0)	203 (39.0)	54 (44.3)	224 (20.7)	68 (14.3)
		914 (74.0)		642 (77.5)		1,556 (75.4)		35 (3.8)		257 (40.0)		292 (18.8)	
庄内C	1,697	365 (74.0)	271 (72.8)	453 (64.9)	85 (63.4)	818 (68.7)	356 (70.4)	21 (5.8)	11 (4.1)	147 (32.5)	39 (45.9)	168 (20.5)	50 (14.0)
		636 (73.5)		538 (64.7)		1,174 (69.2)		32 (5.0)		186 (34.6)		218 (18.6)	
最上C	1,529	242 (58.0)	230 (67.4)	389 (58.9)	70 (63.6)	631 (58.5)	300 (66.5)	5 (2.1)	7 (3.0)	112 (28.8)	20 (28.6)	117 (18.5)	27 (9.0)
		472 (62.3)		459 (59.5)		931 (60.9)		12 (2.5)		132 (28.8)		144 (15.5)	
米沢C	1,172	226 (71.7)	208 (73.2)	347 (73.5)	74 (73.3)	573 (72.8)	282 (73.2)	6 (2.7)	6 (2.9)	137 (39.5)	43 (58.1)	143 (25.0)	49 (17.4)
		434 (72.5)		421 (73.5)		855 (73.0)		12 (2.8)		180 (42.8)		192 (22.5)	
南陽C	1,369	211 (50.1)	187 (56.5)	342 (67.7)	81 (72.3)	553 (59.7)	268 (60.5)	2 (0.9)	2 (1.1)	159 (46.5)	35 (43.2)	161 (29.1)	37 (13.8)
		398 (52.9)		423 (68.6)		821 (60.0)		4 (1.0)		194 (45.9)		198 (24.1)	

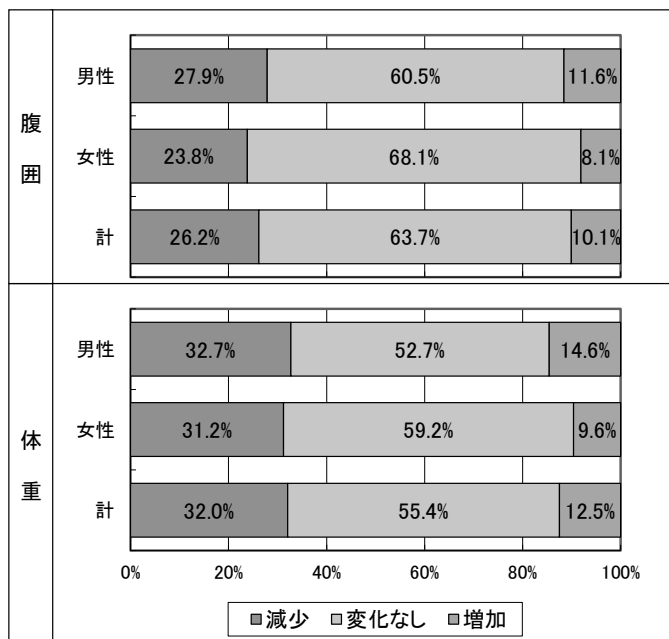
※(利用者割合)＝利用者数／対象者数

※(中断者割合)＝中断者数／利用者数

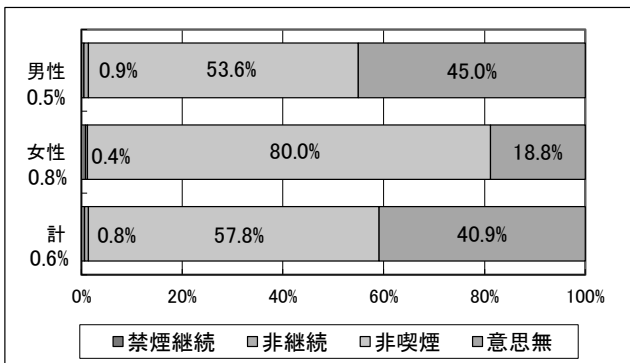
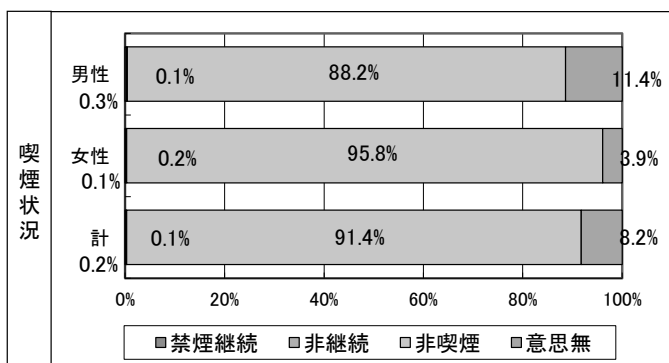
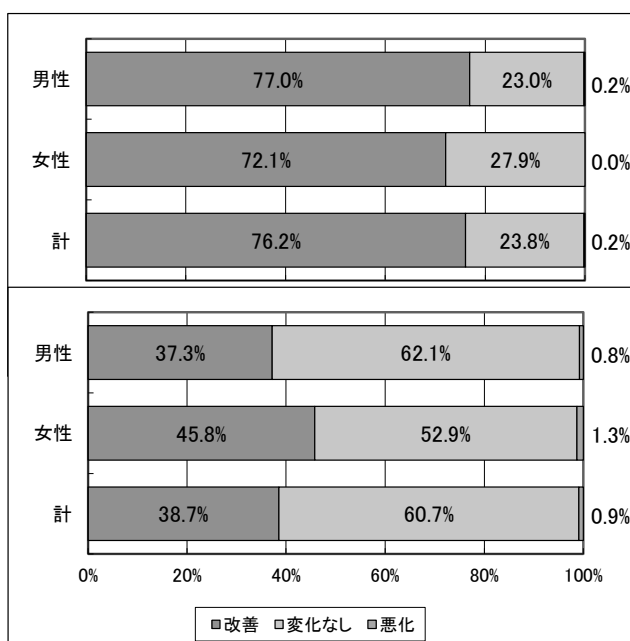
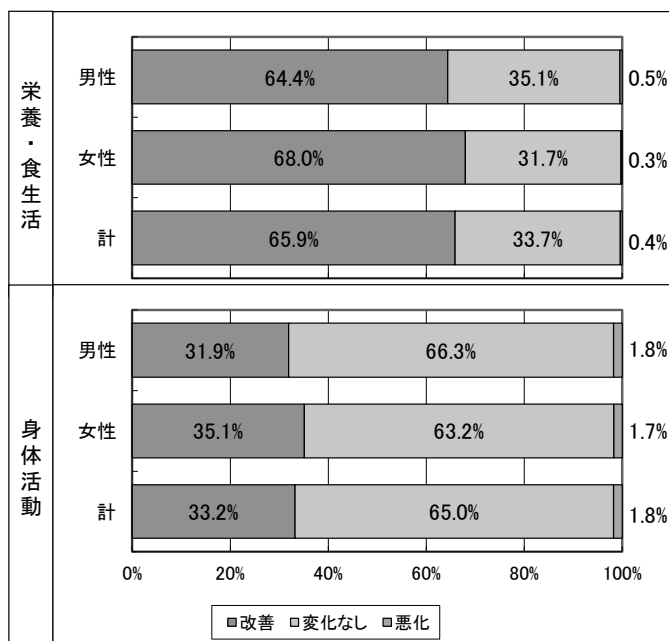
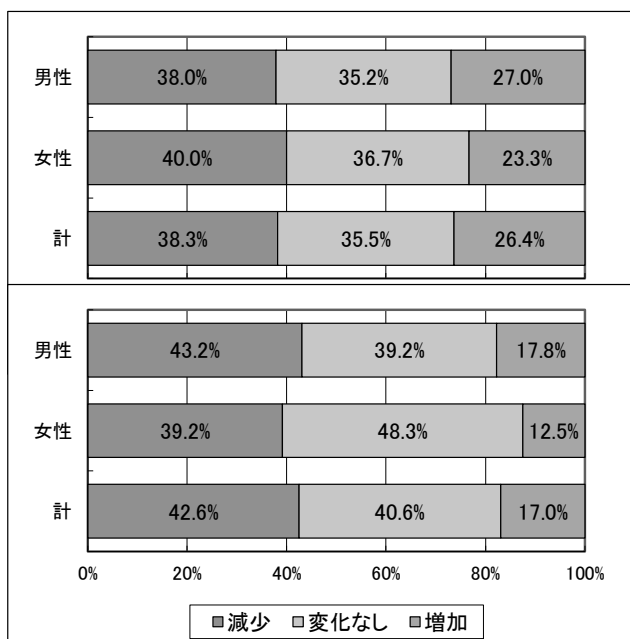
※動機付け支援相当は積極的支援に含む

＜令和5年度 特定保健指導改善状況＞

動機付け支援



積極的支援



(10) 人間ドック

< 健診方法 >

対象者:地域住民及び職域職員(概ね40歳以上)

方 法 :標準として、男性コースと女性コースの2種類があり、希望により喀痰細胞診検査、腹部超音波検査、前立腺がん検診、心筋疲労度検査、尿中アルブミン量、呼吸機能検査、甲状腺機能検査、骨粗鬆症検診、血圧脈波検査、眼圧測定を追加し実施

< 結 果 >

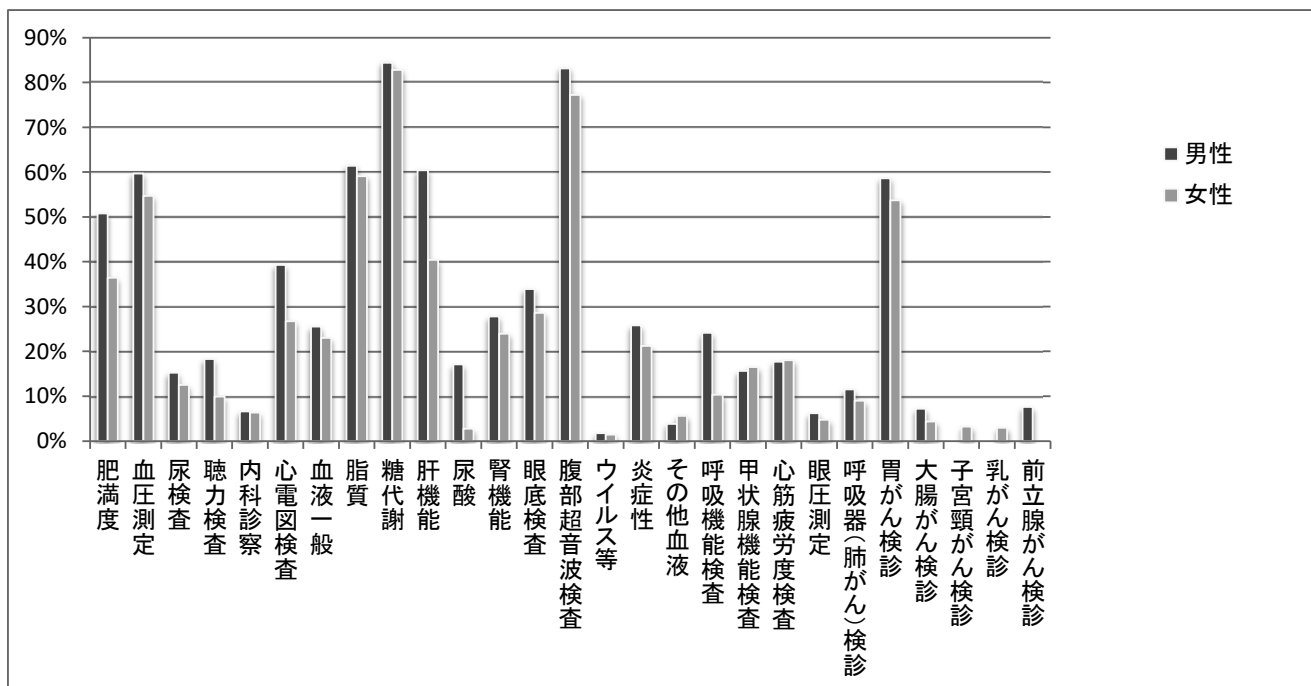
1. 受診者数は33,201人、内訳は地域住民28,535人、職域職員4,666人であった。男女比は 男性15,125人(45.6%)、女性18,076人(54.4%)と女性の割合が高かった。
また、受診者の年齢構成は、男女ともに70歳以上が最も多く、その割合は男性49.2%、女性44.0%であった。
2. 有所見率は全体で99.7%であった。性別では男性が99.9%、女性が99.5%とほぼ同率であった。
3. 検査項目別有所見率では、男女とも糖代謝(男性84.4%・女性82.8%)が最も高かった。次いで、男女ともに腹部超音波検査(男性83.1%・女性77.2%)脂質(男性61.4%・女性59.1%)の順であった。

< 当年度実績 >

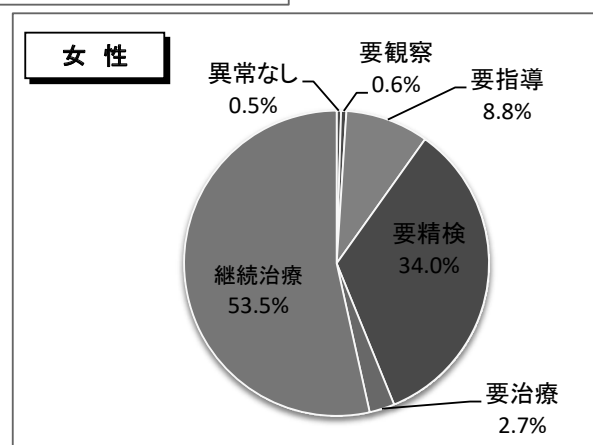
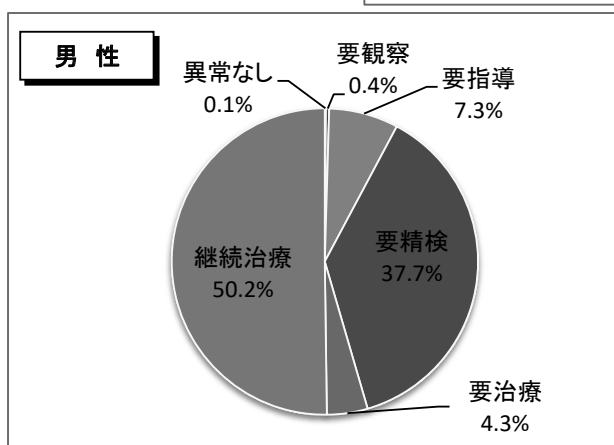
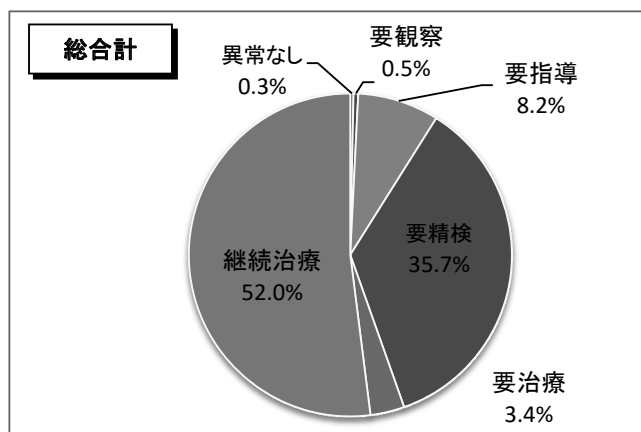
(人)

受診者数 A	内訳		有所見者数 B	有所見率 B/A
	地域住民	職域職員		
33,201	28,535	4,666	33,097	99.7%

<検査項目別にみた有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区 分	肥満度		血 圧		尿検査		聴 力		内科診察		心電図		血液一般		脂質		糖代謝		肝機能		尿酸		腎機能		眼底		眼圧		
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数			
男	29歳以下	37	19	37	11	37	3	34	-	37	7	37	7	37	5	37	18	37	13	37	25	37	9	37	2	37	1	10	2
	30～39歳	211	102	211	65	211	18	178	2	211	41	211	41	211	139	211	103	211	103	211	146	211	60	211	6	211	11	97	13
	40～49歳	1,602	824	1,602	685	1,602	160	806	29	1,602	28	1,602	28	1,602	281	1,602	1,140	1,602	1,084	1,602	1,071	1,602	414	1,602	120	1,598	202	528	64
	50～59歳	1,944	1,066	1,944	1,032	1,944	281	979	103	1,944	49	1,943	514	1,944	359	1,944	1,356	1,944	1,533	1,944	1,303	1,944	453	1,944	278	1,930	413	746	66
	60～69歳	3,893	2,087	3,893	2,436	3,892	595	638	168	3,892	187	3,890	1,379	3,893	861	3,893	2,474	3,893	3,374	3,893	2,378	3,893	684	3,893	940	3,816	1,351	1,325	78
70歳以上	7,438	3,593	7,438	4,788	7,436	1,239	385	247	7,438	736	7,422	3,688	7,438	2,311	7,438	4,156	7,438	6,652	7,438	4,213	7,438	964	7,438	2,859	7,177	3,029	2,062	72	
計	15,125	7,691	15,125	9,037	15,122	2,296	3,000	549	15,124	1,005	15,105	5,935	15,125	3,858	15,125	9,283	15,125	12,759	15,125	9,136	15,125	2,584	15,125	4,205	14,769	5,007	4,768	295	
女	29歳以下	37	17	37	2	37	2	32	-	37	3	37	3	37	11	37	13	37	10	37	19	37	1	37	-	37	-	4	-
	30～39歳	144	55	144	19	144	11	121	1	144	5	144	20	144	58	144	57	144	56	144	56	144	-	144	1	144	2	34	2
	40～49歳	1,626	563	1,626	367	1,626	148	643	11	1,626	74	1,626	250	1,625	589	1,625	739	1,625	814	1,625	608	1,625	36	1,625	99	1,621	162	514	39
	50～59歳	2,371	903	2,371	971	2,370	289	892	35	2,371	104	2,367	486	2,371	520	2,371	1,528	2,371	1,754	2,371	1,048	2,371	68	2,371	308	2,338	426	886	53
	60～69歳	5,951	2,131	5,951	3,248	5,949	790	549	72	5,951	305	5,934	1,427	5,951	1,101	5,951	3,808	5,951	5,177	5,951	2,450	5,951	173	5,951	1,276	5,737	1,661	1,867	94
70歳以上	7,947	2,909	7,947	5,281	7,945	1,016	324	135	7,945	649	7,914	2,624	7,947	1,882	7,947	4,531	7,947	7,153	7,947	3,118	7,947	205	7,947	2,631	7,539	2,730	1,874	56	
計	18,076	6,578	18,075	9,888	18,071	2,256	2,561	254	18,074	1,138	18,022	4,810	18,075	4,161	18,075	10,676	18,075	14,964	18,075	7,289	18,075	483	18,075	4,316	17,416	4,981	5,179	244	
合 計	33,201	14,269	33,200	18,925	33,193	4,552	5,561	803	33,198	2,143	33,127	10,745	33,200	8,019	33,200	19,959	33,200	27,723	33,200	16,435	33,200	3,067	33,200	8,521	32,185	9,988	9,947	539	

区 分	腹部超音波		ウイルス等		炎症性		その他血液		呼吸機能検査		甲状腺機能検査		心筋疲労度検査		呼吸器（肺がん）		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん		前立腺がん	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	29歳以下	7	3	37	-	37	8	2	-	1	-	8	-	2	-	37	-	10	-	25	-	-	-	-	4	-
	30～39歳	128	67	209	-	211	45	52	1	58	5	11	-	4	-	210	9	182	57	195	12	-	-	60	-	
	40～49歳	796	559	1,017	5	1,390	322	319	11	301	59	66	11	92	2	1,587	57	1,384	515	1,544	53	-	-	382	4	
	50～59歳	1,114	905	1,378	8	1,801	442	435	16	422	75	101	10	147	6	1,915	126	1,632	810	1,879	90	-	-	817	20	
	60～69歳	1,968	1,679	2,342	41	3,809	947	288	14	258	74	257	38	410	41	3,803	387	2,876	1,702	3,693	273	-	-	2,009	128	
70歳以上	3,967	3,419	3,990	95	7,434	2,026	350	14	213	89	602	104	1,041	252	7,134	1,114	4,504	3,119	6,971	606	-	-	3,790	386		
計	7,980	6,632	8,973	149	14,682	3,790	1,456	56	1,253	302	1,045	163	1,696	301	14,686	1,693	10,588	6,203	14,307	1,034	-	-	7,062	538		
女	29歳以下	3	1	37	-	37	6	-	-	-	-	3	2	-	-	35	-	3	-	21	-	10	2	-	-	
	30～39歳	68	26	144	-	144	36	28	2	19	-	9	2	3	-	140	3	94	32	121	4	93	5	78	4	
	40～49歳	609	361	1,169	1	1,579	278	177	28	116	4	132	16	69	4	1,592	36	1,187	396	1,422	52	1,187	96	1,268	69	
	50～59歳	1,150	826	1,750	9	2,349	459	305	14	241	27	245	43	204	6	2,307	115	1,631	681	2,214	72	1,668	98	1,794	63	
	60～69歳	2,969	2,340	3,764	63	5,940	1,258	275	14	125	19	470	74	527	60	5,758	501	3,640	1,930	5,697	216	3,926	81	4,120	120	
70歳以上	4,409	3,552	4,280	79	7,943	1,766	478	13	84	10	643	111	955	246	7,616	913	3,877	2,560	7,553	381	4,785	86	5,198	102		
計	9,208	7,106	11,144	152	17,992	3,823	1,263	71	585	60	1,502	248	1,758	316	17,448	1,568	10,432	5,599	17,028	725	11,669	368	12,458	358		
合 計	17,188	13,738	20,117	301	32,674	7,613	2,719	127	1,838	362	2,547	411	3,454	617	32,134	3,261	21,020	11,802	31,335	1,759	11,669	368	12,458	358	7,062	538

<検査科定員数>

	(人)	
	男	女
異常なし	17	87
要観察	53	100
要指導	1,109	1,597
要精検	5,701	6,140
要治療	651	484
継続治療	7,594	9,668

(11) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

<健診方法>

対象者

一般健診:被保険者のうち、当該年度において35歳から75歳未満の者

付加健診:一般健診を受診する者のうち、当該年度において40歳および50歳の者

子宮頸がん検診:当該年度20～74歳の偶数年齢の者(36歳以上は一般健診を受診する者)

乳がん検診:一般健診を受診する者のうち、当該年度において40歳から74歳の偶数年齢の者

肝炎ウイルス検査:一般健診を受診する者のうち、過去に受診したことのない者

方法

一般健診:問診、計測、内科診察、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、呼吸器検診
胃がん検診、大腸がん検診

付加健診:一般健診項目に眼底検査、腹部超音波検査など6項目の検査を追加

子宮頸がん検診:問診、双合診、細胞診

乳がん検診:問診、乳房エックス線撮影検査

肝炎ウイルス検査:HCV抗体検査、HBs抗原検査

<結 果>

1. 受診者数は36,672人、内訳は一般健診35,583人、付加健診1,089人であり、男女比は男性19,974人(54.5%)、女性16,698人(45.5%)と男性の割合が高かった。

また、受診者の年齢構成は男性は40歳～49歳(30.9%)、女性は50歳～59歳(32.4%)が最も多かった。

2. 有所見率は全体で96.3%であった。性別では男性98.3%、女性93.9%と男性が高率であった。

3. 検査項目別有所見率は、男性は診察等(身長・体重・BMI・腹囲・内科診察・聴力)(77.1%)が最も高かった。次いで脂質(67.2%)、血圧(56.0%)の順であった。

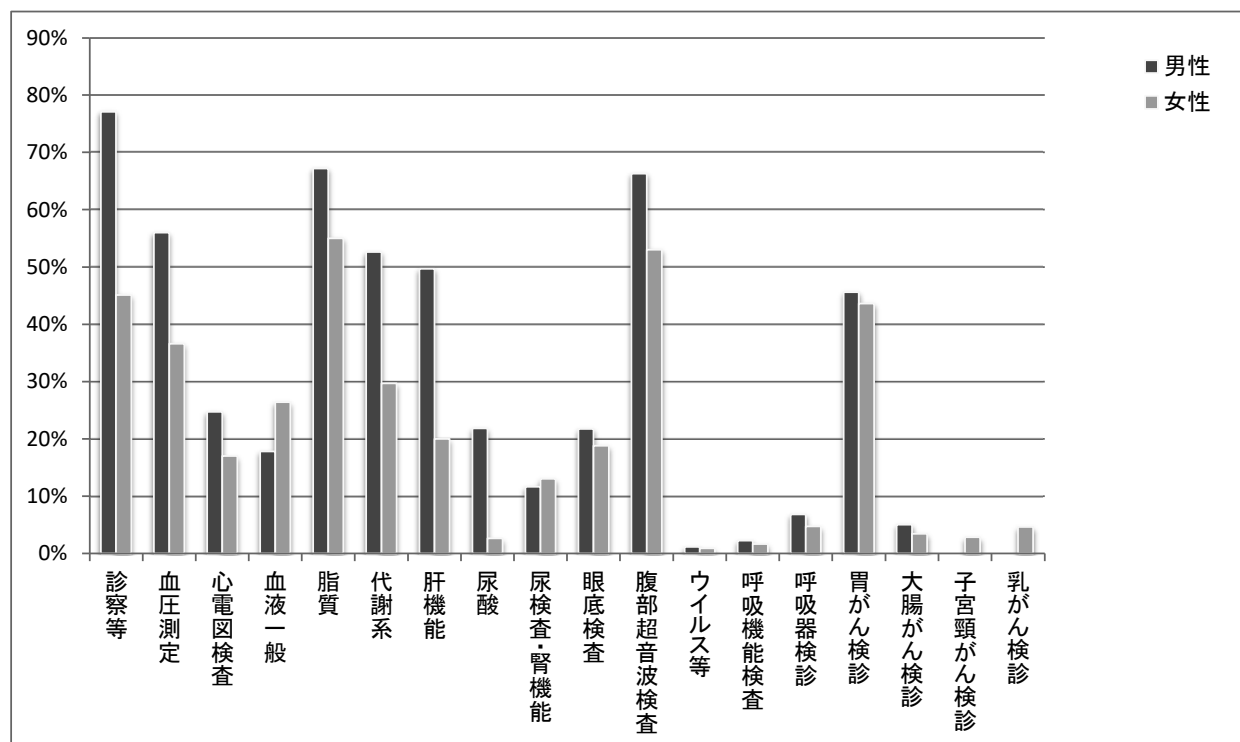
女性は、脂質(55.0%)が最も高かった。次いで診察等(45.1%)、胃がん検診(43.6%)の順であった。

<当年実績>

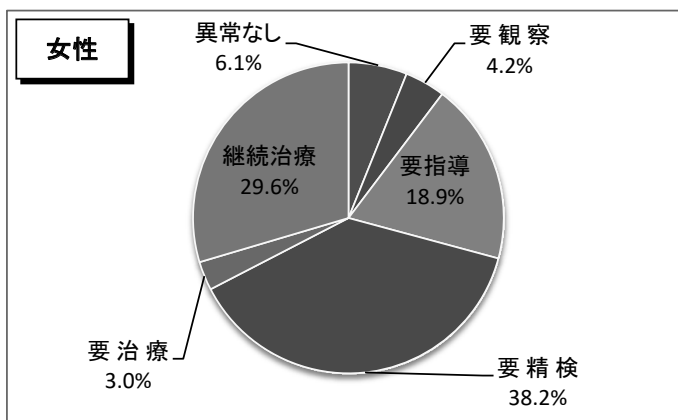
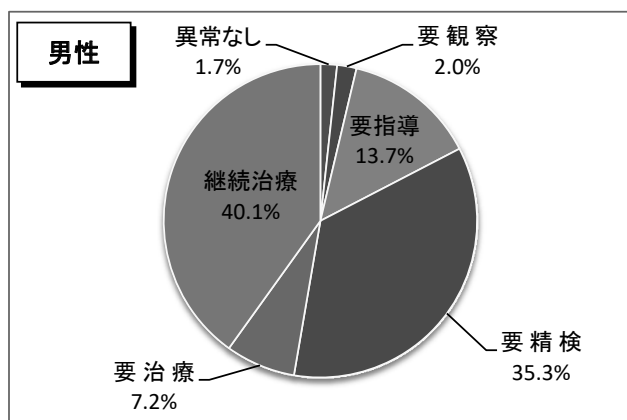
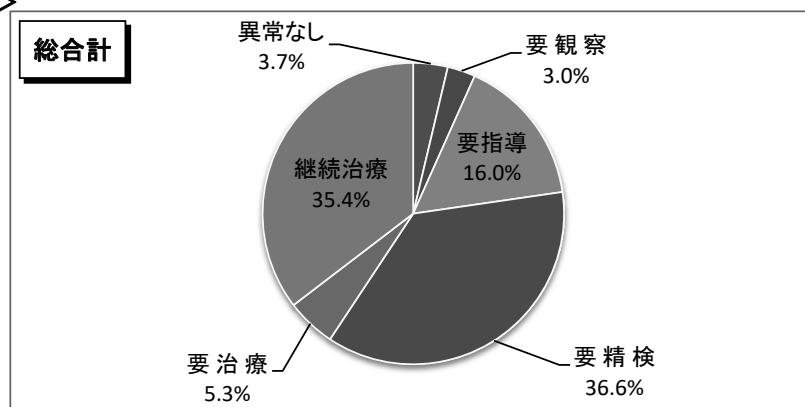
(人)

受診者数 A	内訳		有所見者数 B	有所見率 B/A
	一般健診	付加健診		
36,672	35,583	1,089	35,318	96.3%

<検査項目別有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区 分		診察等		血圧		心電図		血液一般		脂 質		代謝系		肝機能		尿酸		尿検査・腎機能		眼底		腹部超音波		ウイルス等	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	29歳以下																								
	30～39歳	2,305	1,185	2,305	847	2,305	372	2,303	243	2,303	1,483	2,303	679	2,303	1,121	2,303	612	2,305	77	657	61			39	-
	40～49歳	6,175	3,446	6,175	3,045	6,175	1,180	6,175	869	6,175	4,297	6,175	2,735	6,175	3,253	6,175	1,552	6,175	360	2,718	352	277	171	81	-
	50～59歳	5,654	6,313	5,654	3,406	5,650	1,350	5,654	1,080	5,654	3,929	5,654	3,217	5,654	2,951	5,654	1,248	5,654	660	2,933	645	326	229	98	-
	60～69歳	4,751	3,518	4,751	3,165	4,746	1,596	4,750	1,100	4,750	3,084	4,750	3,133	4,750	2,185	4,750	789	4,751	944	2,549	782			119	4
	70歳以上	1,089	928	1,089	724	1,089	434	1,089	268	1,089	634	1,089	733	1,089	424	1,089	156	1,089	282	546	201			27	-
	計	19,974	15,390	19,974	11,187	19,965	4,932	19,971	3,560	19,971	13,427	19,971	10,497	19,971	9,934	19,971	4,357	19,974	2,323	9,403	2,041	603	400	364	4
女	29歳以下																								
	30～39歳	2,055	864	2,055	310	2,055	236	2,054	670	2,054	751	2,054	230	2,054	229	2,054	32	2,055	138	390	29			50	-
	40～49歳	5,363	2,293	5,363	1,524	5,360	711	5,363	1,930	5,363	2,493	5,363	1,167	5,363	767	5,363	104	5,363	520	1,753	195	224	91	78	1
	50～59歳	5,416	2,427	5,416	2,177	5,414	990	5,410	1,128	5,410	3,442	5,410	1,799	5,410	1,388	5,410	174	5,416	759	2,379	447	299	186	104	1
	60～69歳	3,425	1,700	3,424	1,819	3,423	767	3,424	601	3,424	2,246	3,424	1,528	3,424	843	3,424	104	3,425	643	1,603	450			81	1
	70歳以上	439	255	439	283	437	136	439	83	439	247	439	234	439	116	439	13	439	107	207	71			11	-
	計	16,698	7,539	16,697	6,113	16,689	2,840	16,690	4,412	16,690	9,179	16,690	4,958	16,690	3,343	16,690	427	16,698	2,167	6,332	1,192	523	277	324	3
	合 計	36,672	22,929	36,671	17,300	36,654	7,772	36,661	7,972	36,661	22,606	36,661	15,455	36,661	13,277	36,661	4,784	36,672	4,490	15,735	2,233	1,126	677	688	7

区 分		肺機能		呼吸器		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	29歳以下												
	30～39歳			2,301	66	1,908	584	2,190	78				
	40～49歳	193	2	6,154	257	4,976	1,815	5,923	207				
	50～59歳	217	7	5,624	386	4,384	2,078	5,438	288				
	60～69歳			4,694	482	3,321	1,993	4,535	293				
女	70歳以上			1,060	148	665	479	1,022	83				
	計	410	9	19,833	1,339	15,254	6,949	19,108	949				
	29歳以下									321	24		
	30～39歳			1,997	29	1,388	464	1,770	57	408	15	-	-
	40～49歳	179	2	5,309	149	3,499	1,317	4,696	143	1,492	64	1,700	99
合 計	50～59歳	202	4	5,359	256	3,460	1,552	5,030	162	1,417	27	1,691	71
	60～69歳			3,363	288	2,057	1,154	3,262	135	896	1	1,033	34
	70歳以上			425	47	223	151	408	15	101	-	132	5
	計	381	6	16,453	769	10,627	4,638	15,166	512	4,635	131	4,556	209
	合 計	791	15	36,286	2,108	25,881	11,587	34,274	1,461	4,635	131	4,556	209

*子宮頸がん検診単独分含む

<総合判定成績>

	男		女		計
	異常なし	334	1,020		1,354
要観察	393	709			1,102
要指導	2,730	3,153			5,883
要精査	7,060	6,375			13,435
要治療	1,437	499			1,936
継続治療	8,020	4,942			12,962

(12) 一般健康診断

< 健診方法 >

- 対 象 者 : 労働安全衛生法に基づく健康診断、他
- 健 診 項 目 : 既往歴及び業務歴の調査
自覚症状及び他覚症状の有無の確認
身長＊、体重、肥満度(BMI)＊、腹囲測定、視力、聴力検査＊、
呼吸器検診及び喀痰検査＊
血圧測定、内科診察、尿検査、貧血検査＊、肝機能検査＊、脂質検査＊、血糖
またはHbA1c検査＊、心電図検査＊
(注)＊は医師が必要でないと認める場合に省略できる健診項目

< 結 果 >

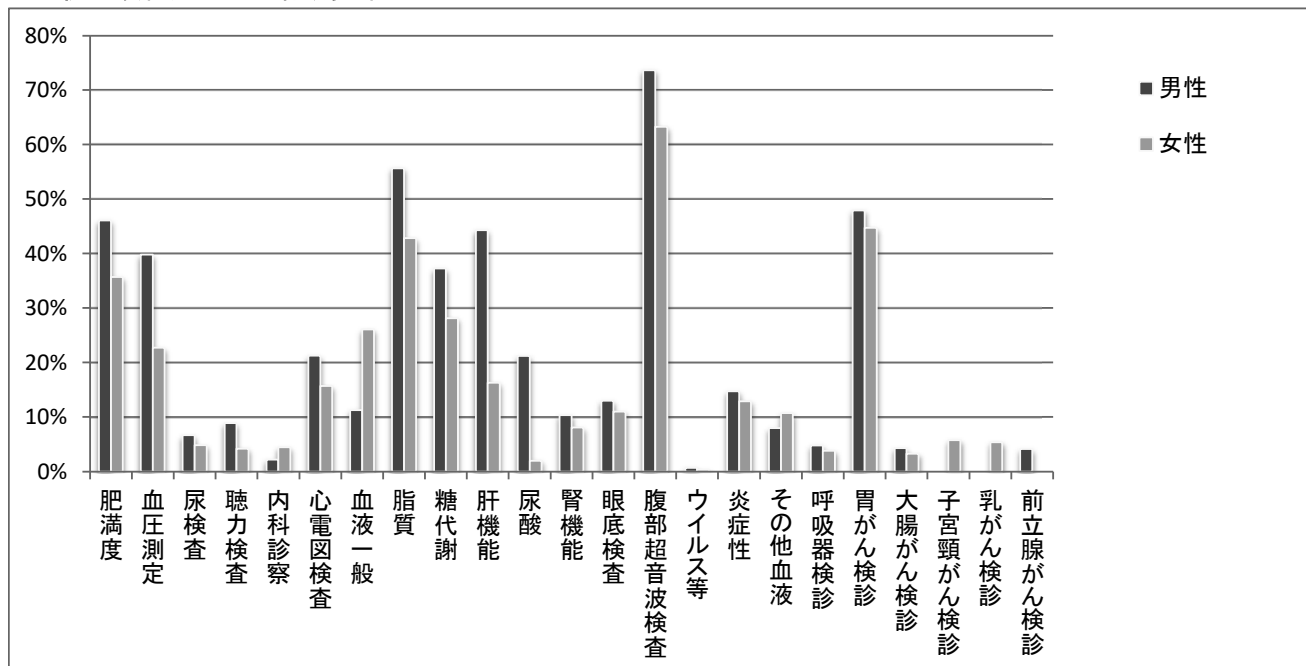
1. 受診者数は65,651人、男女比は男性36,609人(55.8%)、女性29,042人(44.2%)と男性の割合が高かった。
また、受診者の年齢構成は男女とも29歳以下が最も多く、その割合は男性25.4%、女性25.0%であった。
2. 有所見率は全体で84.3%であった。性別では男性87.6%、女性80.1%と男性が高率であった。
3. 検査項目別有所見率は、男性は脂質(55.6%)が最も高く、次いで、肥満度(46.1%)、肝機能(44.3%)の順であった。女性は、脂質(42.8%)が最も高く、次いで肥満度(35.7%)、糖代謝(28.1%)の順であった。また、追加項目の有所見率は、男女とも、腹部超音波検査が最も高率であった。

< 当年度実績 >

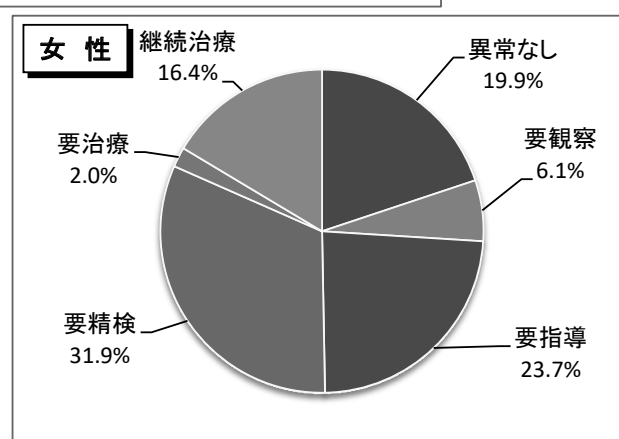
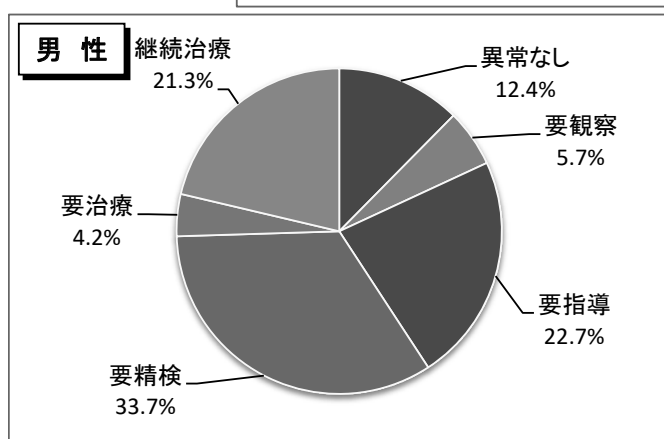
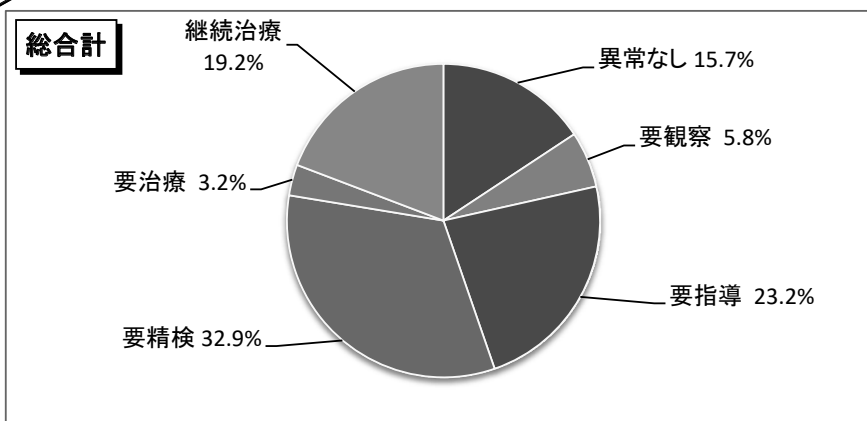
* 労働安全衛生規則による健康診断 (人)

受診者数 A	有所見者数 B	有所見率 B/A
65,651	55,311	84.3%

<検査項目別にみた有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区 分	肥満度		血圧		尿検査		聴力		内科診察		心電図		血液一般		脂質		糖代謝		肝機能		尿酸		腎機能		眼底	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	29歳以下	9,178	3,396	9,296	1,981	9,292	296	7,780	94	9,026	160	7,722	1,351	7,703	416	7,837	3,077	7,819	1,191	7,711	2,812	3,236	681	3,480	135	1,875
	30～39歳	8,920	4,087	9,122	2,775	9,119	302	8,127	138	8,848	114	8,121	1,338	8,147	631	8,269	4,705	8,257	2,033	8,172	3,690	4,122	1,055	4,361	175	2,633
	40～49歳	6,315	2,983	6,449	2,926	6,446	406	5,506	282	6,326	102	5,639	1,090	5,630	736	5,702	3,634	5,701	2,328	5,649	2,808	3,989	897	4,229	278	2,256
	50～59歳	6,701	3,552	6,767	3,832	6,756	740	6,015	744	6,648	150	6,035	1,411	6,042	875	6,104	3,996	6,099	3,516	6,051	2,949	4,524	902	4,614	648	2,859
	60～69歳	4,038	2,117	4,062	2,553	4,055	527	3,628	1,053	3,995	191	3,856	1,237	3,654	729	3,679	2,170	3,678	2,430	3,655	1,658	2,890	432	2,757	670	1,821
女	70歳以上	904	474	907	605	905	177	757	509	889	72	816	373	819	214	819	445	817	560	819	286	341	43	412	148	225
	計	36,056	16,609	36,603	14,572	36,573	2,448	31,813	2,820	35,732	789	31,989	6,800	31,995	3,601	32,410	18,027	32,371	12,058	32,057	14,203	18,902	4,010	19,853	2,054	11,469
	29歳以下	7,003	2,303	7,256	481	7,199	228	6,137	79	7,075	262	6,070	723	6,321	1,382	6,212	1,606	6,211	569	6,189	592	2,275	35	2,741	84	1,584
	30～39歳	6,377	2,261	6,587	766	6,534	261	5,901	80	6,429	253	5,985	738	6,118	1,799	6,108	2,068	6,083	863	6,112	764	2,900	38	3,447	100	2,092
	40～49歳	5,748	2,036	5,865	1,411	5,814	290	5,346	141	5,802	289	5,512	889	5,566	2,045	5,567	2,334	5,567	1,595	5,564	853	3,729	58	4,476	219	2,399
男	50～59歳	5,682	2,134	5,729	2,145	5,715	349	5,321	247	5,654	260	5,363	961	5,418	1,104	5,419	3,354	5,415	2,543	5,419	1,362	3,679	101	4,381	514	2,619
	60～69歳	2,948	1,145	2,971	1,392	2,964	216	2,756	348	2,911	153	2,781	598	2,815	519	2,814	1,765	2,817	1,596	2,814	679	1,718	52	1,985	388	1,258
	70歳以上	624	244	629	404	627	56	483	187	609	50	569	215	572	139	572	310	572	334	572	109	183	4	288	95	106
	計	28,362	10,123	29,037	6,599	28,853	1,400	25,944	1,082	28,480	1,267	26,280	4,124	26,810	6,988	26,692	11,437	26,865	7,500	26,670	4,359	14,484	288	17,318	1,400	10,058
	合 計	64,418	26,732	65,640	21,171	65,426	3,848	57,757	3,902	64,212	2,056	58,269	10,924	58,805	10,589	59,102	29,464	59,036	19,558	58,727	18,562	33,386	4,298	37,171	3,454	21,527

<総合判定成績>

	男		女		計
	異常なし	要観察	要指導	要精検	要治療
	4,553	2,069	8,315	12,318	1,544
	5,787	1,767	6,877	9,276	562
	10,340	3,836	15,192	21,594	2,106
					12,583

区 分	胸超音波		ウイルス等		炎症性		その他血液		呼吸器 (肺がん)		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん		前立腺がん	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	29歳以下	53	30	342	-	3	1	109	3	7,345	90	33	3	261	8				9	-
	30～39歳	454	256	313	1	6	1	95	5	7,359	161	1,024	342	871	31				28	-
	40～49歳	626	453	207	-	24	3	115	13	5,025	227	2,765	1,117	3,327	121				112	1
	50～59歳	730	579	193	5	18	2	121	10	5,503	407	3,057	1,513	3,851	167				1,083	26
	60～69歳	477	394	89	1	15	2	89	6	3,382	369	1,761	1,105	2,411	121				883	51
女	70歳以上	89	77	24	1	2	1	37	8	734	155	204	158	357	29				155	16
	計	2,429	1,789	1,168	8	68	10	566	45	29,348	1,409	8,844	4,238	11,078	477				2,270	94
	29歳以下	50	17	314	2	1	-	77	6	5,802	76	15	6	150	10	351	36	21	-	
	30～39歳	176	77	201	-	2	1	50	3	5,343	85	357	114	414	20	573	26	294	13	
	40～49歳	450	255	198	-	8	1	76	10	5,066	160	2,262	865	3,262	101	459	33	548	44	
男	50～59歳	562	393	250	-	7	-	83	4	4,932	306	2,215	1,012	3,590	99	481	24	578	27	
	60～69歳	301	221	162	2	12	2	64	10	2,544	232	1,003	595	1,780	65	259	4	319	12	
	70歳以上	49	41	42	-	1	-	23	7	499	56	84	62	184	11	50	2	63	2	
	計	1,588	1,004	1,167	4	31	4	373	40	24,186	915	5,936	2,654	9,380	306	2,173	125	1,823	98	
	合 計	4,017	2,793	2,335	12	99	14	939	85	53,534	2,324	14,780	6,892	20,458	783	2,173	125	1,823	98	94

(13) 特殊健康診断

< 検査方法 >

対 象 者 : 有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、鉛中毒予防規則、じん肺法施行規則、電離放射線障害防止規則、高気圧作業安全衛生規則に基づく業務に従事している者、及び指導勧奨による特殊健康診断の対象者

方 法 : 問診、他覚症状の有無の検査、尿検査、血液検査等の定められた検査

< 結 果 >

1. 受診者数は、有機溶剤健康診断3,847人、特定化学物質健康診断3,405人、鉛健康診断280人、じん肺健康診断677人、電離放射線健康診断1,139人、高気圧健康診断62人、騒音健康診断478人、情報機器作業健康診断10,023人であった。
2. 有所見率は、有機溶剤健康診断4.8%、特定化学物質健康診断(新特化物含む)11.8%、鉛健康診断2.9%、じん肺健康診断2.4%、電離放射線健康診断30.1%、高気圧健康診断22.6%、情報機器作業健康診断83.0%(自覚症状による有所見者を含む)だった。

< 当年度実績 >

(人)

特殊健康診断名	受診者数 A	一次検査	
		有所見者数 B	有所見率 B/A
有機溶剤健康診断	3,847	185	4.8%
特定化学物質健康診断(新特化物含む)	3,405	401	11.8%
鉛健康診断	280	8	2.9%
じん肺健康診断	677	16	2.4%
電離放射線健康診断	1,139	343	30.1%
高気圧健康診断	62	14	22.6%
騒音健康診断	478	—	—
情報機器作業健康診断	10,023	8,321	83.0%

※ 騒音健康診断についてはガイドラインに基づき令和4年度より
機構による健康診断結果評価は行っていない。

(14) 学校検診

<検診方法>

対象者：児童、生徒、幼児

方法：心電図検査、貧血検査、尿検査

<結 果>

- 心電図検査の受診者数は10,959人で、小学校2,639人、中学校3,195人、高等学校5,125人で、有所見率は全体で7.1%(779人)であった。
- 貧血検査の受診者数は1,669人で、有所見率は血色素4.1%(68人)、ヘマトクリット3.6%(60人)、赤血球数2.4%(40人)であった。
- 尿検査の受診者数は延べ18,181人で、疑・陽性率は尿糖0.3%(46人)、尿蛋白6.3%(1,139人)、尿潜血2.9%(536人)、ウロビリ0.0%(0人)であった。

<当年実績>

区 分	心 電 図 検 査				貧 血 検 査					
					血 色 素		ヘマトクリット		赤血球数	
	検査人数	異常なし	B判定	A判定	検査人数	有所見者数	検査人数	有所見者数	検査人数	有所見者数
幼稚園・保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	2,639	2,511	53	75	0	0	0	0	0	0
中学校	3,195	2,954	119	122	679	25	679	15	679	25
高等学校	5,125	4,715	213	197	990	43	990	45	990	15
合 計	10,959	10,180	385	394	1,669	68	1,669	60	1,669	40

※A判定:要精密検査 B判定:要再検査又は再検不要

区 分	尿 検 査								血液型 検査人数	
	糖		蛋 白		潜 血		ウロビリ			
	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	ABO式	Rh式
幼稚園・保育園	296	1	296	5	296	7	3	0	0	0
小学校	4,224	5	4,224	68	4,224	100	4	0	0	0
中学校	2,526	5	2,526	189	2,526	89	2	0	0	0
高等学校	11,135	35	11,135	877	11,135	340	8	0	0	0
合 計	18,181	46	18,181	1,139	18,181	536	17	0	0	0

(15) 腹部超音波検査

<検査方法>

対象者：人間ドックや総合健診等で受診を希望する者

方法：問診

対象臓器 肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓

使用機器 超音波診断装置22台

検者 臨床検査技師

判定 超音波専門医・消化器専門医

<結果とまとめ>

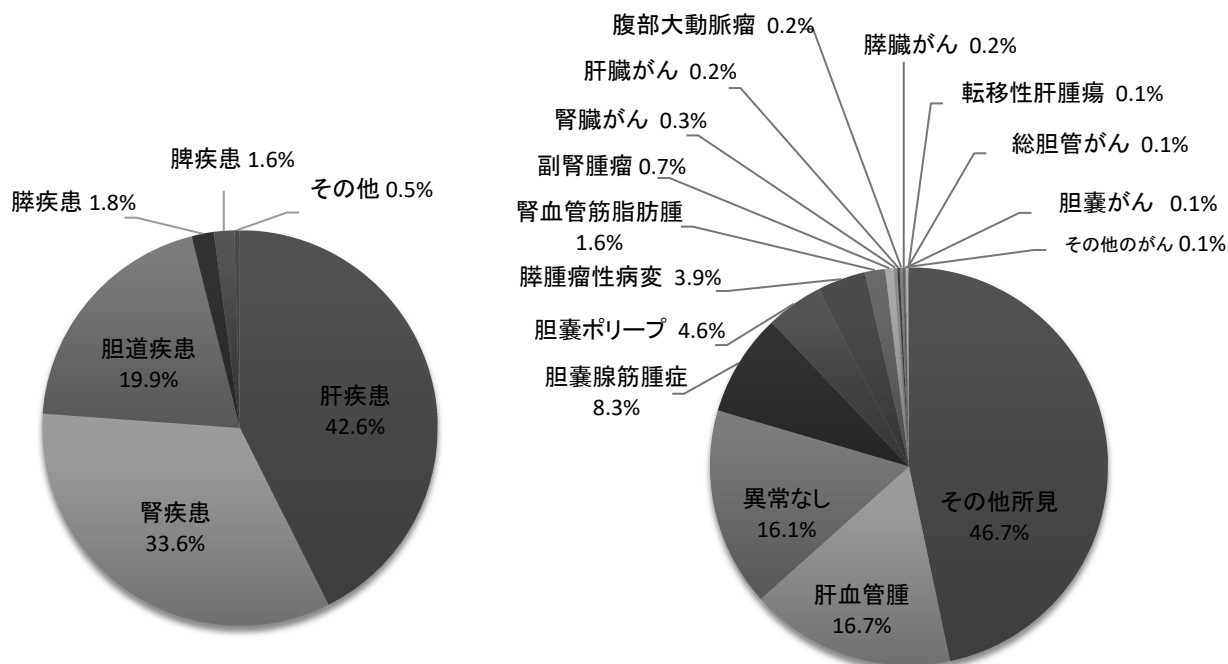
1. 受診者の男女比は男性が50.1%、女性が49.9%でほぼ同じ割合であった。
また、受診者の年齢構成は男女共に70歳以上が最も多く、男性32.9%、女性34.4%であった。
2. 要精検率は5.9%(1,802人)であり、精検受診率は80.2%(1,445人)であった。
3. がん発見率は0.04%(13人)であり、腎がん5人、肝がん3人、転移性肝腫瘍1名、総胆管がん1人、膵臓がん2名、その他の悪性疾患1人であった。

<当年実績>

(人)

受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診者数 C	精検受診率 C/B	がん発見数 D	がん発見率 D/A
30,342	1,802	5.9%	1,445	80.2%	13	0.04%

<発見疾患内訳>



＜年齢階層別実施成績＞

總合住宅(地域)民

[illegible]

総合計(職域職員)

[illegible]

区分	精										密										検										査										結										果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	要精検者数	精検受診者数	同左率（％）	異常なし	肝										胆										道										脾										腎										腺										その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					肝がん	転移性肝腫瘍	肝内胆管がん	肝腫瘍性病変	肝血管腫	肝細胞	肝内胆管癌化	肝硬変	慢性肝炎	脂肪肝	肝内胆管拡張	肝内胆管癌	肝がん	総胆管がん	胆嚢腫瘍性病変	胆嚢水一しう	胆嚢炎	胆嚢線形肥症	胆嚢嚢石	胆嚢嚢管結石	総胆管拡張	胆道その他	脾腫瘍性病変	脾腫瘍	脾その他	腎がん	腎血管動脈脂肪腫	腎腫瘍性病変	腎細胞	腎結石	水腎症	腎盂拡張	腎その他	腺がん	腺腫瘍性病変	腺その他	副腎腫瘍性病変	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
40歳未満	27	21	77.8	5					8					3			2						1						1		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

I 各種検(健)診の流れ

II 検(健)診委員会

III 各種検(健)診事業報告

IV その他の事業

V 論文投稿

(16) 骨密度測定(DXA法)

<検査方法>

対象者：人間ドックや総合健診等で、受診を希望する方

方法 測定方法 DXA法(二重エネルギーX線吸収測定法)

測定機種 日立アロカ社製DCS-600EXV

測定部位 非利き腕の橈骨1/3遠位部(骨折既往があれば反対側とする)

測定度指標 橈骨の断面1cm角当たりのX線吸収率を基に骨塩量を測定し骨密度とする

※令和5年度より超音波検査法による骨密度測定は廃止

指導区分：19歳以上

最大骨量比較(%)YAMによる区分

<結 果>

1. 19歳以上の受診者は男性が1,976人、女性が7,667人で合計9,176人であった。
最大骨量比較(%)YAMが70%以下の方は18.0%だった。

< 年齢階層別実施成績 >

19歳以上 DXA法 総合計

(人)

性別	年齢 (歳)	受診者数	指導区分 (ブロック)		
			1	2	3
男	19未満				
	19～24	5	5		
	25～29	14	13		1
	30～34	21	21		
	35～39	20	20		
	40～44	57	57		
	45～49	72	70	1	1
	50～54	94	94		
	55～59	100	100		
	60～64	140	136	4	
	65～69	238	219	17	2
	70～74	354	315	30	9
	75～79	244	200	33	11
	80以上	150	99	39	12
	計	1,509	1,349	124	36
女	19未満				
	19～24	23	23		
	25～29	16	16		
	30～34	33	33		
	35～39	106	106		
	40～44	257	257		
	45～49	360	358	2	
	50～54	569	554	12	3
	55～59	725	598	92	35
	60～64	1,091	717	230	144
	65～69	1,544	786	437	321
	70～74	1,797	654	543	600
	75～79	782	201	256	325
	80以上	364	81	94	189
	計	7,667	4,384	1,666	1,617
合 計		9,176	5,733	1,790	1,653
割合 (%)		100.0%	62.5%	19.5%	18.0%

指導区分	最大骨量比較 (%) YAM	コメント
1	80%	あなたの骨密度は、若年成人時の平均骨密度と比べて高いと言えます。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。
2	80%未満 70%超える	あなたの骨密度は、若年成人時の平均の骨密度と比べてやや低下しています。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。 定期的に検査を受けることをおすすめします。
3	70%以下	あなたの骨密度は、若年成人時の平均の骨密度と比べてかなり低下しています。 さらに詳しい検査を受けられることをおすすめします。

(17) 肝炎ウイルス検診

<検診方法>

対象者:実施主体が必要と認めた者及び個人の希望がある者

但し問診票による同意が得られない者は除く

方 法:地域住民及び職域職員それぞれの判定フローチャートに基づく判定結果及び判定理由を通知する

<結 果>

1. C型肝炎ウイルス検診の受診者数内訳は、地域住民は1,562人(58.7%)、職域職員1,099人(41.3%)であった。
2. C型肝炎ウイルス検診陽性者は、4人(0.15%)であった。
3. B型肝炎ウイルス検診陽性者は、21人(0.80%)であった。

<当年実績>

(人)

C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診				
受診者数	内 訳		陽性者数	陽性率	受診者数	内 訳		陽性者数	陽性率
A	地域住民	職域職員	B	B/A	C	地域住民	職域職員	D	D/C
2,661	1,562	1,099	4	0.15%	2,625	1,562	1,063	21	0.80%

<実施成績>

地域住民合計(表-1)

(人)

表-1内訳

受診者数	1,562
〔内訳〕	
C型+B型	1,562
C型のみ	0
B型のみ	0
HCV核酸増幅	6
判定結果	
〔C型〕	
判定①	1
判定②	0
判定③	6
判定④	1,555
〔B型〕	
陽性	12
陰性	1,550

	受診者		C型肝炎ウイルス検診						B型肝炎ウイルス検診	
	C型	B型	判定①	判定②	判定③	判定④	計 ①+②	陽性	陰性	
39歳以下	5	5	0	0	0	5	0	0	5	
40～44歳	266	266	0	0	0	266	0	0	266	
45～49歳	135	135	0	0	0	135	0	2	133	
50～54歳	125	125	0	0	1	124	0	0	125	
55～59歳	119	119	0	0	0	119	0	0	119	
60～64歳	192	192	1	0	0	191	1	1	191	
65～69歳	272	272	0	0	2	270	0	1	271	
70歳以上	448	448	0	0	3	445	0	8	440	
計	1,562	1,562	1	0	6	1,555	1	12	1,550	

職域職員合計(表-2)

(人)

受診者数	423
〔内訳〕	
C型+B型	387
C型のみ	36
B型のみ	0
HCV核酸増幅	0
判定結果	
〔C型〕	
判定Ⅰ	0
判定Ⅱ	1
判定Ⅲ	2
判定Ⅳ	420
〔B型〕	
陽性	3
陰性	384

表-2内訳

	受診者		C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診	
	C型	B型	判定Ⅰ	判定Ⅱ	判定Ⅲ	判定Ⅳ	計	陽性	陰性
							Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ		
39歳以下	191	191	0	0	1	190	1	0	191
40～44歳	68	37	0	0	0	68	0	0	37
45～49歳	25	24	0	0	0	25	0	0	24
50～54歳	36	36	0	0	1	35	1	1	35
55～59歳	30	29	0	0	0	30	0	0	29
60～64歳	37	35	0	1	0	36	1	1	34
65～69歳	20	20	0	0	0	20	0	0	20
70歳以上	16	15	0	0	0	16	0	1	14
計	423	387	0	1	2	420	3	3	384

全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診合計(表-3)

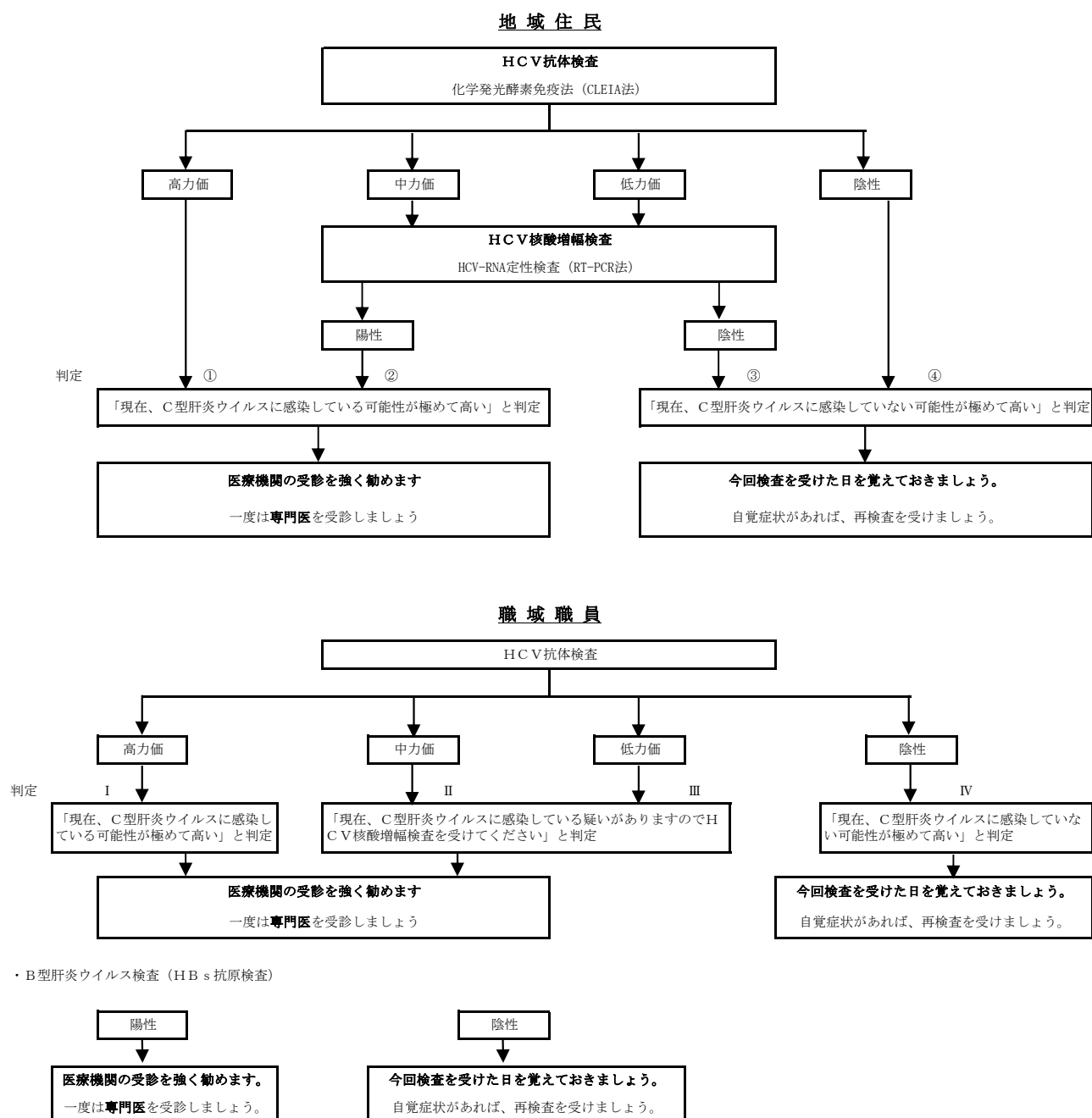
(人)

受診者数	676
〔内訳〕	
C型+B型	676
C型のみ	0
B型のみ	0
HCV核酸増幅	0
判定結果	
〔C型〕	
判定1	0
判定2	0
判定3	1
判定4	675
〔B型〕	
陽性	6
陰性	670

表-3内訳

	受診者		C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診	
	C型	B型	判定1	判定2	判定3	判定4	計	陽性	陰性
							1+2+3		
39歳以下	84	84	0	0	0	84	0	0	84
40～44歳	70	70	0	0	0	70	0	0	70
45～49歳	87	87	0	0	0	87	0	1	86
50～54歳	112	112	0	0	0	112	0	1	111
55～59歳	89	89	0	0	0	89	0	0	89
60～64歳	118	118	0	0	1	117	1	2	116
65～69歳	78	78	0	0	0	78	0	2	76
70歳以上	38	38	0	0	0	38	0	0	38
計	676	676	0	0	1	675	1	6	670

肝炎ウイルス検査 フローチャート



(18) 保健指導及び事後管理

< 実施方法 >

健康診査実施後の結果説明及び生活改善と健康保持増進を目的に、各関係機関と連携をはかり保健指導及び事後管理を行った。

1. 市町村及び事業所・健康保険組合からの依頼により事後指導及び健康講話を実施した。事後指導は52回・1,024人、健康講話は17回・373人に実施した。
2. 電話相談は、健(検)診結果についての相談が主であり、特に精密検査医療機関の照会が多かった。また、バリウム検査後の対応についてなど、胃部に関する相談に多く対応した。
3. 事後管理として、職域の各種がん検診の精検受診勧奨を実施した。実施主体と協力し、ハガキや電話による精検勧奨を行い受診率向上に努めた。ハガキについては、精検未受診者が勧奨文面を確認したと判断するために返信を依頼している。回収率は28.6%となった。

< 保健指導状況 >

(人)

区分	事後指導		健康講話	
地域住民	0 回	0	2 回	52
職域職員	52 回	1,024	15 回	321
合計	52 回	1,024	17 回	373

健康講話 職種別回数 再掲(回)

保健師	7
管理栄養士	5
健康運動指導士	5

< 電話相談状況 >

(件)

区分	肥満	心電図	貧血	肝機能	脂質	腎機能	血糖等	胃部	大腸	呼吸器	子宮	乳	前立腺	腹部	その他	合計
男	2	5	0	4	11	2	9	40	17	11	3	1	8	6	115	234
女	0	11	3	7	14	12	8	71	13	16	18	11	0	7	153	344
合計	2	16	3	11	25	14	17	111	30	27	21	12	8	13	268	578

< 精密検査勧奨状況 >

(件)

区分	胃部	大腸	呼吸器	子宮	乳	前立腺	腹部	合計
勧奨ハガキ発送数	1,381	1,877	882	105	147	211	461	5,064
勧奨ハガキ回収数	352	517	216	35	56	93	178	1,447
回収率	25.5%	27.5%	24.5%	33.3%	38.1%	44.1%	38.6%	28.6%

(19) 出前講座

<出前講座実施内容>

山形検診センター

実施日	実施主体	実施数	担当者	タイトル
7月22日	がんサロン「クローバー」	4	運動指導士	心身ともに免疫アップ
7月24日	ユトリア健康管理センター	19	管理栄養士	女性のためのバランスの良い食事について
8月23日	山形県JA女性組織協議会虹の会	10	保健師	健康診断をいかしていますか
9月5日	ユトリア健康管理センター	14	管理栄養士	カラダとココロが喜ぶ食生活
10月13日	株式会社エルタス東北	14	運動指導士	今日からできる いきいき「未来のカラダづくり」
10月27日	株式会社エルタス東北	11	運動指導士	今日からできる いきいき「未来のカラダづくり」
11月1日	山形県警察本部	21	運動指導士	未来のカラダづくりのすすめ
11月2日	山形県警察本部	26	運動指導士	未来のカラダづくりのすすめ
2月20日	大石田町健康推進員	48	保健師	健康診断のススメ
3月5日	健診担当者研修会	80	保健師	健康支援セミナー「オプション検査について」
3月26日	ユトリア健康管理センター	5	管理栄養士	すぐできる！今日から実践 食事でカラダがチェンジ
3月27日	ユトリア健康管理センター	5	管理栄養士	すぐできる！今日から実践 食事でカラダがチェンジ
合計			257	

庄内検診センター

実施日	実施主体	実施数	担当者	タイトル
4月5日	東北東ソー化学株式会社	9	保健師	あなたの健康生活スタート！今からできることを学ぼう！
10月19日	東邦運輸株式会社	22	保健師	かしこく活かそう 健康診断
10月31日	酒田共同火力発電株式会社	40	管理栄養士	ベストコンディショニングを目指す～生活改善で健康増進～
合計			71	

米沢検診センター

実施日	実施主体	実施数	担当者	タイトル
10月4日	富双合成株式会社	30	保健師	健診結果と生活習慣～今日から、できることから～
3月18日	地域・職域連携推進協議会	15	保健師	健康診断後の精検受診状況について
合計			45	

※最上、南陽検診センターは実施なし

IV. その他の事業

(1) 令和 5 年度山形県がん総合相談支援センター事業報告

山形県からの受託事業として平成 29 年 10 月 1 日から事業を開始した。

目的は、「がん」かも知れないと不安を感じた時から、医療や就労などの様々な悩みについて、気軽に相談できる窓口を病院外に設置し、身近なところでいつでも必要な情報を手に入れられることで、病院では相談しにくい問題を抱えるがん患者やその家族などの不安軽減を図ることを目指す。また、がん体験者の知恵や交流を活かし、がん患者の生活を支援できる体制を構築する。 《受託期間：令和 5 年度(R5.4.1～R6.3.31)》

業務実績

1. 相談業務

電話・窓口等によるがんに関する医療、患者等の心理や生活・介護及び就労など様々な相談と情報収集・提供を実施する。また、必要に応じ他病院のがん専門医療者、就労や労働関係の法令を専門としている労働行政等の専門家への紹介や専門家の情報提供、ピア・サポーターを交えての相談を行う。

- ・山形検診センターに「がん総合相談支援センター」、庄内検診センターに「がん総合相談支援センター庄内支所」、最上、米沢及び南陽検診センターにもそれぞれ「相談窓口」を設置し、県内全域におけるがん患者等の療養上の相談に対応。

(がん専門相談員：国立がん研究センターがん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知識確認コース修了者 18 名、認定がん専門相談員：国立がん研究センター 2023 年認定 1 名)

- ・相談方法、相談日及び相談時間

(1) 電話・窓口相談

- ・山形県がん総合相談支援センター → 平日（月～金）午前 10 時～午後 4 時
第 1 土曜日（4～12 月）午前 10 時～正午
- ・山形県がん総合相談支援センター庄内支所 → 平日（月～金）午後 1 時～午後 4 時
第 1 土曜日（4 月～12 月）午前 10 時～正午
- ・最上、米沢、南陽検診センター → 平日（月～金）午後 1 時～午後 4 時

(2) 出張相談

- ・医師、相談員が公共施設やイベント会場に設営する相談コーナーで行う

(3) 専門相談

- ・各専門分野の専門家による相談
相談内容に応じ、随時対応とする
医師、社労士、ハローワーク、薬剤師、緩和ケア専門看護師、訪問看護師、
薬剤性脱毛サポート美容師、ピア・サポーター
- ・各がん診療連携拠点・指定病院への専門家の派遣

- ・相談実績

ア. 電話相談及び窓口相談（詳細は表 1 参照）

相談の種類	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C	合計
窓口相談	25 件	2 件	6 件	0 件	3 件	36 件
電話相談	142 件	12 件	6 件	2 件	6 件	168 件

イ. 出張相談

出張先		相談件数
9 月 23 日～24 日	イオンモール天童(健康フェア)	13 件
10 月 14 日	イオン三川店(いきいき健康フェア)	3 件

ウ. 専門相談

開催月	専門相談員(職種)	相談件数
6 月	ピア・サポーター	1 件
3 月	ハローワーク職員(就職ナビゲーター)	1 件
3 月	がん看護専門看護師(緩和ケア)	1 件

各がん診療連携拠点病院・指定病院への専門派遣 0 件

(表1)

(R5.4月1日～R6.3月31日)

			件数	件数
1	相談日時	a)月	4月	20
			6月	18
			8月	15
			10月	29
			12月	15
			2月	14
	b)曜日		月曜日	40
			水曜日	39
			金曜日	37
	c)時間		午前(10時～12時)	90
			午後(13時～16時)	107
				0
2	対応者		山形	180
			最上	12
			南陽	9
				0
3	相談方法		電話相談	168
			出張相談	16
4	相談時間		15分未満	100
			30分～1時間	42
			1時間以上	16
5	患者受診状況		入院中	13
			受診医療機関なし	33
			その他(過去入通院歴あり)	27
6	相談者	a)カテゴリー	本人(付き添いあり・なし)	163
			知人・友人	4
	b)性別		男	73
			女	147
	c)年齢		20歳未満	0
			30歳台	12
			50歳台	40
			70歳以上	58
	d)利用回数		初めて	150
			2回以上	70
	e)居住地区		村山地区	160
			最上地区	16
7	相談内容	a)医療情報	がんの治療・検査	28
		b)日常生活	医療費・生活費・社会保障制度	12
		c)療養上の問題	不安・精神面の問題	80
			食事・服薬・入浴・運動・外出	6
			補完代替療法	2
			患者・家族等関係	12
		d)医療関連情報	施設の情報・紹介・転院	30
			緩和ケア・ホスピスケア	2
		e)その他	患者会(ピア情報)・ピアサポート	22
8	対応内容		傾聴・語りの促進	158
			情報提供	132
			その他()	0
9	相談者の反応		良い反応	213
			悪い反応	0
			その他()	0
10	相談経路		広報(市報)	3
			インターネット・HP	51
			医療機関(病院・介護施設)	10
			その他(報道など)	42
			5月	22
			7月	11
			9月	26
			11月	20
			1月	17
			3月	13
			火曜日	43
			木曜日	39
			土曜日	22
			12時～13時	21
			16時台	2
			17時以降	0
			庄内	17
			米沢	2
				0
				0
			窓口相談(予約あり・なし)	36
				0
			15～30分未満	62
			1時間以上	16
			通院中	141
			不明	6
			家族・親戚	50
			その他	3
			20歳台	1
			40歳台	28
			60歳台	49
			年齢不明	32
			2回以上	70
			庄内地区	20
			置賜地区	24
			がんの症状・副作用・後遺症	18
			社会生活(人間関係・仕事・学業等)	18
			在宅医療	4
			介護・看護・養育について	4
			医療者等との関係	23
			友人・知人・職場の人間関係	2
			がん予防・検診	30
			セカンドオピニオン	13
			その他()	9
			助言・提案	177
			専門機関などへの連携	7
			※情報提供:本人の同意確認(済・未)	
			反応なし	0
			判断不明	7
			ポスター・パンフレット・機関紙	33
			検診センター窓口・検診会場	43
			友人・知人	17
			不明	21

2.ピア・サポーターの養成及び活動支援

がんを経験された方やそのご家族を対象に、ピア（仲間）として気持ちを共有し支援（サポート）を推進するピア・サポーターを養成し、ピア・サポートについて理解を深めるための研修会を開催した。また、医療機関や患者会と連携しピア・サポーターの派遣や、ピア・サポーターの活動場所の提供としてがんサロン「クローバー」を開催した。令和4年度から引き続き、ピア・サポーター自身で企画、運営を行うがんサロンの開催について活動支援を行った。

ア. ピア・サポーター養成講座の開催

開催日時	受講者数	内容
R5.8.6(日) 山形 C	10 名	研修テキスト「ピア・サポーター養成テキスト 2020 年版」に基づく講義及びロールプレイ 講師 山形県がん総合相談支援センター がん看護専門看護師 松田芳美 氏
R5.9.3(日) 庄内 C	6 名	

イ. ピア・サポーター研修会の開催

開催日時	受講者数	内容
R5.7.9(日) 山形 C (庄内 C Web参加)	20 名	・講演『ピア・サポーターの活動と今後求められること』 講師 NPO 法人 京都ワーキング・サバイバー 前田 留里 氏
R5.11.12(日) 山交ビル (庄内 C Web 参加)	26 名	・講演『山形県ピア・サポーターの活動に期待すること』 講師 山形県健康福祉部 がん対策・健康長寿日本一推進課 村山 航太 氏 ・各拠点病院がんサロンでの活動について ～ピア・サポーターの活用・今後期待すること～ 講師 山形県立中央病院 患者サポートセンター 医療連携・相談室 船山 香織 氏 講師 公立置賜総合病院 医療連携・相談室 吉田 里美 氏 ・報告 ピア・サポーターの活動報告(2グループ)

ウ. ピア・サポート活動場所の提供

・山形会場「クローバー」・・・8 回

5 月 22 日(月)9 名、6 月 22 日(木)5 名、7 月 22 日(土)4 名、8 月 22 日(火)14 名、
9 月 22 日(金)7 名、10 月 22 日(日)5 名、11 月 22 日(水)3 名、12 月 22 日(金)3 名

※5 月 22 日、8 月 22 日、10 月 22 日は「ブランチ」、6 月 22 日、9 月 22 日、11 月 22 日は「ともしび」のピア・サポーターグループが担当。

・庄内会場「クローバー」・・・3 回

6 月 22 日(木)2 名、7 月 22 日(土)4 名、11 月 22 日(水)5 名

・県立中央病院がんサロン「ひだまりカフェ」(ピア・サポーター派遣)・・・12 回

4 月 14 日(金)2 名、5 月 12 日(金)2 名、6 月 9 日(金)2 名、7 月 14 日(金)2 名、
8 月 10 日(木)2 名、9 月 8 日(金)2 名、10 月 13 日(金)2 名、11 月 10 日(金)2 名、
12 月 8 日(金)2 名、1 月 12 日(金)2 名、2 月 9 日(金)2 名、3 月 8 日(金)1 名

・県立新庄病院がんサロン「晴れ晴れ」(ピア・サポーター派遣)・・・2 回

6 月 22 日(木)1 名、2 月 6 日(火)1 名

- ・公立置賜総合病院がんサロン(ピア・サポーター派遣)・・1回
8月4日(金)2名

3.がん検診受診啓発及び広報活動

地域のイベントや検診会場において、がんに関する情報を県民に発信しがん検診の受診啓発を行うとともに、がん総合相談支援センターの業務内容等を広く県民に知らせるためのリーフレットを配布し、同時に相談コーナーを設けがん相談員が相談対応を行った。また、相談支援センターの利用方法について、フリーペーパーなどへ掲載し周知を行った。

(2) 若者に対するがん予防支援事業

1. 概要

山形県から、がんに関する関心が薄い20代から30代の若者に対し、がんに対する正しい知識やがん予防の普及啓発を行うことを目的とする「若者に対するがん予防支援事業」を受託し、がんに関する健康教育及び検診・検査を併せて受けて頂く取り組みを各検診センターにて行った。

「健康教室とお試し検診・検査」と称し、肺がん検診・胃がんリスク評価・乳房超音波検査の中から選択した希望の項目と大腸がん検診を受診することとした。

検診・検査方法は現在行っている方法を用い、精密検査該当者には医療機関の受診を勧奨した。

2. 受診状況

開催日数44日間で575人が参加し、受診者数は大腸がん検診540人、肺がん検診303人、胃がんリスク評価368人、乳房超音波検査380人であった。

① 大腸がん検診

区分	受診者数	便潜血検査結果		精密検査結果				
		異常なし	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	大腸がん	大腸ポリープ	その他の疾患
男性	104	101	3	3 (100.0)	3	0	0	0
女性	436	420	16	12 (75.0)	7	0	4	1
合計	540	521	19	15 (78.9)	10	0	4	1

② 肺がん検診

区分	受診者数	胸部X線撮影結果			精密検査結果		
		異常なし	異常所見認め るが精検不要	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	肺がん
男性	67	66	0	1	1 (100.0)	1	0
女性	236	231	3	2	2 (100.0)	2	0
合計	303	297	3	3	3 (100.0)	3	0

③ 胃がんリスク評価

区分	受診者数	胃がんリスク評価結果				精密検査結果 受診者数 (%)
		A	B	C	D要精検	
男性	87	67	15	4	1	－
女性	281	234	33	13	1	－
合計	368	301	48	17	2	－

④ 乳房超音波検査

区分	受診者数	乳房超音波検査結果			精密検査結果				
		異常なし	精検不要	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	乳がん	乳腺 良性腫瘍	その他
女性	380	247	112	21	21 (100.0)	4	1	10	6

V. 論文投稿

子宮頸がん検診における液状検体法の導入効果の検討

○藤ノ木彩美(CT)¹⁾, 木村未来(CT)¹⁾, 情野美津江(CT)¹⁾,
中原健次(MD)²⁾, 布山繁美(MD)¹⁾ 菊地 惇(MD)¹⁾

- 1) 公益財団法人やまがた健康推進機構
- 2) 山形県立中央病院

【はじめに】当機構では平成 27 年度より、子宮頸がん検診において従来法(直接塗抹法)から ThinPrep 法による液状化検体細胞診(liquid based cytology:以下 LBC 法)に移行すると同時に、一部市町村では隔年検診にのせた形で、細胞診・HPV-DNA 検査併用検診(以下 HPV 併用検診)を開始した。今回、LBC 法導入前後の検診実績について比較検討した。また、HPV 併用検診の結果についても併せて報告する。

【方法】LBC 法へ移行前平成 24 年度から平成 26 年度と移行後令和元年度から令和 3 年度の成績について、要精検率、細胞診判定結果、不適正標本率、LSIL/CIN1、HSIL/CIN2,3 以上発見率を比較した。

【結果】LBC 法へ移行前後3年間のそれぞれの検診件数は、116,133 件と 108,497 件であった。要精検者数 1,229 件(1.06%)と 1,385 件(1.28%)、内訳は ASC-US:434 例(0.37%)と 468 例(0.43%)、ASC-H:141 例(0.12%)と 228 例(0.21%)、LSIL:349 例(0.30%)と 427 例(0.39%)、HSIL:261 例(0.22%)と 242 例(0.22%)、SCC:19 例(0.02%)と 6 例(0.01%)、AGC:13 例(0.01%)と 11 例(0.01%)、AIS または Adenocarcinoma:10 例(0.01%)と 3 例(0.003%)であった。また、不適正標本数 213 例(0.18%)と 2 例(0.002%)であった。精密検査の結果、LSIL/CIN1:203 例(0.17%)と 333 例(0.31%)、HSIL/CIN2,3 以上:209 例(0.18%)と 204 例(0.19%)であった。

HPV 併用検診では、7年間で合計 13,319 件に実施し、初年度 HPV 陽性率は 2.78%であった。1年後検診対象数 341 件(2.56%)で、そのうち 208 件(61.0%)が受診し、要精密検査数は 118 件(56.7%)であった。初年度細胞診 NILM/HPV 陽性者 316 例のうち、1 年後検診受診者 193 例から、LSIL/CIN1 が 23 例(11.9%)、HSIL/CIN2,3 が 10 例(5.2%)発見された。

【まとめ】LBC 法を導入することにより、不適正標本数が大幅に減少した。理由として、細胞乾燥や固定不良標本がなくなったことによると思われた。

また、LBC 法導入により HPV 併用検診を一部市町村において開始することができた。初年度細胞診 NILM/HPV 陽性者のなかに、HSIL/CIN2,3 が 5%程度発見されたため、併用検診は有効であると思われた。

*本論文は R5.7.1 第 59 回東北臨床細胞学会学術集会にて発表したものを掲載

胃がん検診における偶発症発生状況について

(公財)やまがた健康推進機構

○佐藤 圭二郎、安食 伸祥、安彦 卓史、竹田 拓、金原 博紀、前田 敦、植松 勇

【背景】

近年、受診者の高齢化が進む中、安心して安全な検診の実施が以前にも増して求められている。偶発症については以前にも報告したが、同対応を続けているためその後の経過について改めて報告する。

【目的】

胃がん検診における主な偶発症としては、誤嚥・腸閉塞・腸管穿孔等が挙げられるが、過去にバリウム誤嚥が多発したため、平成 29 年度より胃がん検診禁忌事項、注意事項の変更と受診者へ飲み込みの悪さの聞き取りを行い、リスク軽減の取り組みを行ってきた。その後の経過と今後の問題点を把握するため、現状をまとめたものである。

【結果】

	誤嚥	腸閉塞	腸管穿孔	過敏症	気分不良	擦過傷	その他
平成 28 年	13	1	0	0	14	3	2
平成 29 年	18	0	0	0	6	3	3
平成 30 年	11	0	0	2	3	0	0
令和元年	16	0	0	0	1	4	0
令和 2 年	21	0	0	0	1	3	3
令和 3 年	4	0	0	0	4	1	4
令和 4 年	19	0	1	1	8	7	4

【考察】

誤嚥に関して受診前に誤嚥性肺炎やバリウム誤嚥歴のある方に対してはリスク説明を行い、内視鏡検診へ誘導しているが、今まで受診出来ていたこともありバリウムによる胃がん受診を強く希望されるなどのトラブルもあった。禁忌事項についての丁寧な説明によりご理解を得ることが前提ではあるが、偶発症等に対する同意書の検討も必要と思われる。男性では 70 歳以上の高齢者に誤嚥が多い傾向が見られ、女性では比較的年齢にばらつきが見られた。気分不良は女性が多く、擦過傷は 70 歳以上の男性から発生している。

また、令和 4 年度より腸管穿孔が報告されている。検診前にも受診者へバリウムが排出されない場合の注意喚起が記載されているリーフレットを配布しているが、受診者が帰宅した後に発生した重篤な偶発症についての拾い上げが上手くいかないといった問題点がある。偶発症の発生頻度の高い恐れのある高齢受診者へのさらなる注意喚起方法などを検討する必要があると考える。

【結語】

受診者の高齢化に伴い、重篤な腸管穿孔等の偶発症発生の懸念がある。偶発症リスクに関する注意喚起の検討、検診時の緊張をやわらげる対策、救済制度の周知を今後の課題としたい。

*本論文は R6.2.3 第 40 回東北地区集検放射線技術部会研修会及び総会にて発表したものを掲載

ピア・サポーター向けがんサロン企画・運営スキル 習得支援プログラムの開発・実践報告

○松田 芳美⁽¹⁾、小林 美保⁽²⁾、薄羽 八重⁽²⁾、佐藤 寛子⁽²⁾、後藤 由美⁽¹⁾

1)やまがた健康推進機構山形県がん総合相談支援センター

2)山形ピア・サポーター

【目的】当センターは、がんピア・サポーター(以下、ピア)養成、ピア登録管理、継続研修、県内がん診療連携拠点病院主催サロンへの派遣、ピアによるがん相談を支援している。今回、がんサロン企画・運営スキル習得支援プログラム(以下、支援プログラム)を開発・実践したので、申請があった2件の内、1件(ピア3名)の実践を報告する。

【活動の概要】支援プログラムは企画書作成から実践までをがん相談員が支援する構成。2022年4月～11月の間に在宅介護中の家族を対象に会場を変え3回開催。参加者アンケート結果、振り返り記録を基に内容分析した。

【成果】ピアはがん体験を持つがん家族の介護体験者。参加者計10名(患者4名、家族/遺族6名)全員が、サロンの満足度が高く、「飾らず吐き出せることが自分を楽にしてくれた」などの感想があった。ピアは、背景が異なる参加者に戸惑うと感じながら、各ピアの異なる体験が語りを円滑にしたファシリテートに難渋する場面も助け合えたと気づき、体験の伝え方や難しい話題への対応を学び自信につながると感じていた。他方、渦中を過ぎた自分と渦中にある人とのギャップ語りを十分に聴いてあげられず後悔があった。支援プログラムは、自分のサロン開催の後押しになった大事な役割だと感じたと評価し、ファシリテータースキル向上を目指すなど自己課題につながっていた。

【考察】短期間で複数回開催できた背景に、ピアの熱心な姿勢と行動力が影響していた。困難を感じながら協力し合い、参加者に寄り添う姿勢を実感していたことは、研修の学びを実践に還元する支援体制の成果と考える。今後、ピア個々の課題に応じた支援のあり方を探求したい。

*本論文は R5.10.7 日本緩和医療学会第4回東北支部学術大会にて発表したものを掲載

医療施設に属さないがん相談支援センターがん相談員の 過去 3 年間の自己評価分析

○松田 芳美⁽¹⁾、後藤 由美⁽¹⁾、佐竹 佑紀⁽¹⁾、山田 美穂⁽¹⁾、菊地 惇⁽¹⁾

1)やまがた健康推進機構 山形県がん総合相談支援センター

【目的】医療施設に属さないがん相談支援センター相談員の質を担保するために実施した過去 3 年間の自己評価を基に、がん相談に携わる姿勢とスキルの実態を明らかにする。

【方法】自己評価は国立がん研究センターがん情報センターが示す項目を参考に、Ⅰがん相談員に求める姿勢(7 項目)、Ⅱ相談対応のスキル(10 項目)、Ⅲ相談者の評価(1 項目)で構成され、「はい」「どちらでもない」「いいえ」の 3 択。分析対象は過去 3 年分(2020-2022)最終評価 13 名分。記述統計量を算出し項目ごとに分析。

【結果】対象は保健師 5 名、看護師 8 名(がん看護専門看護師 1 名)。全体的に「はい」「どちらでもない」を選択し、「いいえ」は、2020 年度のⅡ相談対応スキルの 2 項目に 1 名ずつ認めた。評価に変化があった項目は「相談員の個人的な立場、好み、信条、意見を伝えていない」「相談者の状況を直接相談者に確認しながら把握している」「相談者の反応を確認することができる」で、「はい」が約 6 割から 10 割となった。「相談員が把握した相談者の状況や感情を要約し直接相談者に確認している」「相談員が把握した相談者の主訴とニーズを相談者に確認している」は約 3 割から 6 割へ変化した。3 年間評価が低い項目(%=2022)は、「相談者の状況をからだ・こころ・くらしの視点で的確に把握し対応している」15%、「相談者の主訴に隠されたニーズに気づける」「主訴とニーズに対し適切に対応している」各 31%、「相談者自身で行動・判断できる情報提供や主治医等との関係支援をしている」46%だった。

【考察】行動に関わる項目が容易に高くなっていたことは、事例検討会や経験の積み重ねの成果と考える。全体像をとらえたアセスメントカの自己評価が低いことには、相談員の背景や経験が影響していると考えられる。今後の課題は、スキルに影響する因子を探索し、効果的な研修の示唆を得ることである。

*本論文は R5.10.7 日本緩和医療学会第 4 回東北支部学術大会にて発表したものを掲載

当機構における膵管拡張所見の取扱い

○岸田 美季⁽¹⁾、軽部 恵子⁽¹⁾、齋藤 知子⁽¹⁾、佐藤 佳子⁽¹⁾、鈴木 克典⁽²⁾

1)やまがた健康推進機構

2)山形県立中央病院

【はじめに】令和5年度から当機構の超音波検査判定基準を日本消化器がん検診学会、日本超音波医学会、日本人間ドック・予防医療学会の3学会共通で発表された、腹部超音波検診判定マニュアル改訂版(2021年)へ移行する際、主膵管径の記載が機構内で統一されていない現状であった。このことから、主膵管拡張からみる膵臓の精検結果所見についてまとめ、主膵管拡張の基準を改めて確認し、機構内の統一を図ったので報告する。

【対象】令和5年4月1日から10月31日までの検診時、主膵管拡張を認めた受診者のうち、精検指示者数89名、そのうち回報書返却のあった43名を対象に、検診時の膵管径別に回報結果を集計しまとめた。

【結果】検診時の実測値で主膵管拡張が3mm未満の6名の回報結果がすべて異常なし、3mm以上の37名のうち、異常なしが18名 膵管拡張が10名 その他の所見が9名 そのうち膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)4名 膵のう胞2名 膵尾部欠損・膵結石1名 膵頭部腫瘍1名 慢性膵炎1名の結果であった。膵管拡張を契機に悪性疾患は発見されなかった。

【まとめ】機構では毎年膵臓癌が発見され、発見癌のうち肝細胞癌に次いで多い癌となっている。対象期間内に膵管拡張を契機とした膵臓癌の発見には至らなかった。しかしながら、過去には軽度の主膵管拡張から経時的に徐々に拡張し、形状が整から不整へ変化した膵臓癌が発見されていることから、腹部超音波検診判定マニュアル改訂版(2021年)のとおり、主膵管拡張は2.5mm以上を拾い上げし、記載数値は四捨五入表記と機構内で統一を図った。難治がんとして膵臓癌は知られているが、主膵管拡張の所見は高危険群であり、その拾い上げは早期発見、早期診断につながる意義のあるものである。今後は術者のスキル向上はもとより、限られた検診時の時間内でいかに重要な所見を拾い上げるかが課題である。講習会等の参加や術者養成に努めていきたい。

*本論文はR6.3.2 日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会

第16回東北セミナーにて発表したものを掲載

令和5年度事業年報

令和7年3月

編集・発行 公益財団法人やまがた健康推進機構

〒990-9581

山形県山形市蔵王成沢字向久保田2220

TEL 023-688-8333